

令和4年度児童生徒のタブレット端末の 活用状況に関する実態調査結果報告



<調査方法>

児童生徒・教職員へのアンケート

アンケート実施期間：令和5年（2023年）

2月13日（月）～2月28日（火）

回答者数に関する情報

アンケートは次の対象ごとに実施しています。

- ・小学校低学年児童（1, 2年生）
- ・小学校中高学年児童（3～6年生）
- ・中学校生徒（1～3年生）
- ・小学校教職員（授業を実施する者を対象）
- ・中学校教職員（授業を実施する者を対象）

回答者に関する情報



回答者数

学校種別	学年	回答者数 (児童生徒)	回答者数 (教職員)
小学校	1年生	3,998	265
	2年生	4,364	289
	3年生	3,734	306
	4年生	4,152	317
	5年生	4,043	360
	6年生	4,249	329
中学校	1年生	3,700	804
	2年生	3,714	
	3年生	2,702	

※教職員は延べ人数
 小学校教職員の回答総数は1416
 中学校教職員は担当学年の設問なし

教職員の担当教科

学校種別	教科	人数
小学校	クラス担任 (特別支援クラス含む)	1,179
	理科専科	59
	音楽専科	32
	外国語専科	13
	少人数指導	30
	養護	26
	栄養	8
	その他	69

※その他
 ・通級指導関係が多くみられた

学校種別	教科	人数
中学校	国語	87
	数学	102
	社会	87
	理科	88
	外国語	104
	音楽	29
	美術	32
	保健体育	66
	技術	36
	家庭	24
	養護	13
	栄養	3
	その他	133

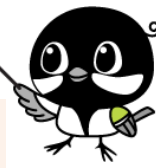
※その他
 ・特別支援学級関係が多くみられた

学校での活用について

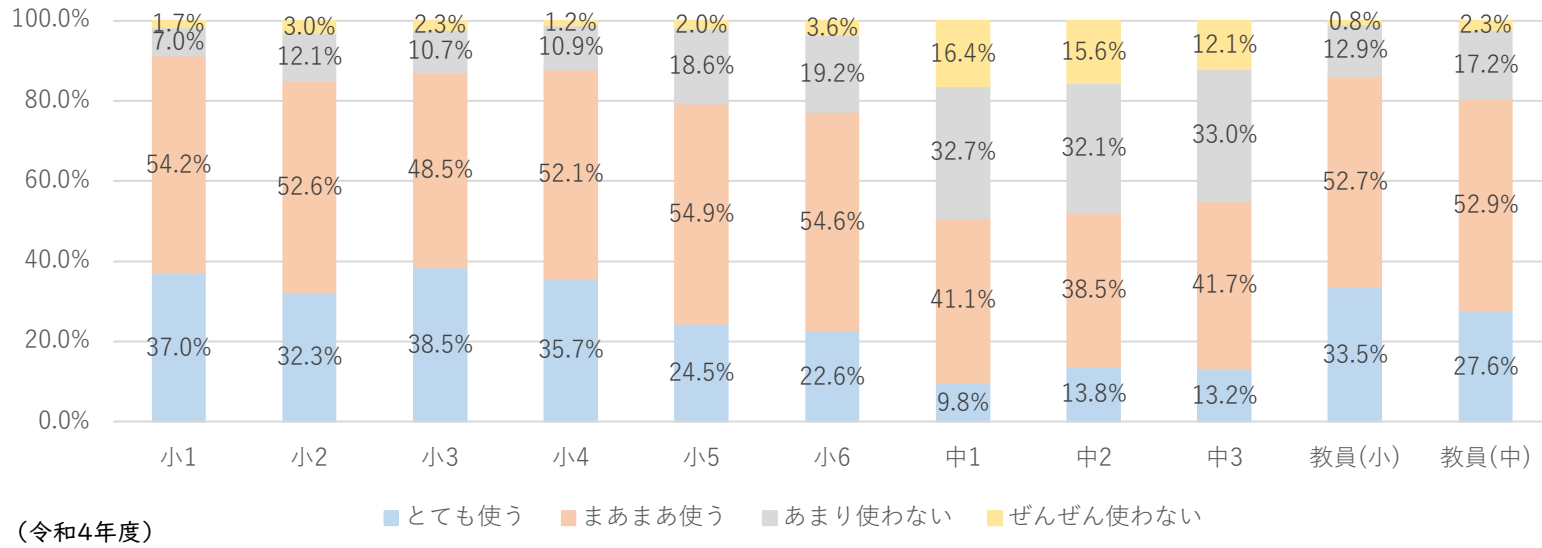
教科、ツール、場面のそれぞれの活用状況のほか、学習活動の効果について確認しています。

- ※ 教員の回答は「**児童生徒**が活用しているか」という設問の回答になります。
- ※ 教科毎の活用状況の回答の「・」以下は教科担当者による所見です。
- ※ 昨年度版の公開データがあるものは下段にそのグラフを表示しています。

学校での活用について

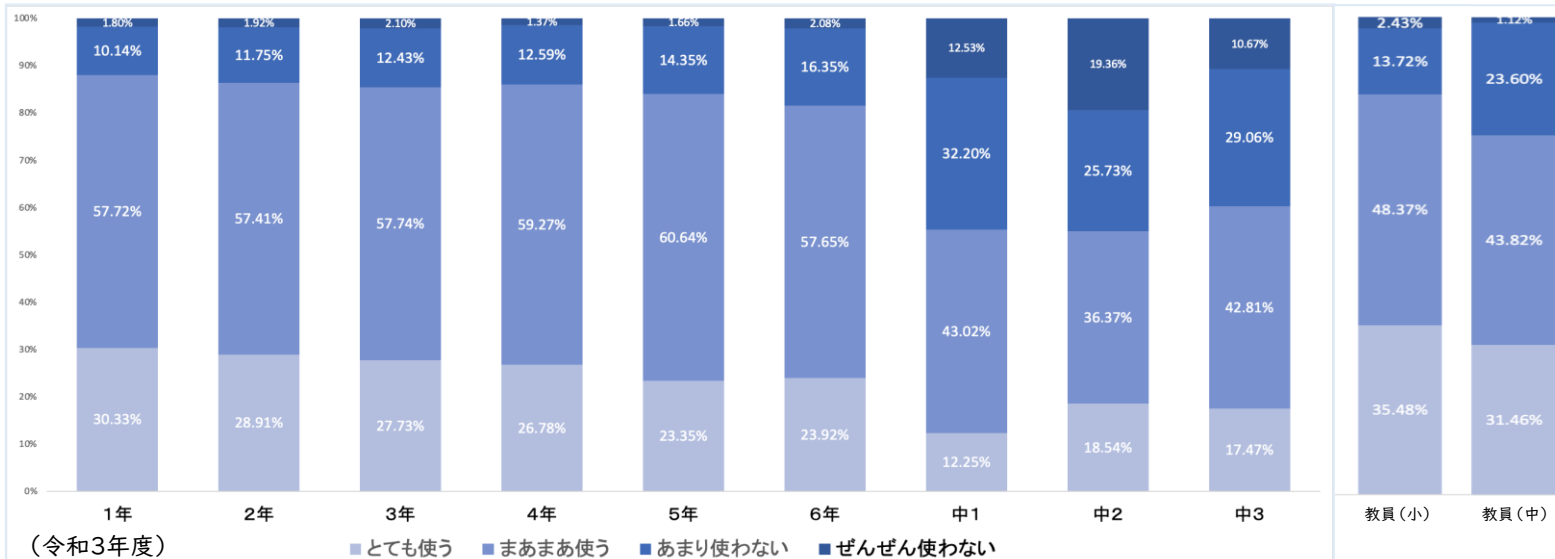


国語の授業でタブレットを使っていますか

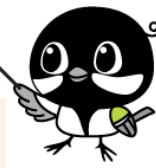


小学校においては、全学年において活用率が高い傾向が出ている。中学校は、教員の認識よりも生徒の認識が低い傾向が出ている。

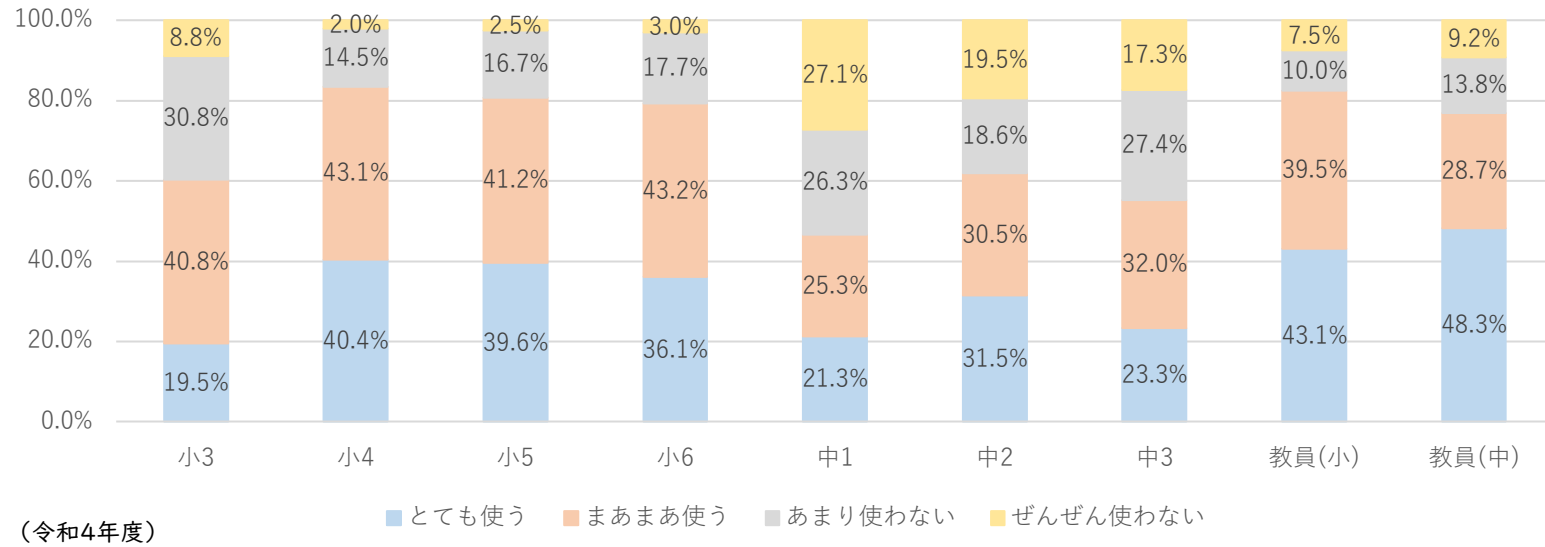
- 小学校では、意見の共有だけでなく、学習活動の記録や配付されたワークシート等、ロイロノートに单元ごとにまとめて児童が振り返りに活用できるよう頻繁に活用されているところも多い。
- 中学校では、タブレットを使って文章を書いていると、紙に手書きで書く力が低下するということを懸念し、タブレットを使った活動とノートやワークシートでの学習のバランスを図っておられるところが多い。



学校での活用について

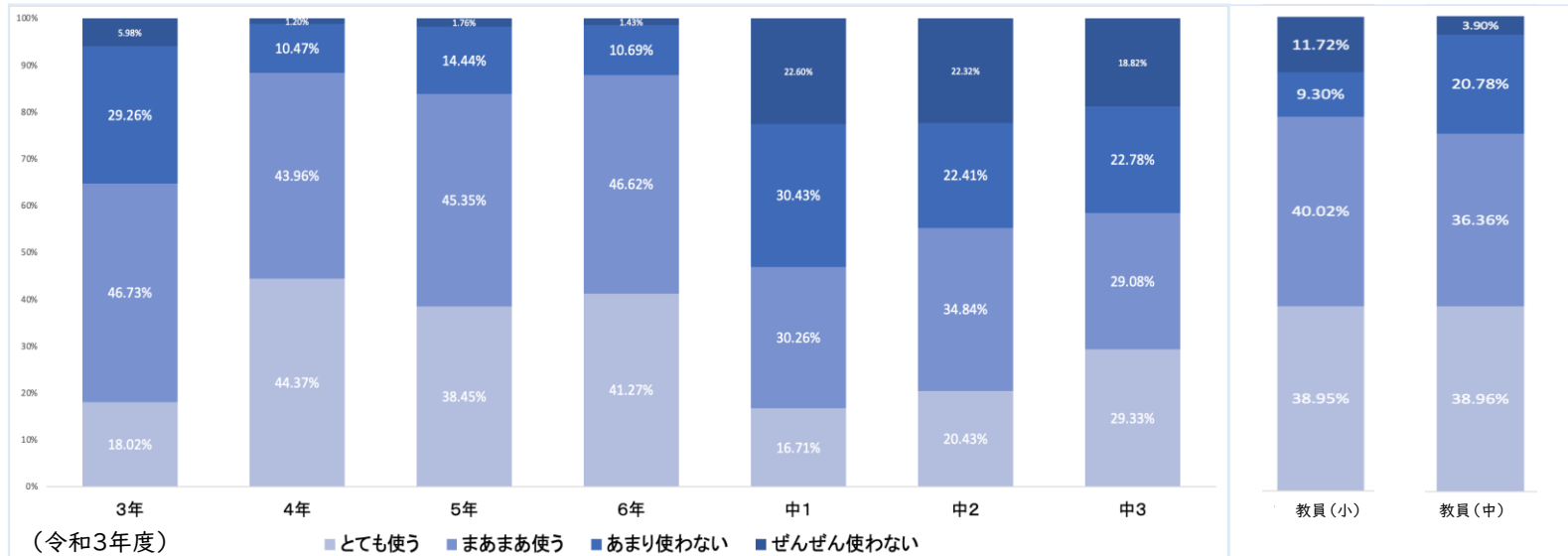


社会の授業でタブレットを使っていますか

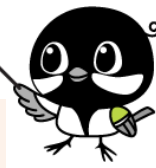


小学校、中学校とも低学年（小3、中1）の活用率が低い傾向が出ている。中学校においては、教員の認識よりも生徒の認識が低い傾向が出ている。

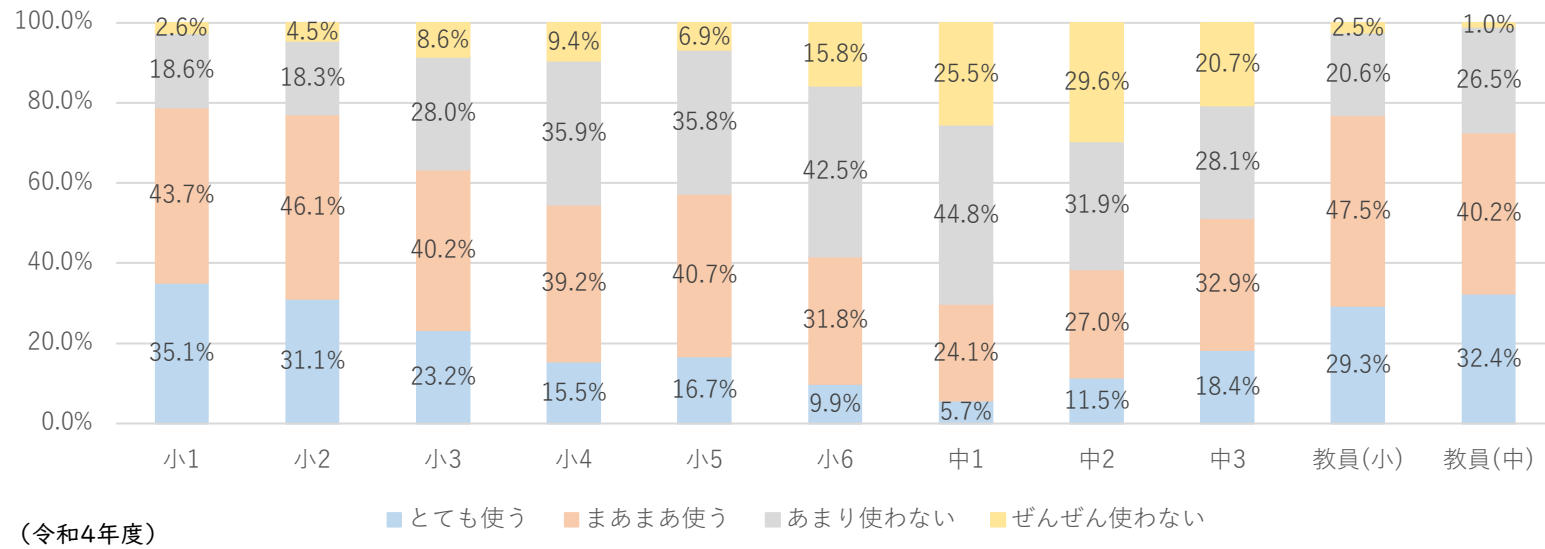
- 小学校について、3年生の使用率が若干低いのは、体験活動による情報収集に重きをおき、副読本を中心に学習活動が展開されているのではないかと考える。ICTの活用については、全学年とも導入場面での効果的な情報収集や問題の可視化のほか、自身の考えの共有や、考えの関連付け、グループ化に活用している。
- 中学校について、1年生の活用率が若干低いのは、学習内容が多く、できるだけ授業を先に進めたいという意識が働いているのではないかとと思われる。また、中学校教員の教科別の回答で「ぜんぜん使わない」の率が若干高いことから、社会的な見方・考え方を働かせる授業づくりの推進が必要と思われる。



学校での活用について

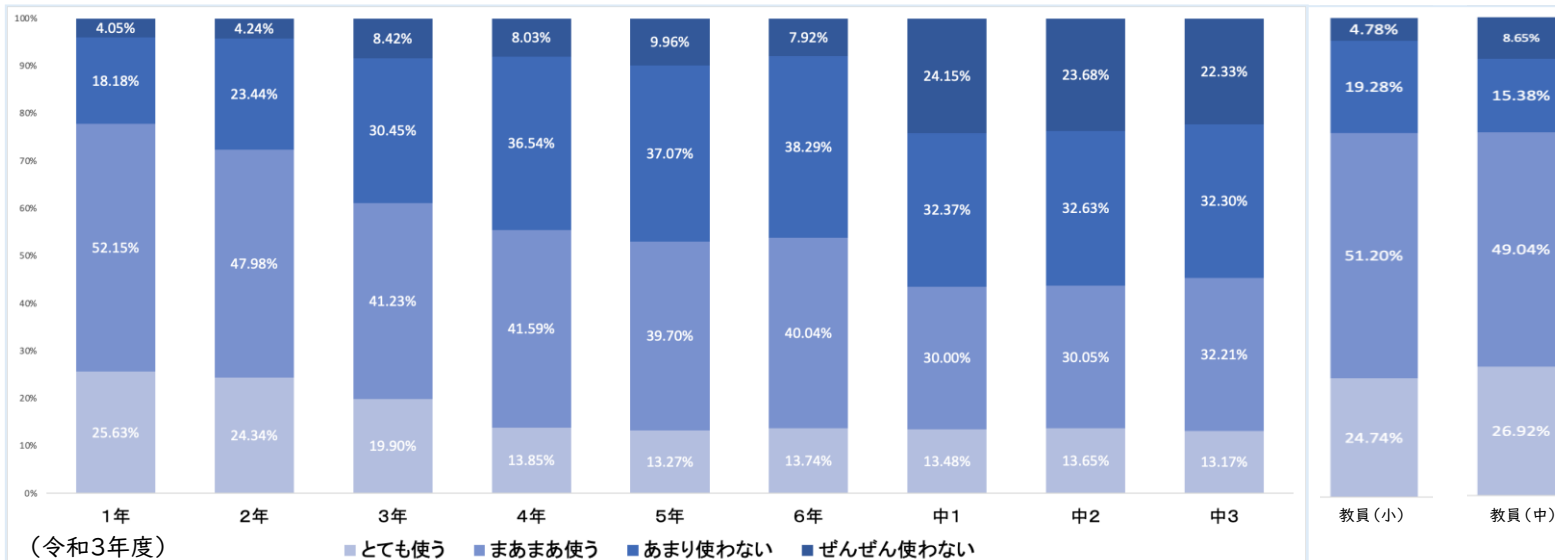


算数・数学の授業でタブレットを使っていますか

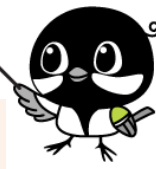


小学校は、学年が上がるにつれて活用率が下がる傾向が出ている。中学校は、昨年度と異なり、学年が上がるにつれて、活用率が上がる傾向が出ている。特に中学校においては、教員の認識よりも生徒の認識が低い傾向が出ている。

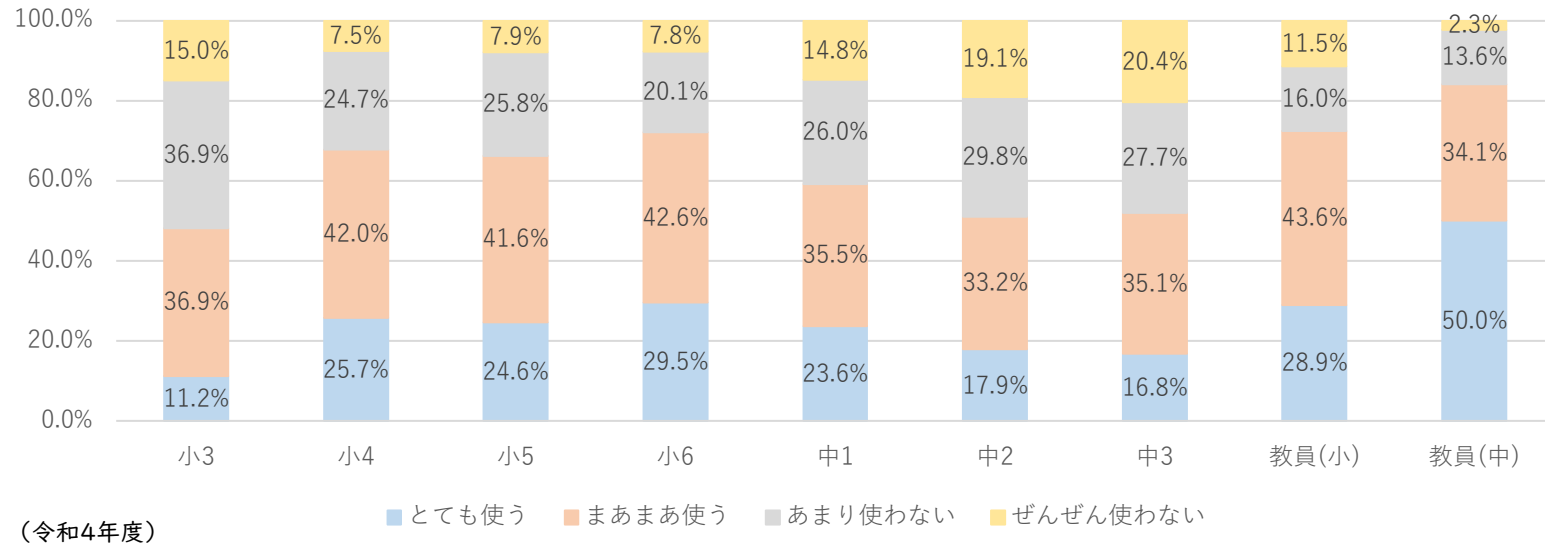
- 小学校は、低学年において、算数セットのアプリ活用がある。学年が上がり、タブレット、ノート、学習シート等から自分にあった方法を選択して学習を進める側面もあると思われる。
- 中学校の傾向が昨年度と異なるのは、小学校で比較的活用していた生徒が進学し、相対的に「使わなくなった」と感じているのではないかとと思われる。
- 教員と児童生徒の認識の差は、児童生徒の協働的な学習の場面より課題提示の場面が多いことによるものではないかとと思われる。



学校での活用について

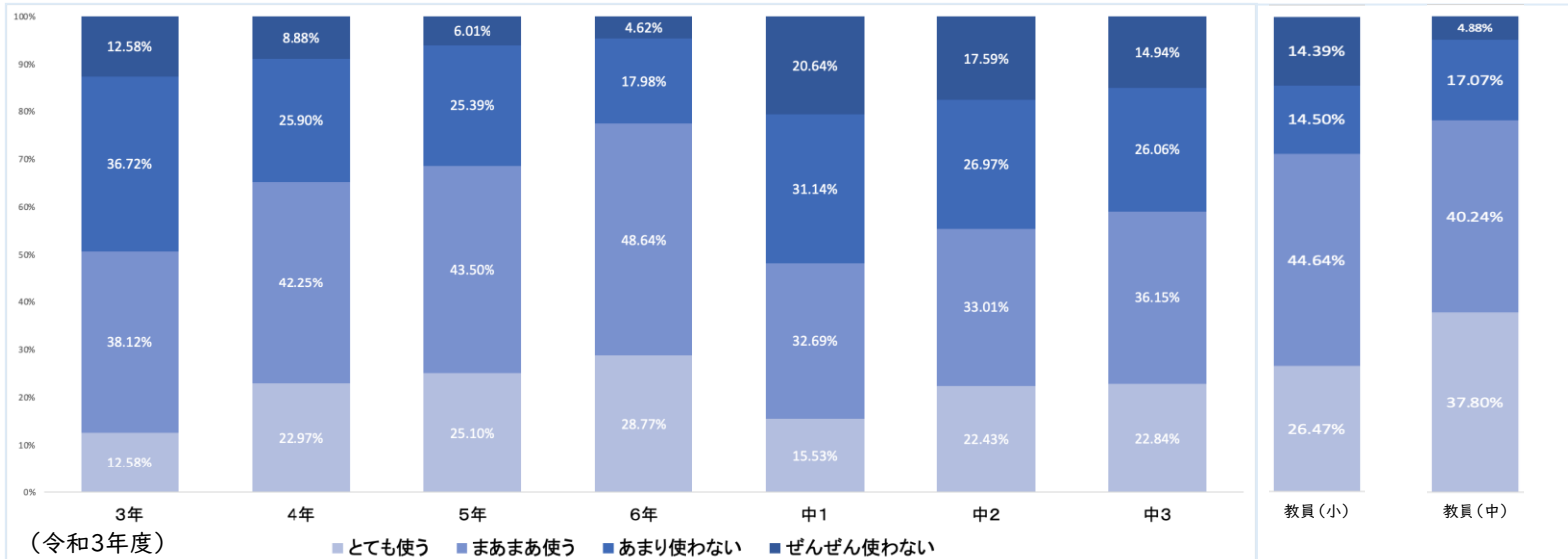


理科の授業でタブレットを使っていますか

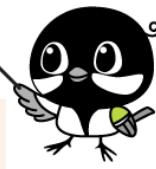


小学校は、低学年（3年生）が活用率が低い傾向が出ている。中学校は、昨年度は低学年（1年生）が活用率が低い傾向が出ていたが、今年度は逆の傾向が出ている。全般的に、教員の認識よりも生徒の認識が低い傾向が出ている。

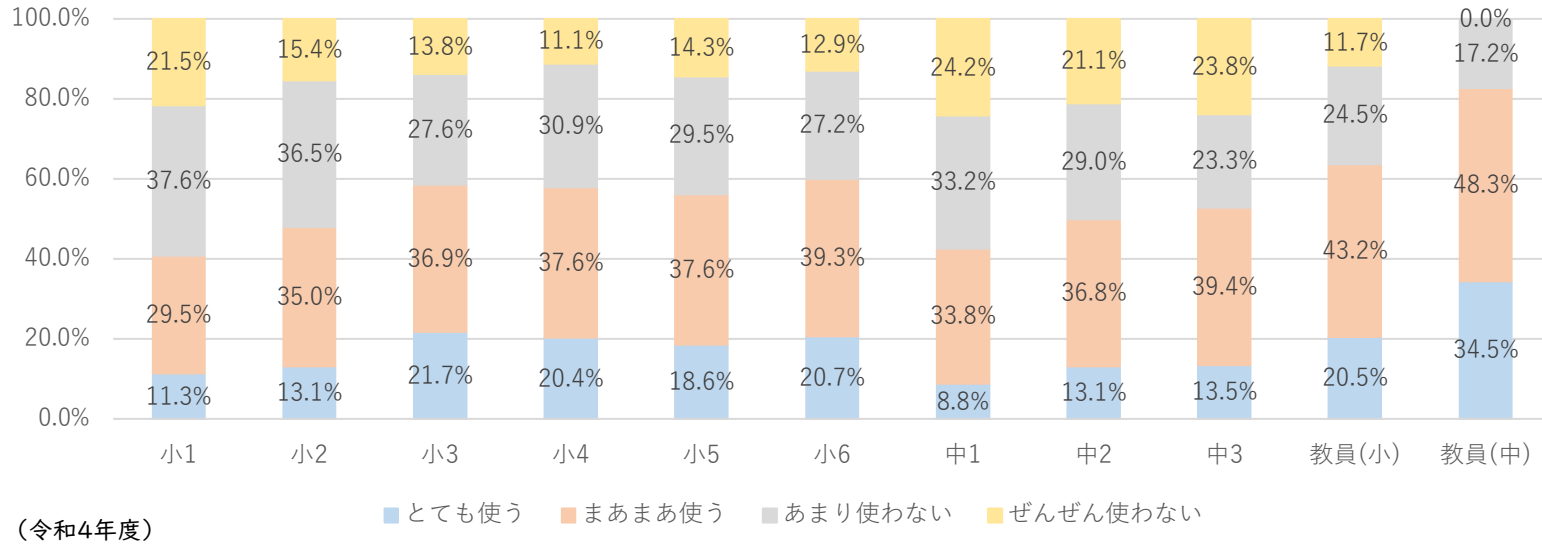
- 理科は、写真、動画、データ記録や共有、そしてまとめなど様々な場面での活用で授業の幅が広がっている。
- 小学校は、学年が上がるにつれて子どもたちのICTスキルが上がることで活用につながるのではないかと思います。
- 中学校は、学年が上がるにつれてないように複雑化や受験の意識から教師主導型になっているのかもしれない。



学校での活用について

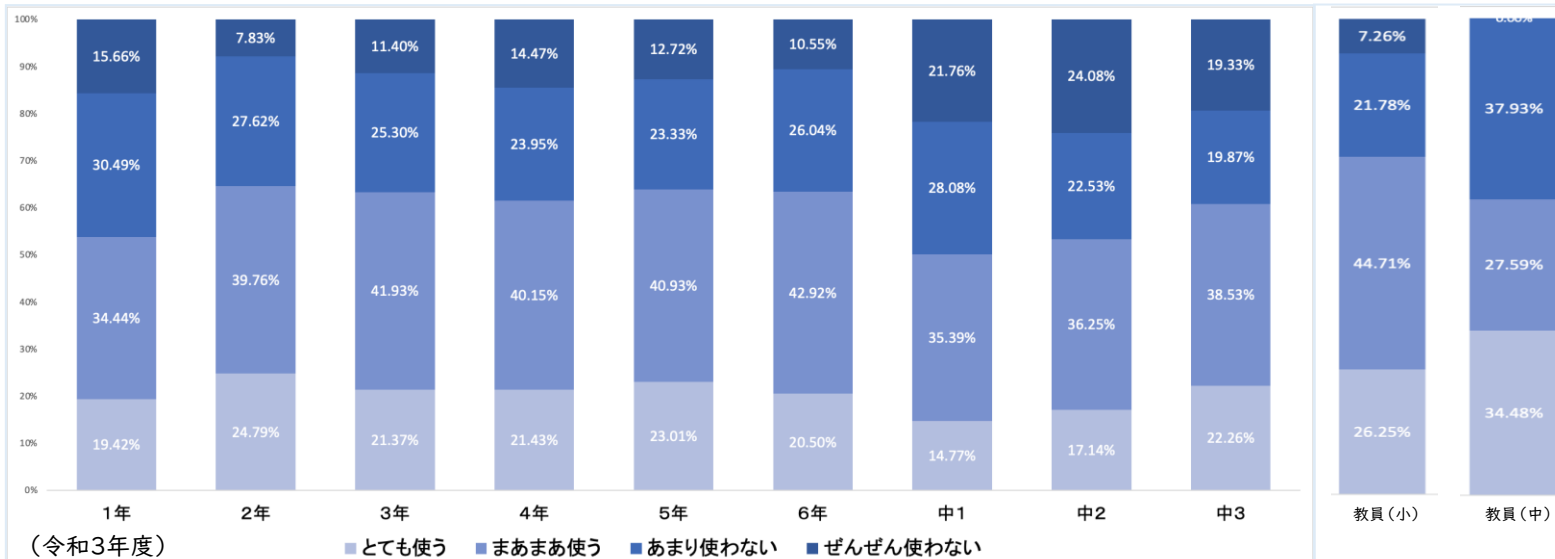


音楽の授業でタブレットを使っていますか

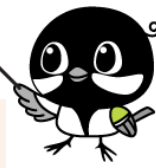


全般的に、昨年度に比べ、活用率が低下している傾向がみられる。また、教員の認識よりも生徒の認識が低い傾向が出ている。

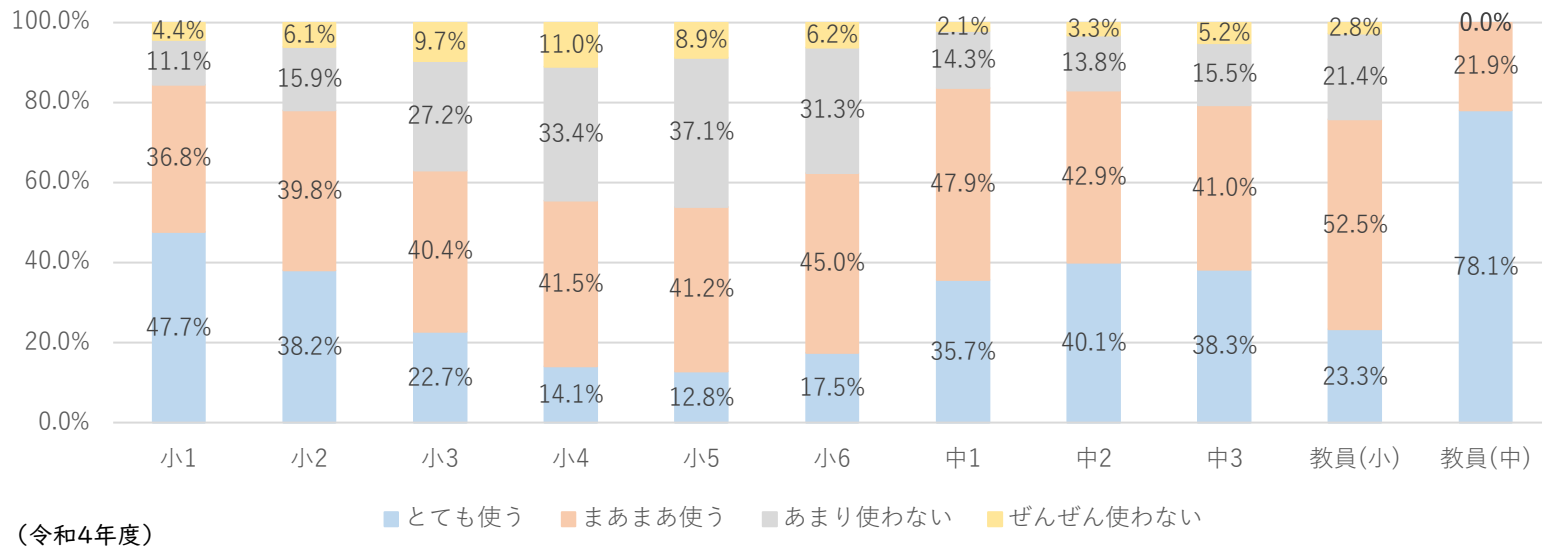
- 音楽科は、基礎的な技能を習得する時間の確保（例えば発声や楽器の基本的な奏法など）が重要なことから、必要に応じてICTを活用していると思われる。コロナ対策の緩和から、合唱や合奏活動が再開されていることも考えられる。
- 創作領域ではGarageBand（ガレージバンド）や熊本市教育センターで公開している教材アプリや熊本県立大学で開発し教育センターからもリンクしている教材アプリ（メロディア、ふるじっく）なども活用されている。



学校での活用について

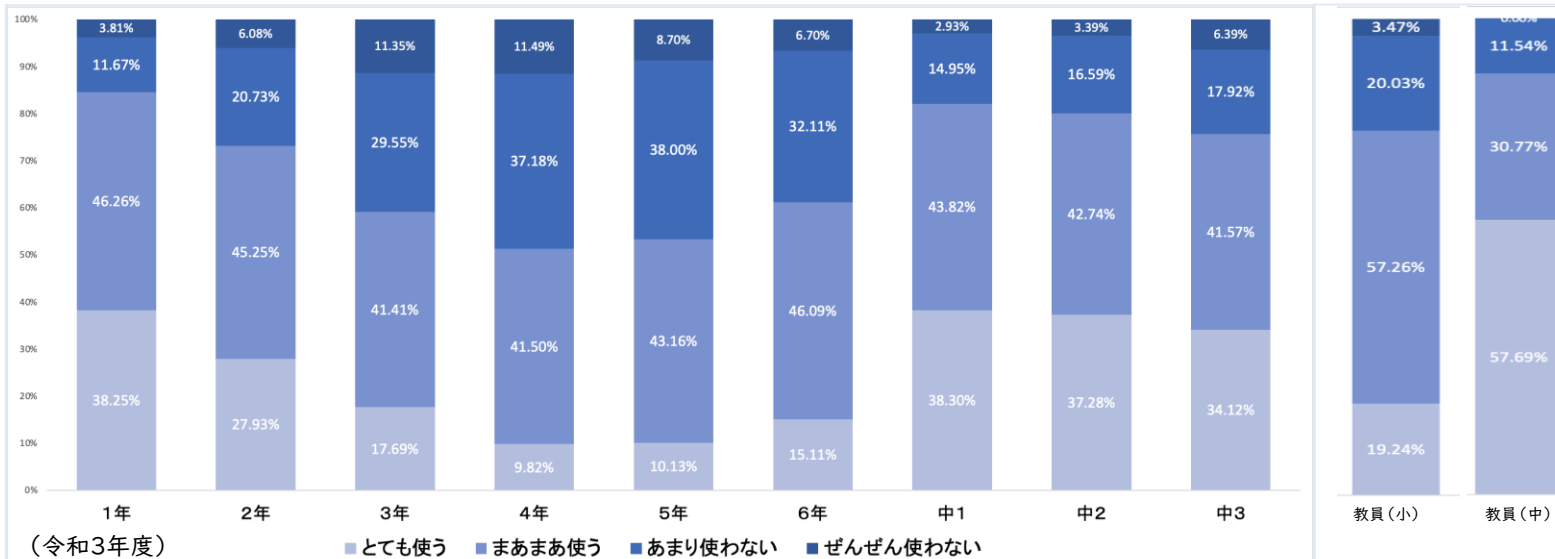


図画工作・美術の授業でタブレットを使っていますか

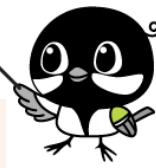


小学校は、学年が上がるにつれて活用率が下がる傾向が出ている。中学校のほうが、小学校よりも活用率が高い傾向が出ている。

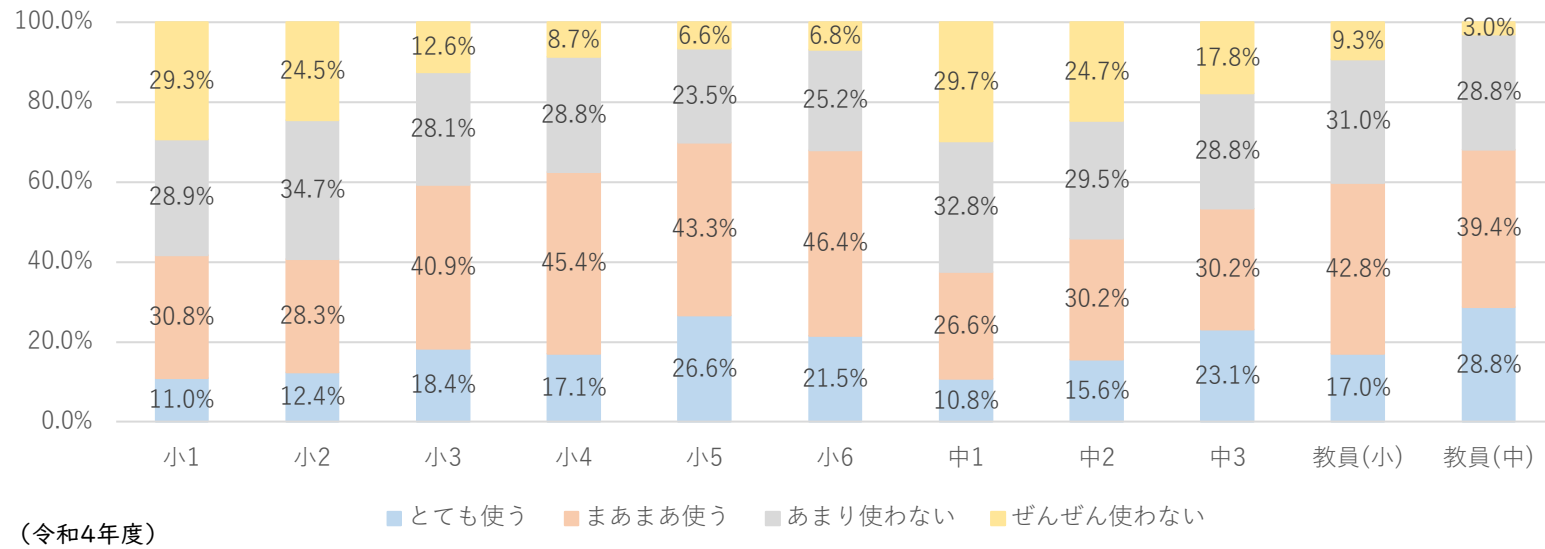
- 中学校においては、児童生徒、教員とも活用率が高く出ている。授業の終わりに製作途中の記録として写真をとるようにしているためと思われる。また、振り返りを「言葉」で記録することも推奨していることから、ロイロノートで写真とテキストでの記録を行っていると思われる。また、アイデアスケッチにSketchesの活用も推進している。思考や表現を記録として残すために、タブレット端末を効果的に活用できている。
- 小学校においても、同様の取り組みを行っていると思われるが、中高学年において若干の使用率の低下が見られる。制作に時間をとって、ある程度まとめて振り返りを行っているのかもしれない。



学校での活用について

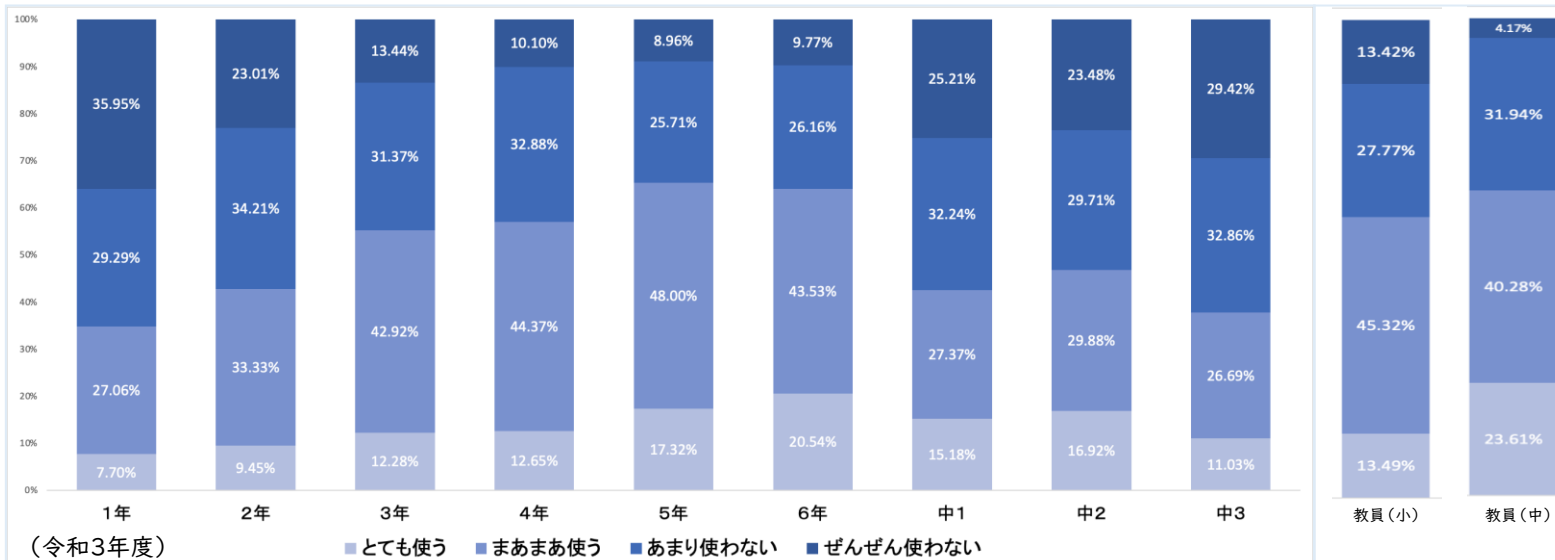


体育・保健体育の授業でタブレットを使っていますか

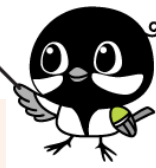


小学校、中学校ともに学年が上がるにつれて、活用率が上がる傾向が出ている。

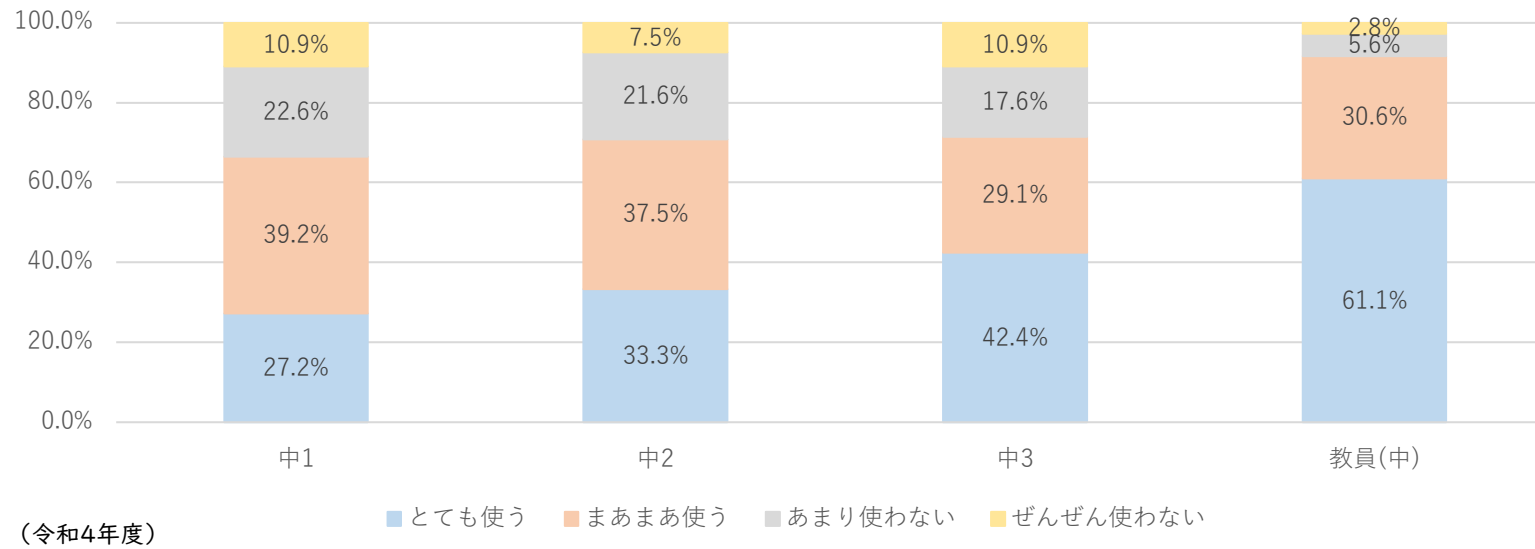
- 教科・領域の特性として運動量の確保が重要なことから、タブレットの活用は操作等に時間を要しないこと、短時間で繰り返し活用できること等に留意することが重要である。
- そのため、操作等に慣れておらず時間がかかる小学校低学年においては、他学年に比べて活用率が低い結果になっているのではないと思われる。
- 中学校については、学年ごとに使用率が上がるものの、小学校に比べて活用率が低く出ている。身体活動の動画や写真撮影を行い、自分では見えない体の動きを知ったり、課題の把握、解決につなげることに活用しているが、データの周囲との共有やSNSへの無断アップなどトラブルの懸念から、自身の撮影は自身のタブレットのみを利用するなどデータの取り扱いを慎重にしている学校もあり、数値が低下しているのではと思われる。



学校での活用について

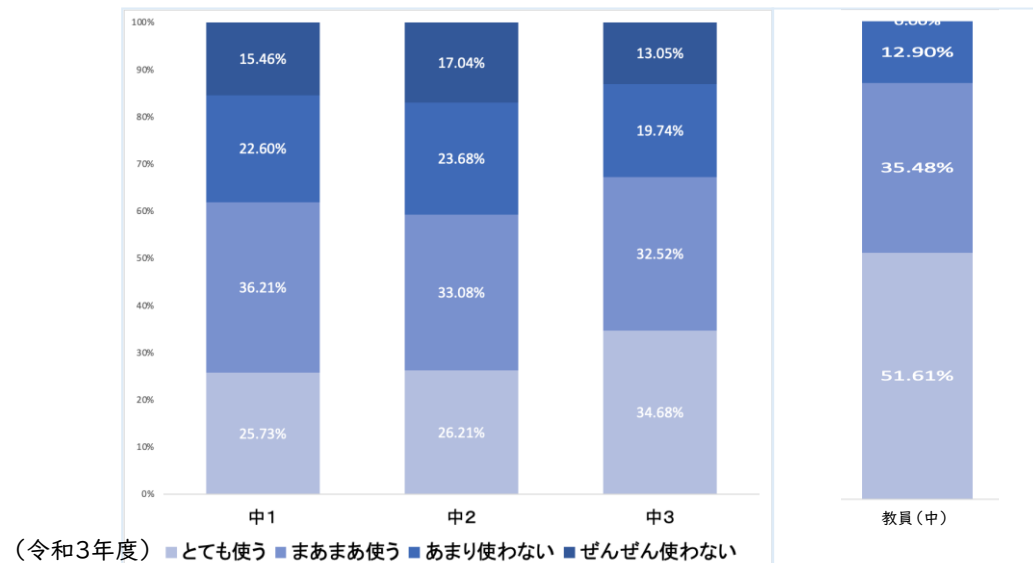


技術科の授業でタブレットを使っていますか

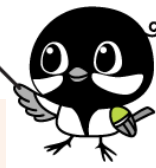


昨年度とほとんど同じ傾向がみられるが、生徒の「ぜんぜん使わない」割合が、若干減少している。

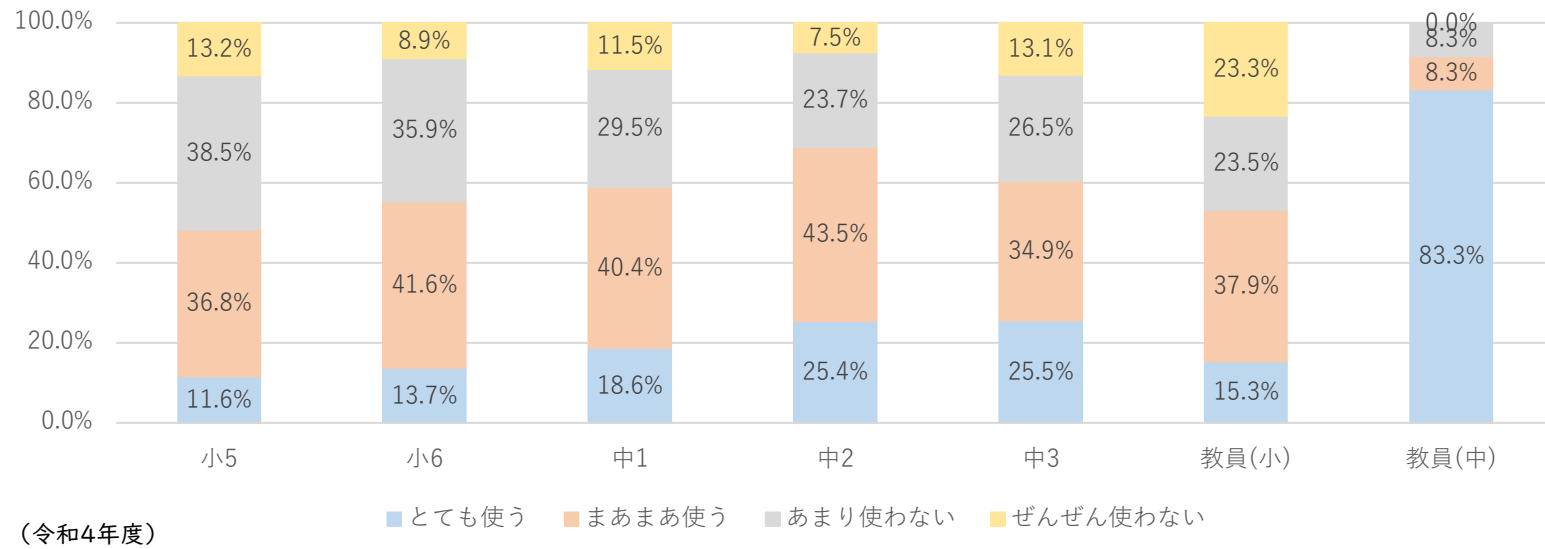
- 昨年度に比べて、プログラミング学習環境の整備や各学校で研究授業の追実施を行っており、その成果と思われる。
- 技術においては、PC教室でデスクトップPCを活用しているケースもあり、タブレット以外のICT活用の実施もある。
- タブレットについては、PC教室に限定されず、学校の学習時間以外でのスキル習得や興味のあることを追及する面において学習効果が期待できる。



学校での活用について

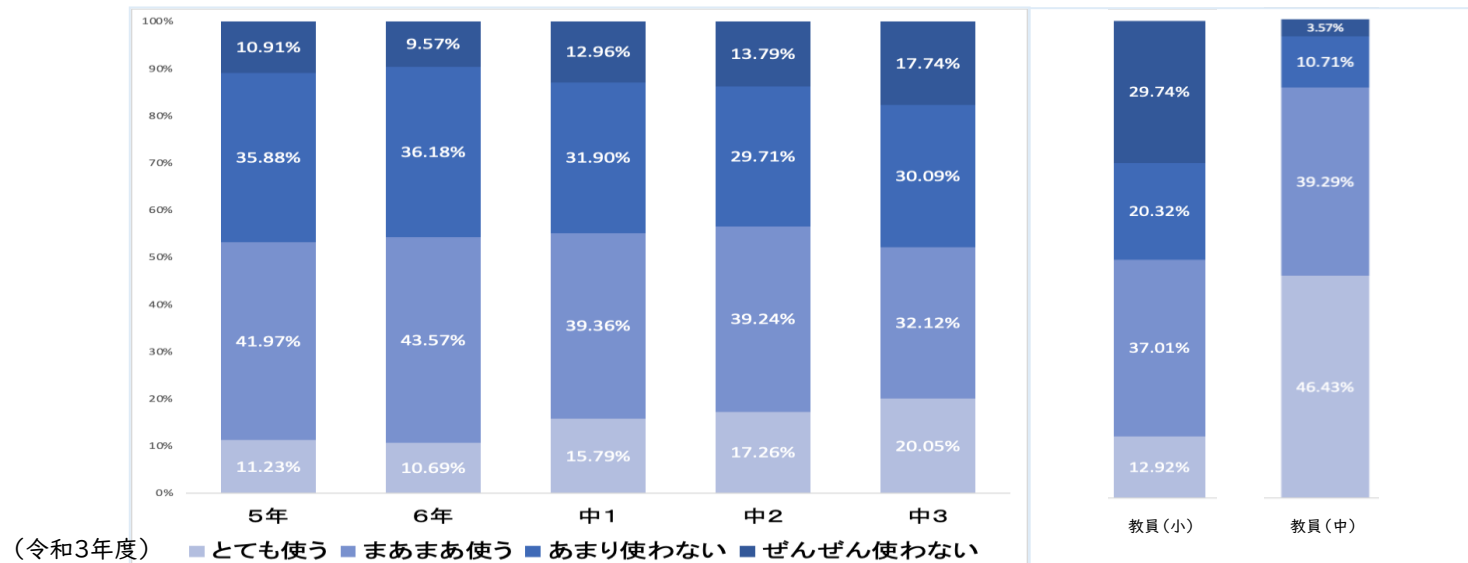


家庭科の授業でタブレットを使っていますか



小学校は、教員と児童の活用率の認識がほぼ一致しているのに対し、中学校は、教員の活用率の認識が著しく高く、生徒と乖離がある。

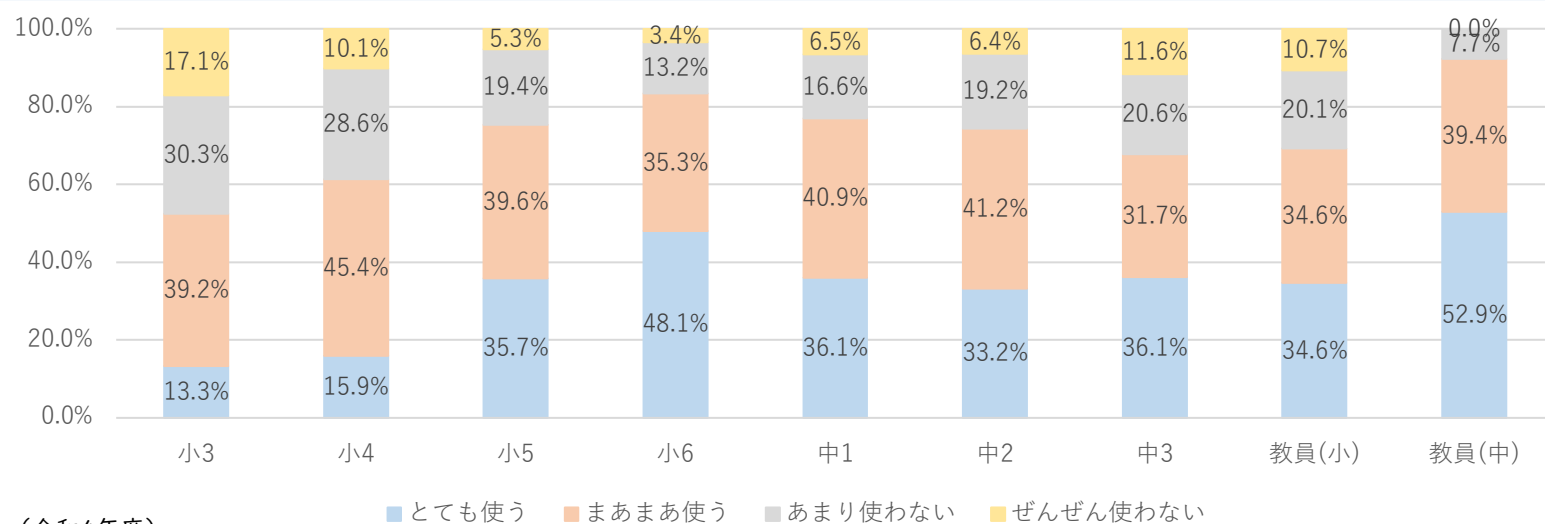
- 家庭科は学習する内容によって活用の頻度が変わってくると思われる。例えば食生活の調理実習や、衣生活の製作など知識・技能の修得等に関しては有効である。しかし、昨年度、今年度とコロナ禍により実習を実施した学校が従来より減少しているため、大幅な活用状況上昇にはならなかったのではないかとと思われる。
- 学校で調理実習ができなかった分、家庭で調理実践したものを提出するという活用も増えたため、家庭科では家庭での活用が増えているのではないかとと思われる。



学校での活用について

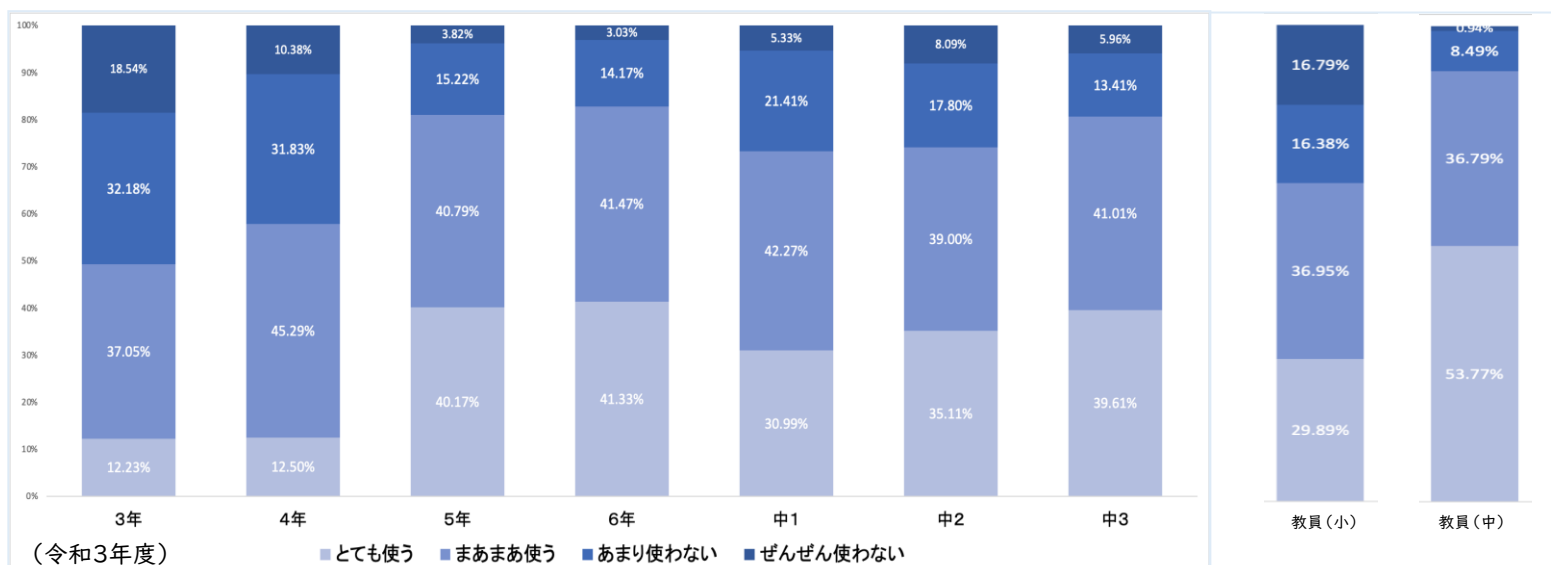


外国語活動・外国語の授業でタブレットを使っていますか

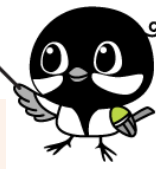


外国語については、デジタル教科書を先行導入しており、そのこともあって、活用率が比較的高い傾向が出ている。

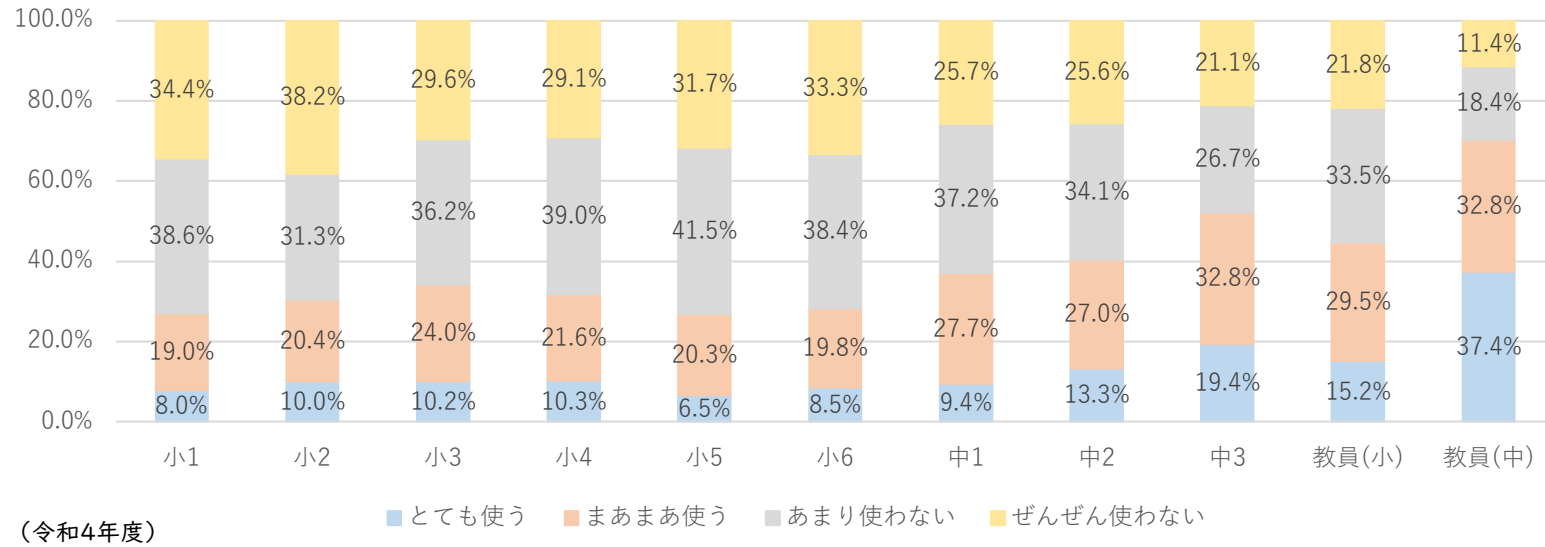
- 小中学校ともに、振り返り、プレゼン発表、情報の整理等に積極的な活用されている。互いの発表を動画にとって中間評価に用いるなどタブレットの利用価値が高い活動が見られるようになってきた。
- 小学校3、4年生の外国語活動の活用が若干低いのは、カード等の教具やPCを用いて指導者用デジタル教科書の活用があり、タブレットを使う場面が少ないためと思われる。
- 中学校は、学年が上がるにつれて、内容の高度化、学習量の増加などがあり、一斉形式で指導者用のデジタル教科書の利用が増加しているためではないかと思われる。



学校での活用について

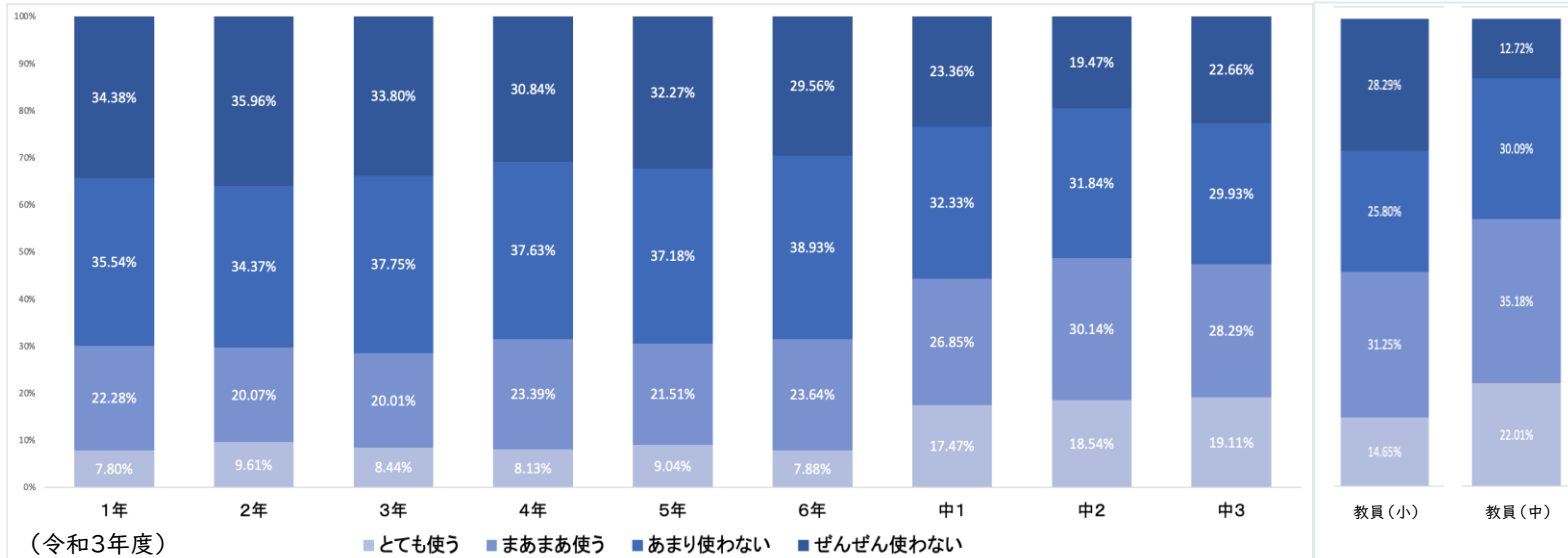


道徳の授業でタブレットを使っていますか

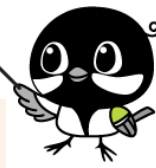


全般的に活用率が低く、教員の認識よりも生徒の認識が低い傾向が出ている。

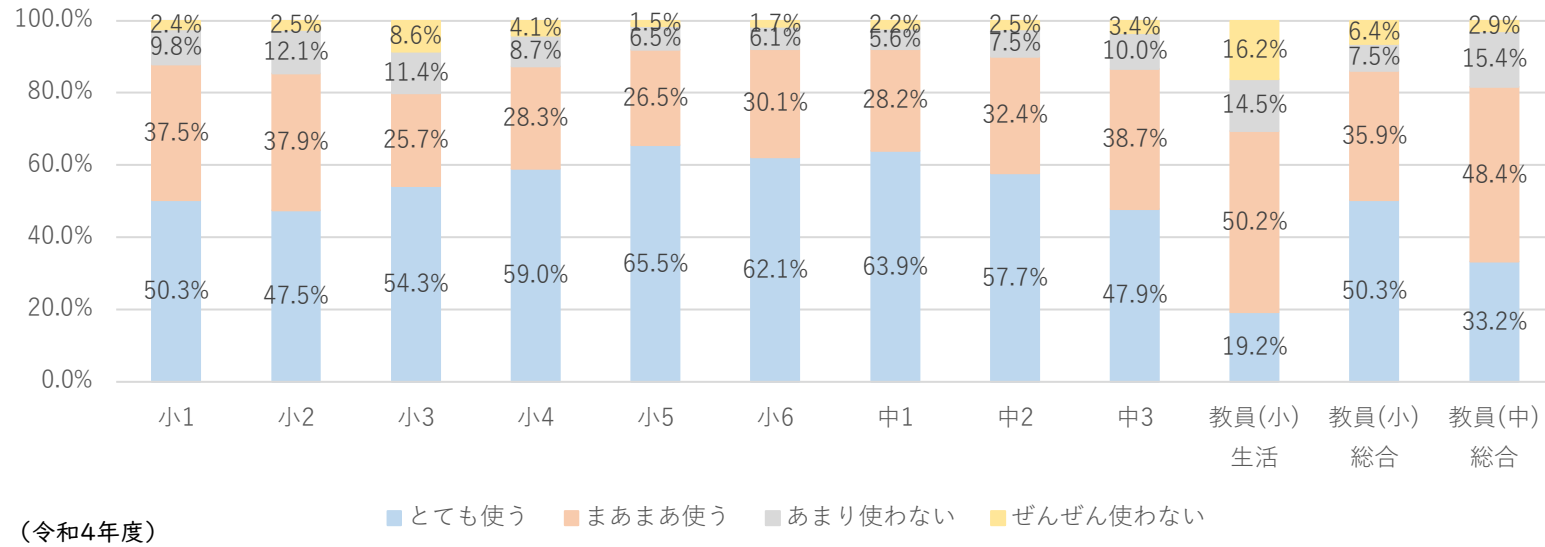
- 授業では、自分の考えをまとめ、それをもとに対話する場面での使用が想定されるが、他の紙媒体でも可能なため使用率が低いのではと思われる。一方「賛成・反対」「する・しない」などの立場を示す場合は、タブレットの活用が多い。



学校での活用について

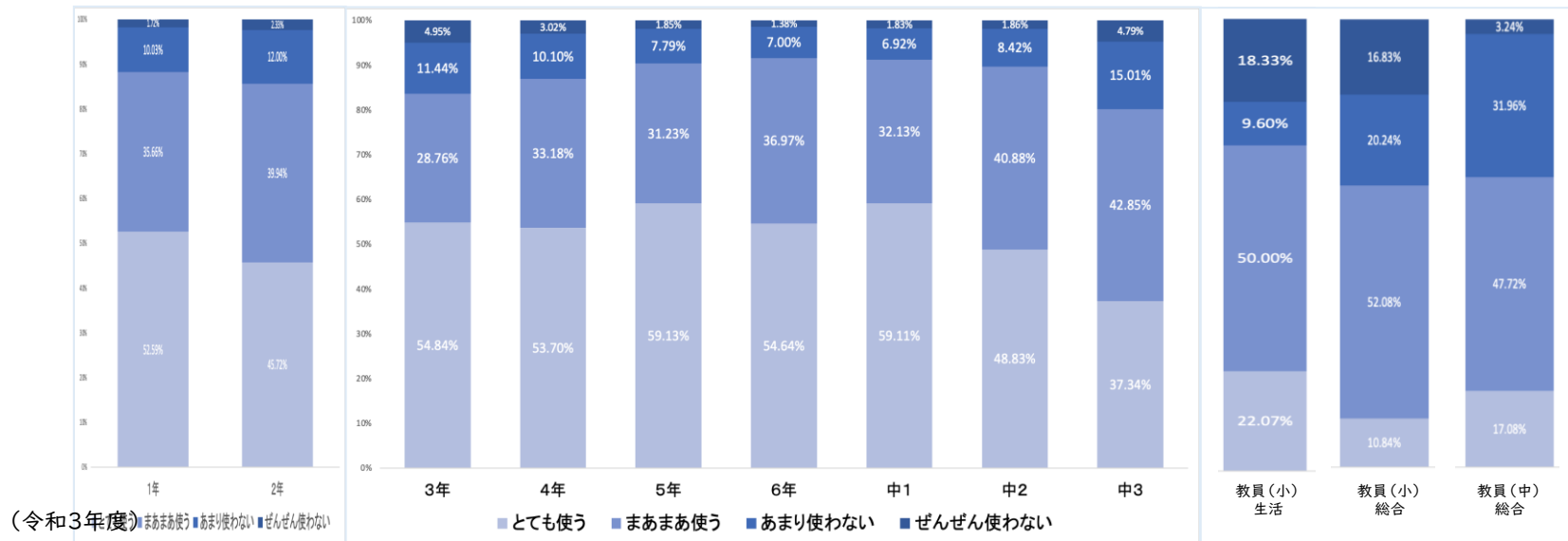


総合的な学習の時間（小学校1・2年生は生活）でタブレットを使っていますか

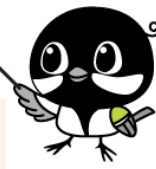


昨年度に引き続き、非常に活用率が高い傾向が出ている。

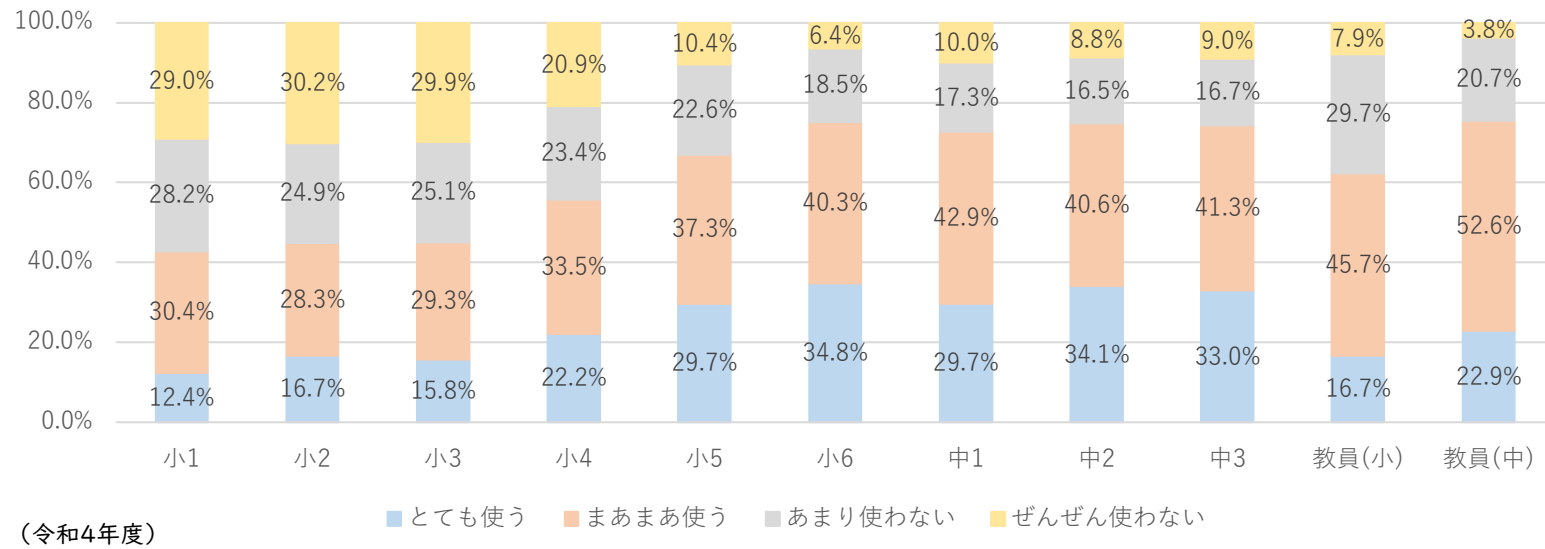
- 生活科は、植物の生長、季節の変化、家庭での取り組みなど、撮影した写真や動画を使って対話を引き出す授業が多くなってきている。
- 総合的な学習の時間は、「情報の収集」の場面での検索や「まとめ・表現」の場面でのプレゼン作成のほか、思考ツールを用いて可視化しながら考えを整理・分析するという活用も増えてきている。



学校での活用について

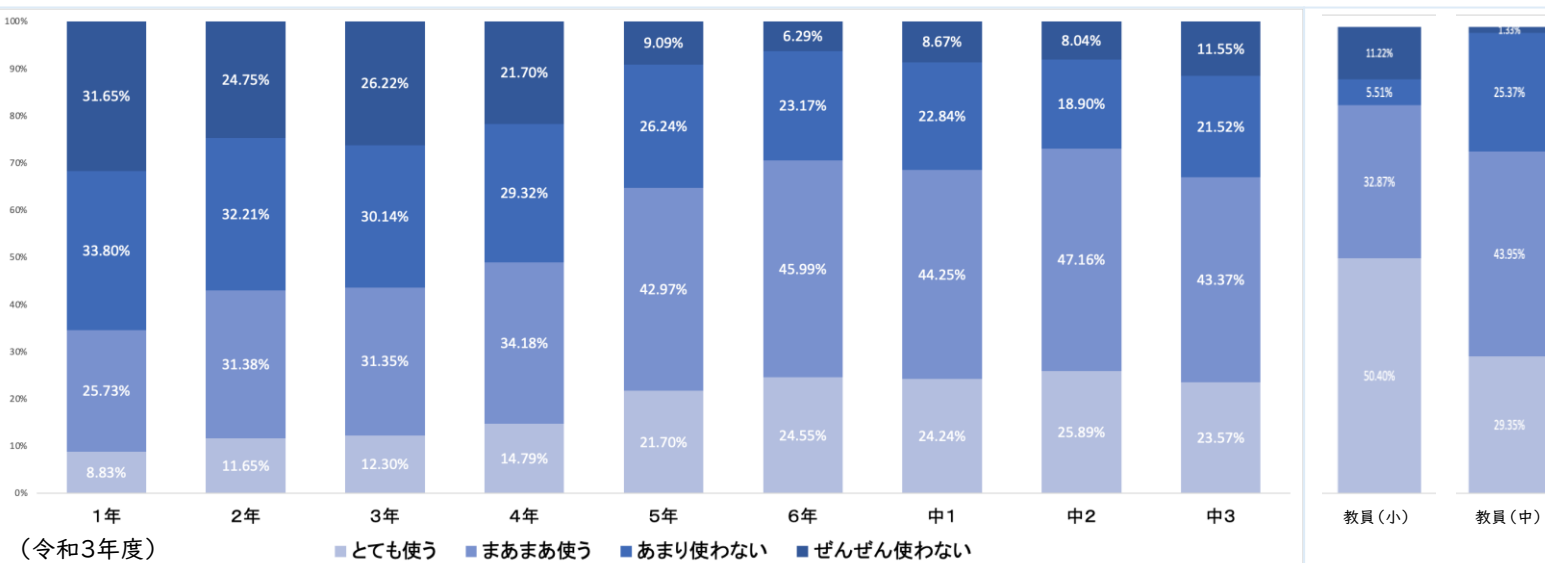


特別活動の授業でタブレットを使っていますか

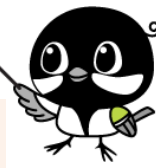


小中学校にかけて、学年が上がるにつれて、活用率が上がり、小学校高学年以降安定する傾向が出ている。

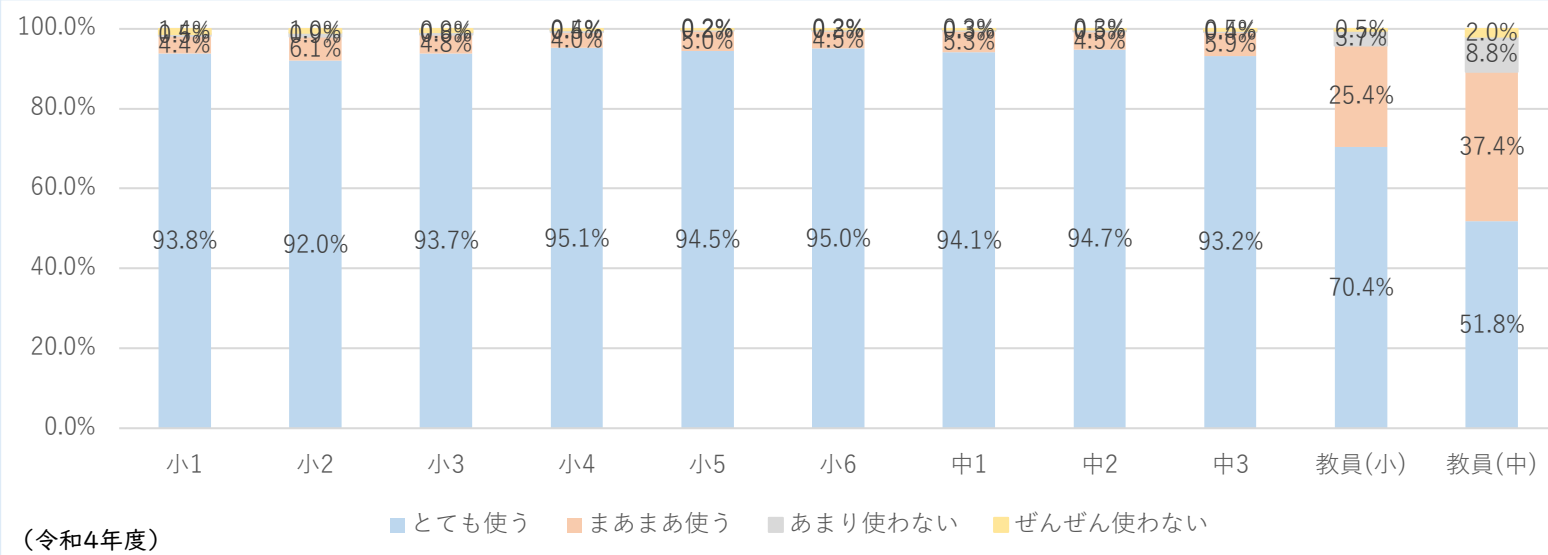
- 回答は学級活動を想定したものになっていると思われる。授業外の生徒会活動等も含めると、活用率は上昇したと思われる。学級活動においては、「自分の考えをカードにまとめる」ことが中心となり、「友達と考えを比べる」「自分の考えを再考し、意思決定(自己決定)をする」ことに展開していくことになる。小学校低学年においては、まず字を整えて書くことを大切にすることから、使用を控える傾向があるのかもしれない。
- 児童生徒の生活実態から目当てを洗い出し、課題意識を持たせる学習は、先のタブレットを活用した授業展開ができています。
- 「性に関する指導」や「安全教育」は、既存の教育資産があるが、デジタルへの転換が進めば活用率の向上につながるとされる。



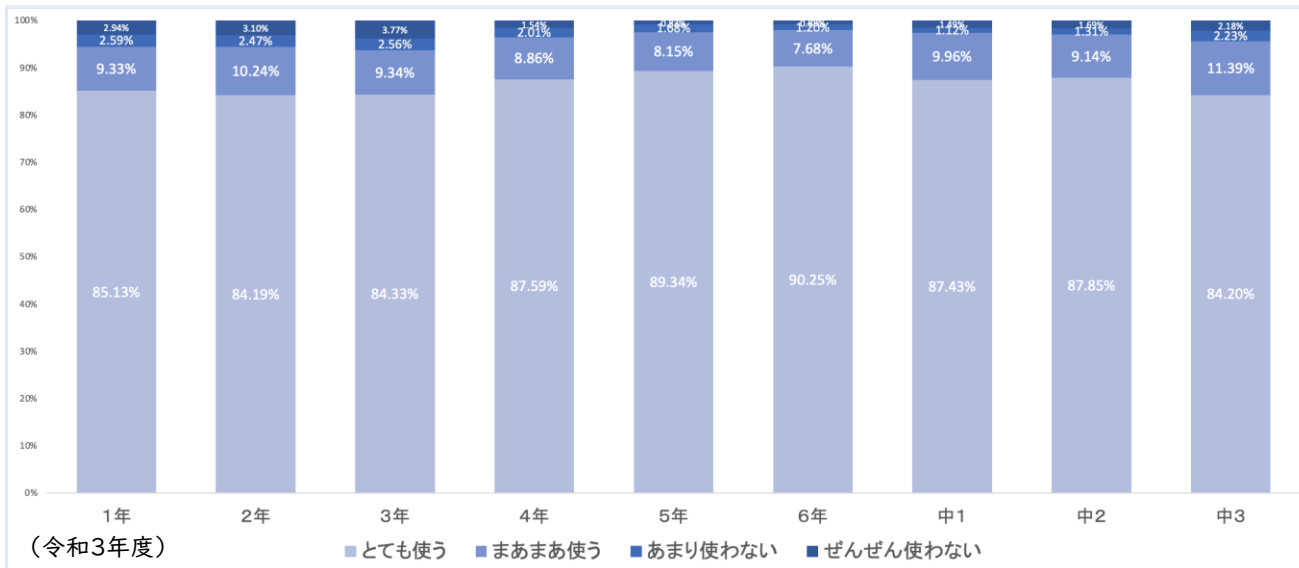
学校での活用について



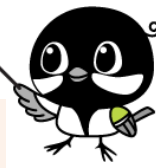
ロイノートを使っていますか



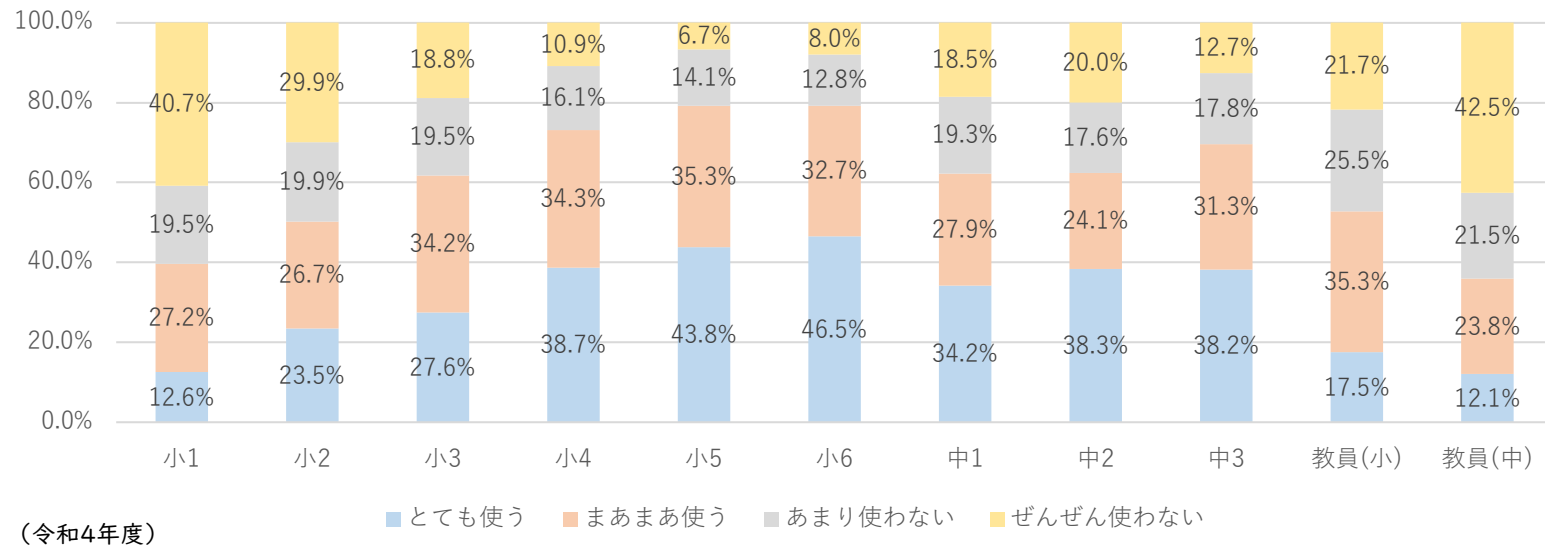
非常に高い活用率になっている。資料の配布、集約、思考ツールのテンプレートなどがあり、授業実施の基本ツールとなっていることが伺える。



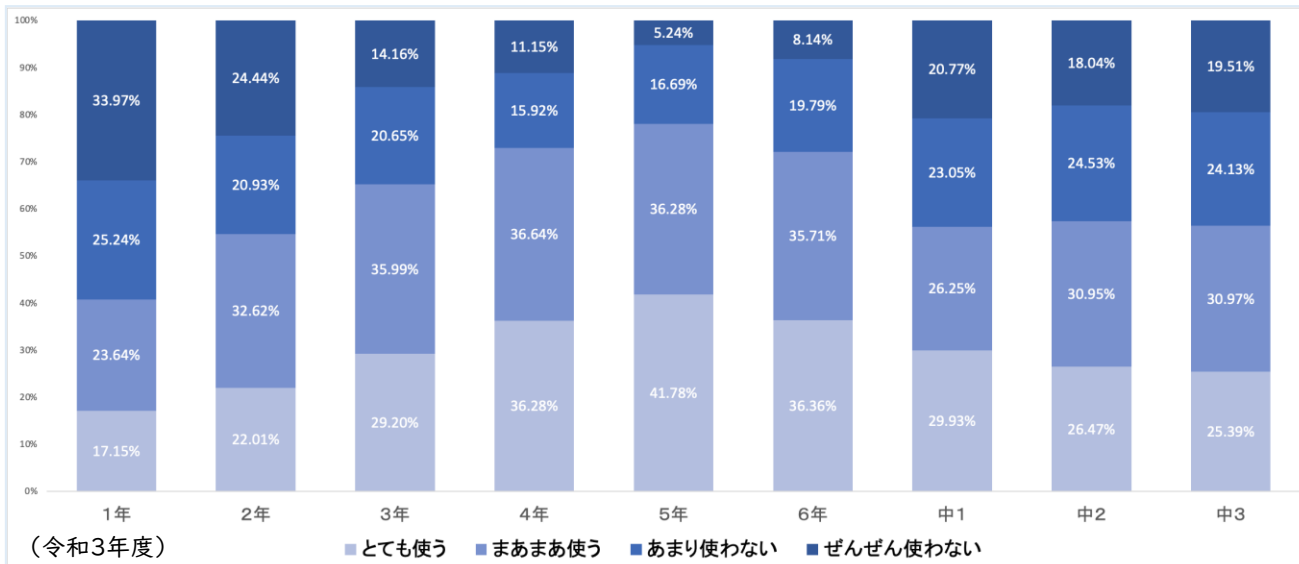
学校での活用について



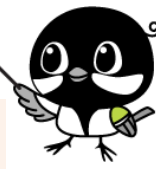
メタモジクラスルームを使っていますか



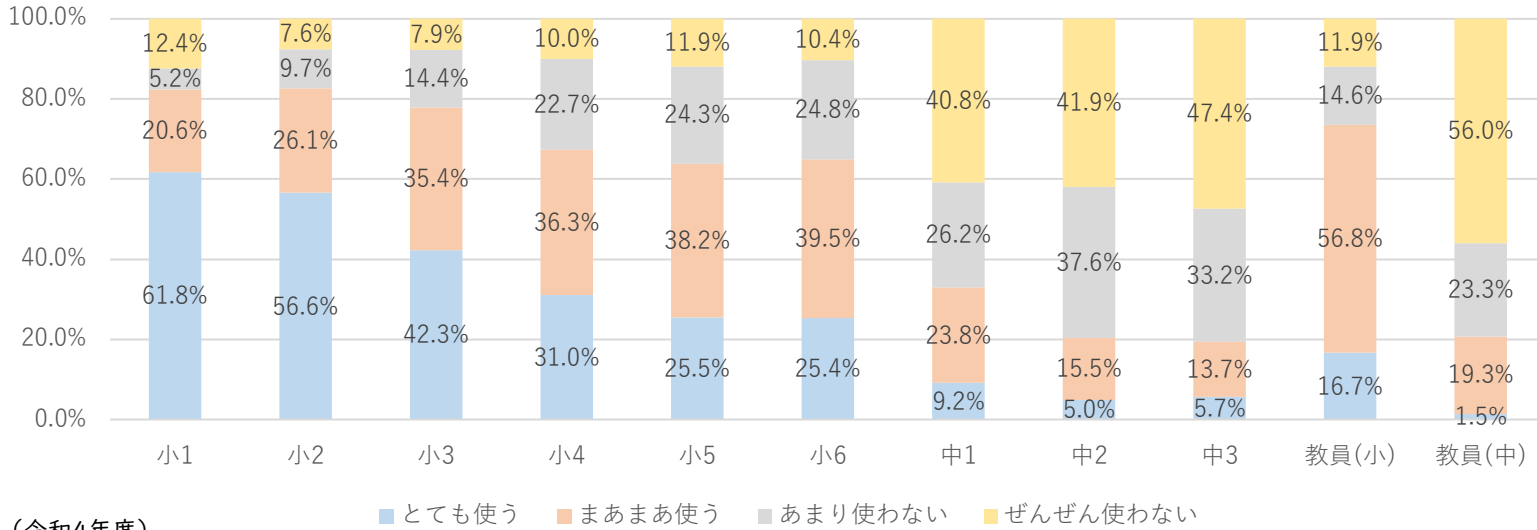
ロイノートほどではないが、比較的活用されている。共同編集による資料作成や、児童生徒の学習状況をリアルタイムに確認できる利点がある。
 教員の認識よりも児童生徒の活用率が高いことから、小学校における専科や中学校の一部の教員が積極的に活用していると思われる。



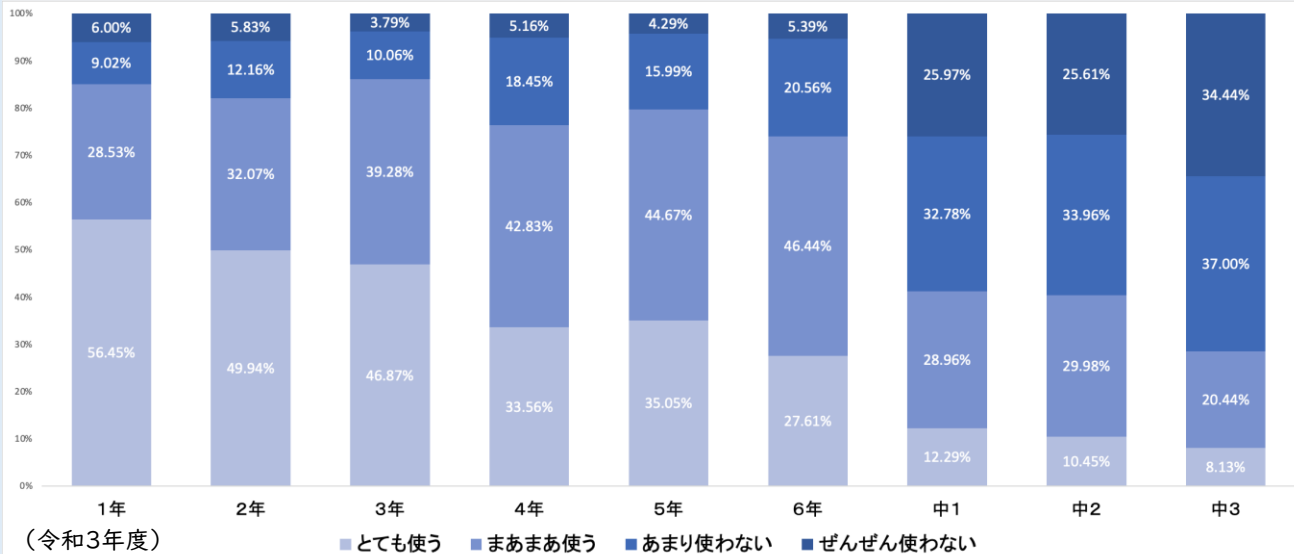
学校での活用について



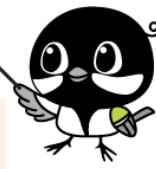
ドリルパークを使っていますか



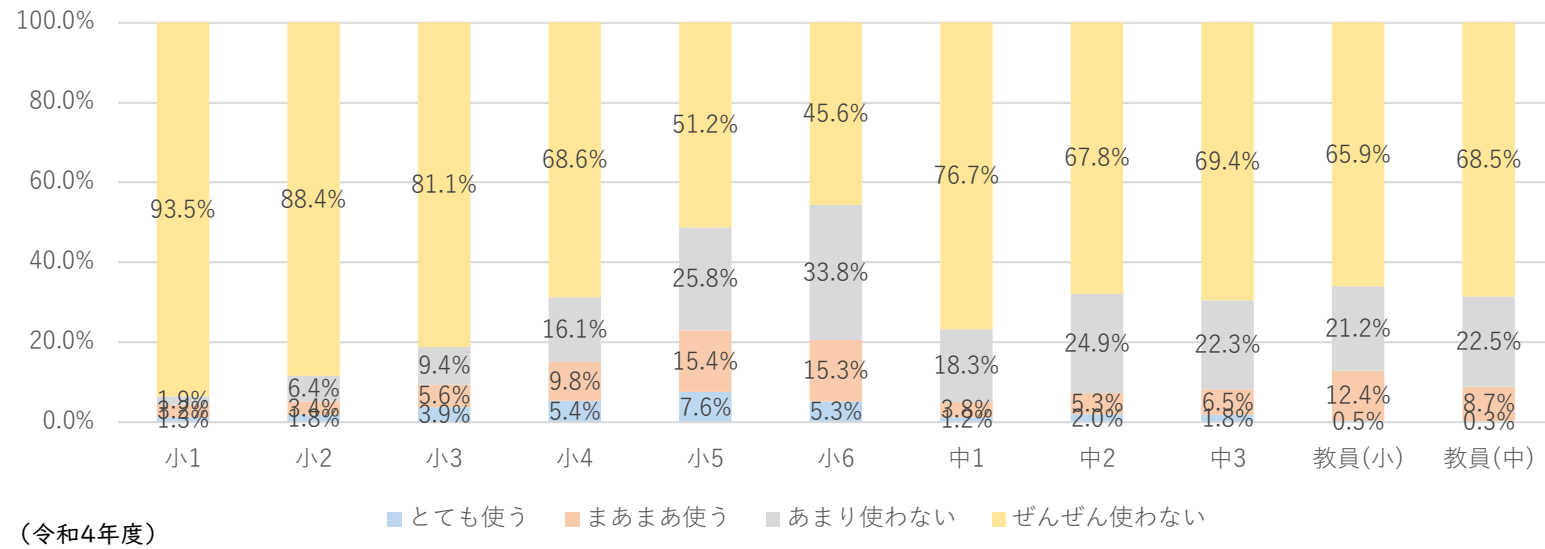
小学校は、学年が上がるにつれて活用率が下がり、中学校ではさらに活用率が下がっている。高学年になるに従い、授業の中で取り組ませる時間の確保が難しいことや紙のドリル教材を活用するためと思われる。



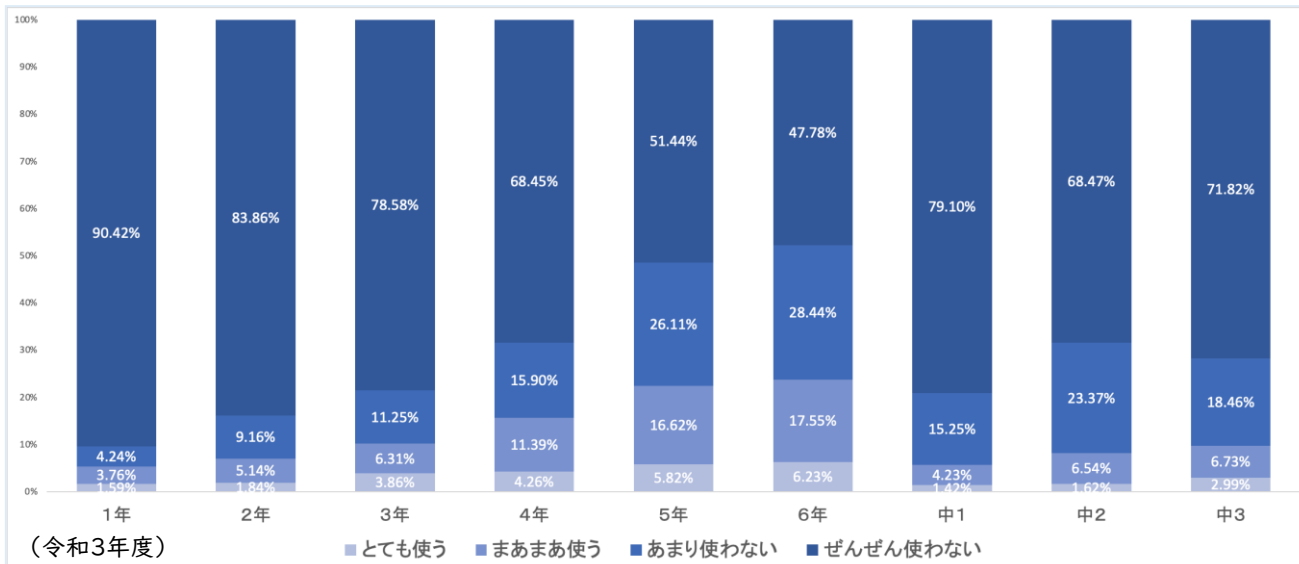
学校での活用について



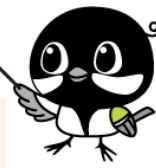
iMovie (アイムービー) を使っていますか



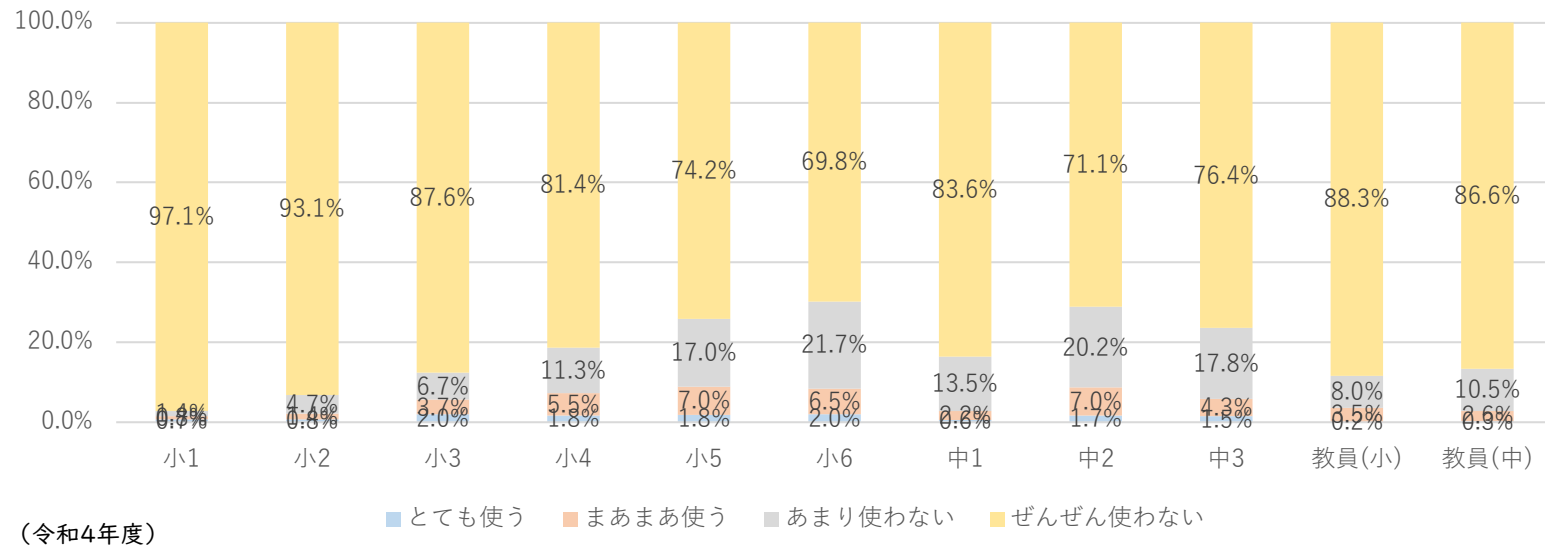
小学校高学年において、若干の活用がみられる。
 動画編集ソフトであり、日常的に活用するものではないが、学習成果の表現、実技系教科の振り返り、観察記録の編集などで活用していると思われる。



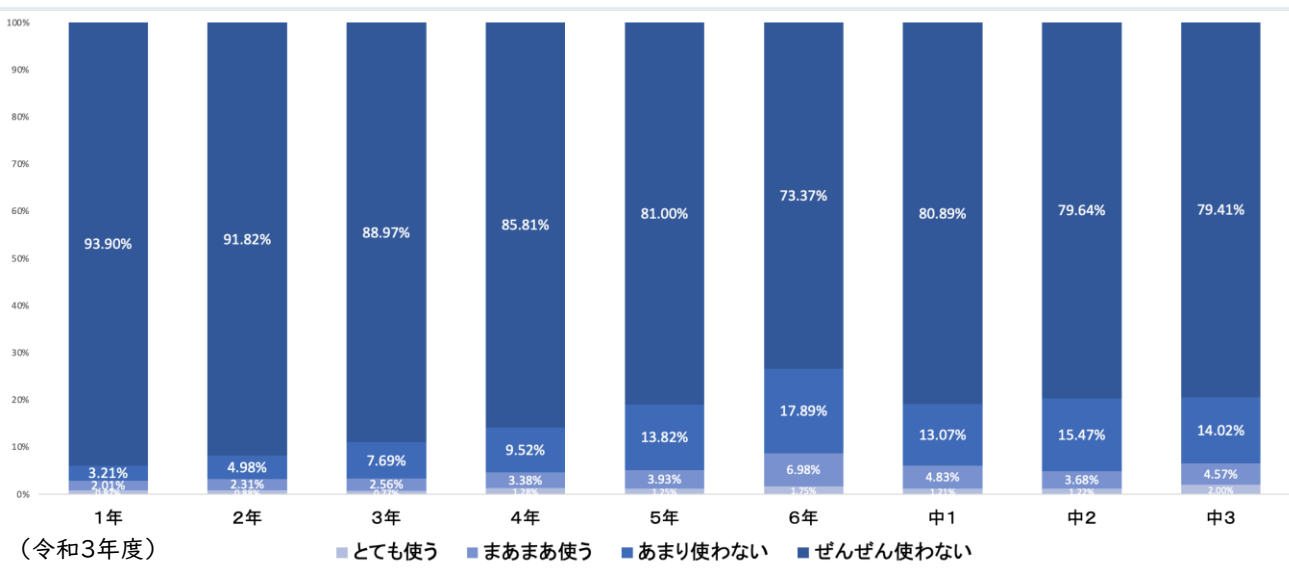
学校での活用について



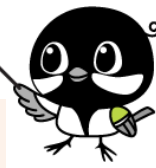
Pages (ページズ) を使っていますか



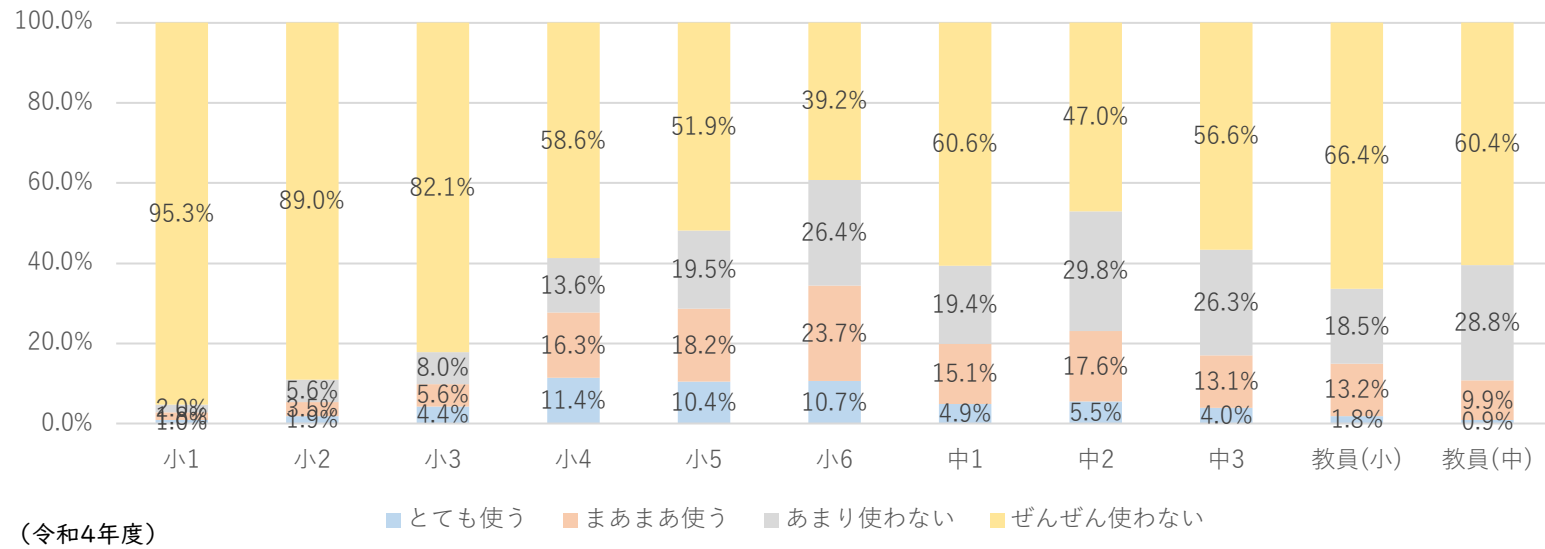
文書作成に活用するものだが、その活用率は低い傾向が出ている。作文や長文をまとめ、推敲することや、新聞を作成することにも活用可能であるが、一部はロイロノート他のアプリで代替していると思われる。



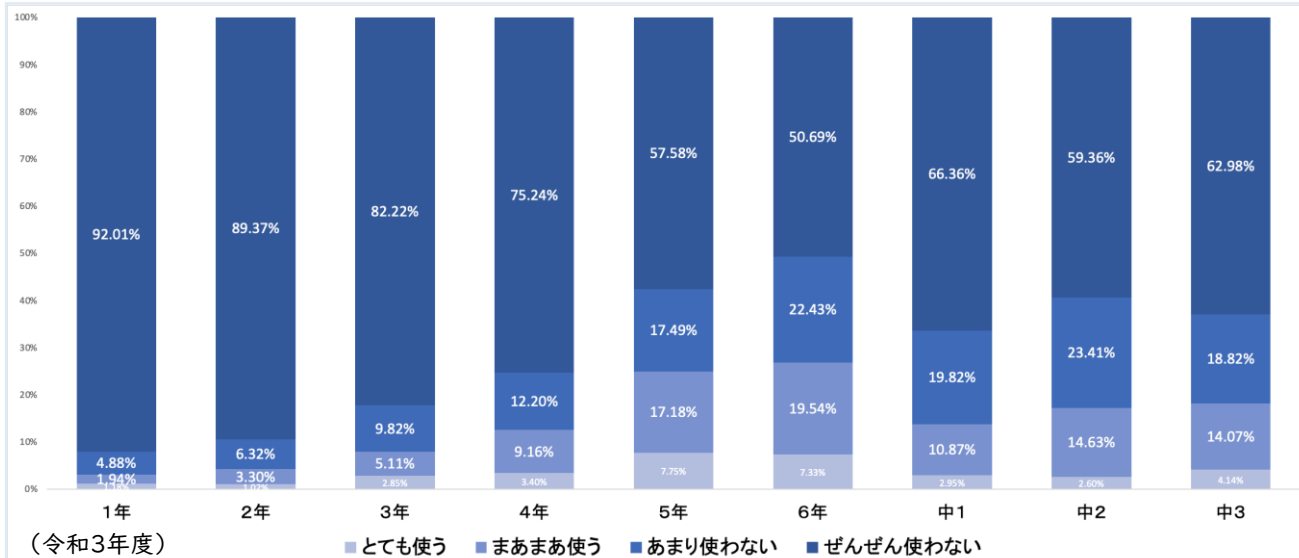
学校での活用について



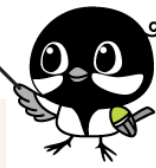
Keynote (キーノート) を使っていますか



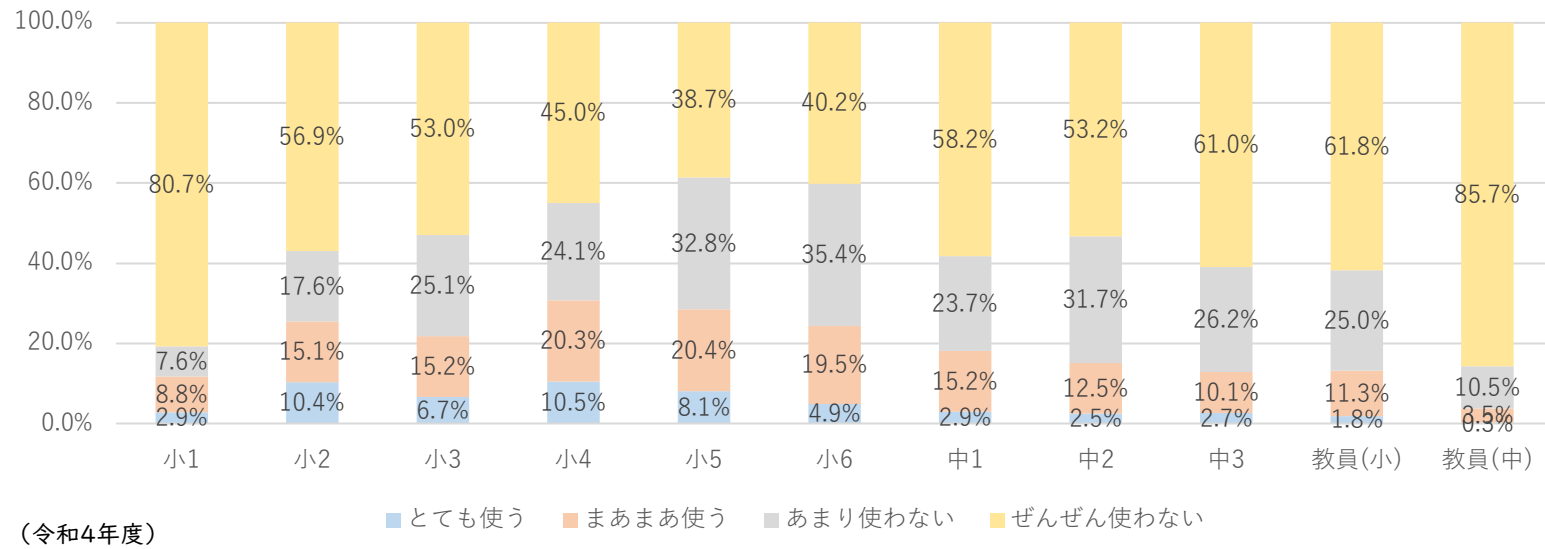
学習内容を自由なレイアウトで整理したり、発表用のスライドを作成するために使用する。
 小学校は、学年が上がるにつれて活用率が上がり、中学校も一定の活用がある傾向が出ている。



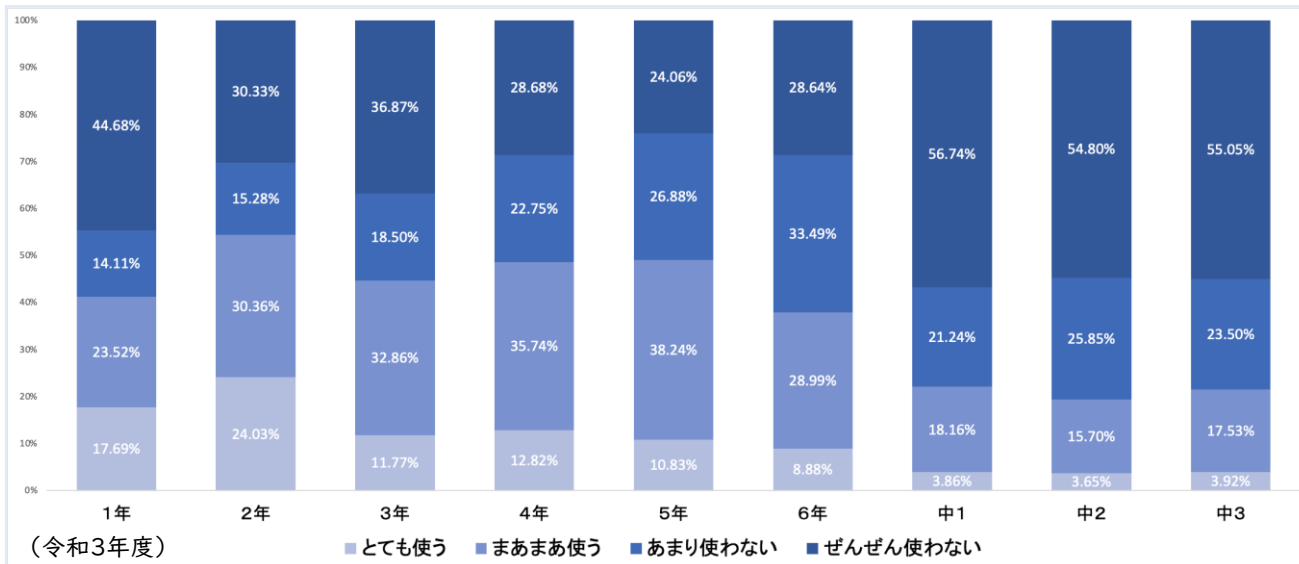
学校での活用について



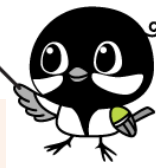
GarageBand (ガレージバンド) を使っていますか



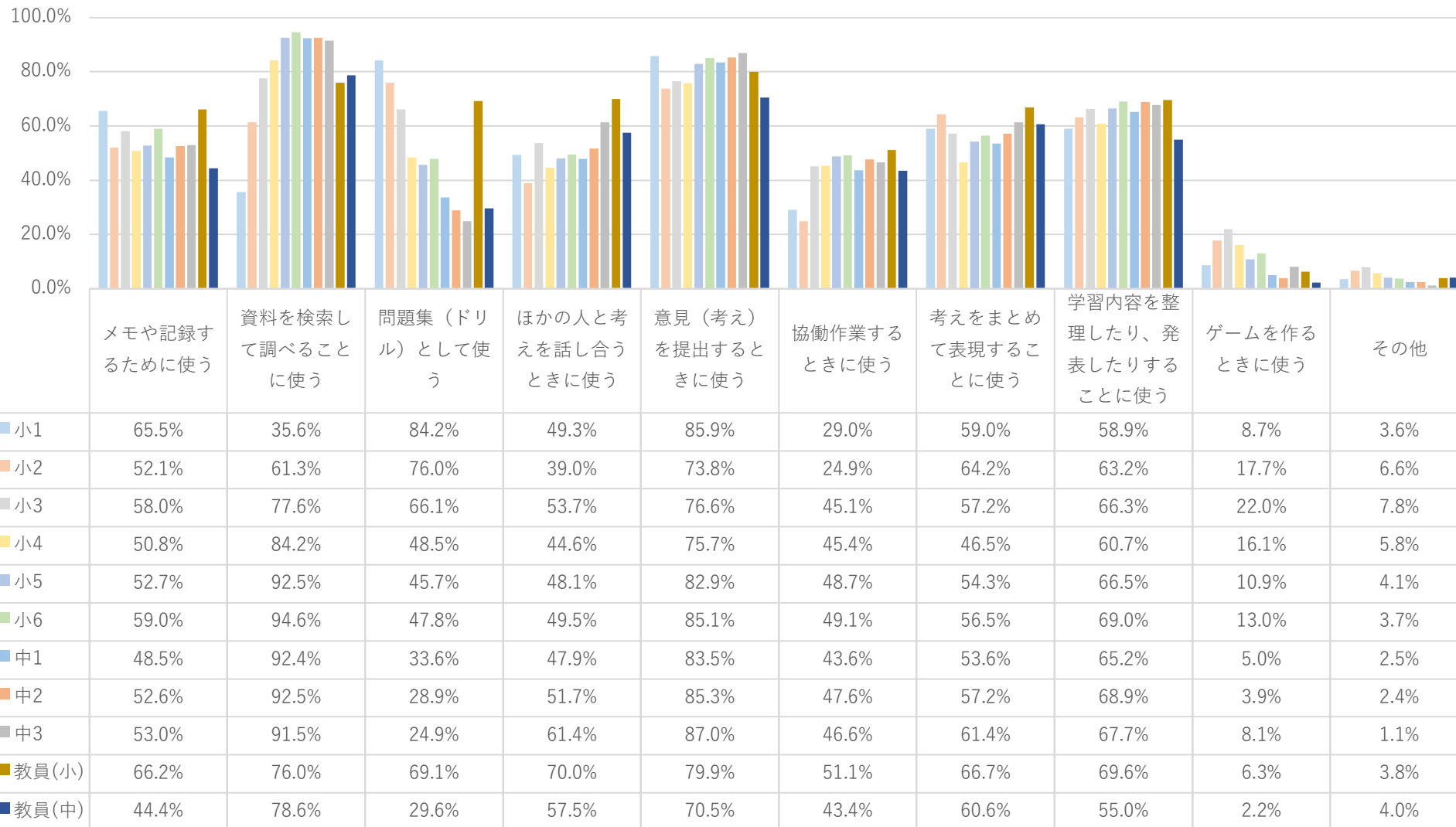
音楽制作ソフトウェアで、様々な音色でリズム、音程を設定して、作曲など学習に活用できる。各学年、一定の活用がある傾向が出ている。昨年度に比べて、活用率が下がっているが、コロナ禍の制限が緩和されて、合唱、合奏など様々な取り組みができるようになったためと考えられる。



学校での活用について



タブレット端末を授業のどのような場面で使っていますか

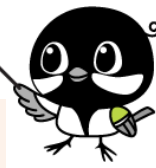


(令和4年度)

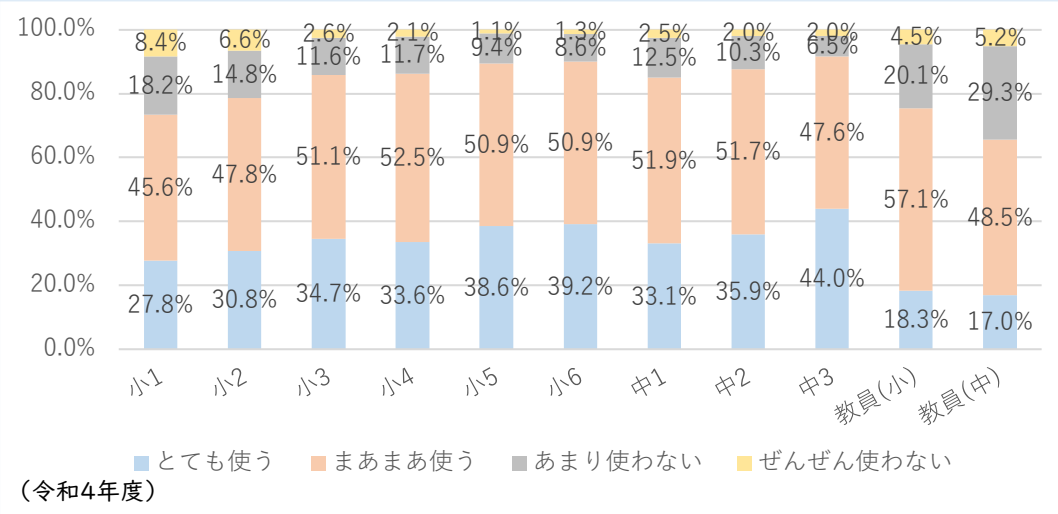
■小1 ■小2 ■小3 ■小4 ■小5 ■小6 ■中1 ■中2 ■中3 ■教員(小) ■教員(中)

「資料を検索して調べることに使う」ことや「意見（考え）を提出するときに使う」ことの活用率が高い。
 検索は操作も容易で、テキスト資料から読み取れないことを発展して確認できるため、活用率が高い。
 提出は、ロイロノートを活用することで容易かつ効率化できることから活用率が高い。

学校での活用について



授業の「自分の考えていることをまとめる」場面で、どの程度タブレットを使っていますか

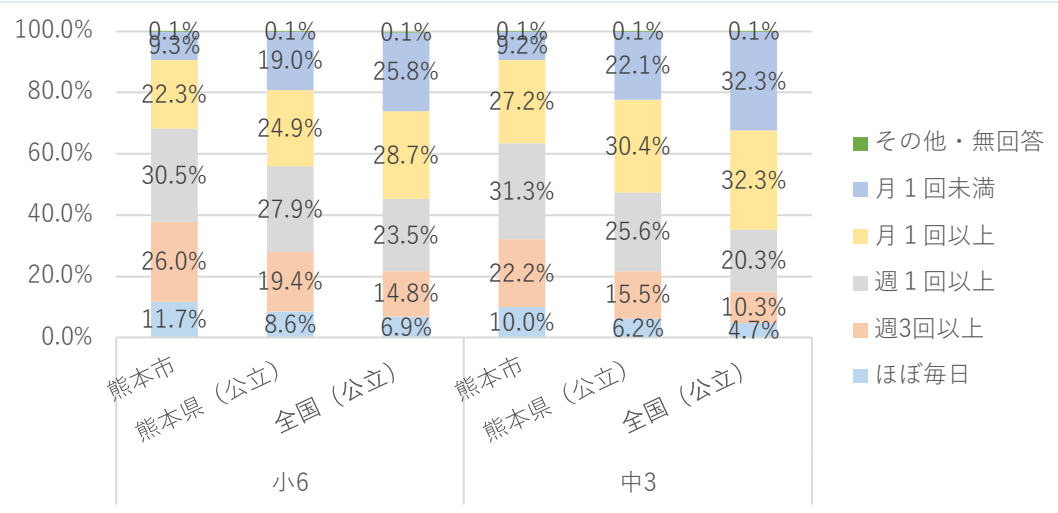


全学年とも活用率が高い傾向が出ている。参考に関学調査の結果と比較しても高い活用率を示している。全国学力調査の結果では、ICTと関連付けのない自分の考えをまとめる活動についてはおおむね全国平均と同じであるが、同じ場面でのICTの活用は全国平均より高く、ICTの活用への転化が進んでいるのではないかとと思われる。

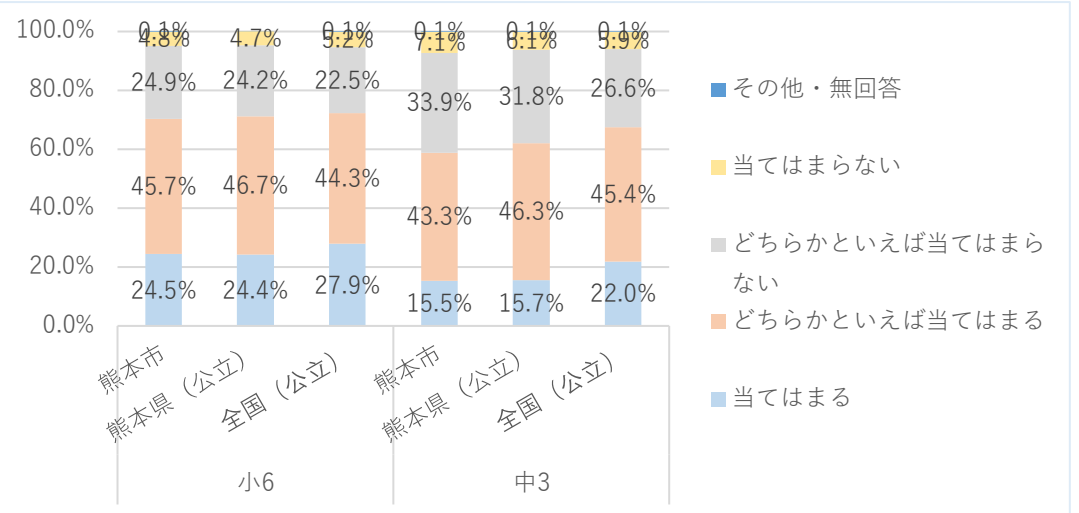
「自分の考えていることをまとめる」「自分の考えとほかの人の考えの意見交換を行い、自分の考えを深める」「自分の考えや学習内容を整理し、資料を作成して発表する」のそれぞれについて、総じて同じ傾向が出ている。

(参考) 全国学力調査より 関連する児童生徒向け質問の集計結果

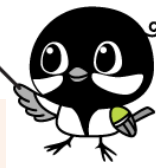
○学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか



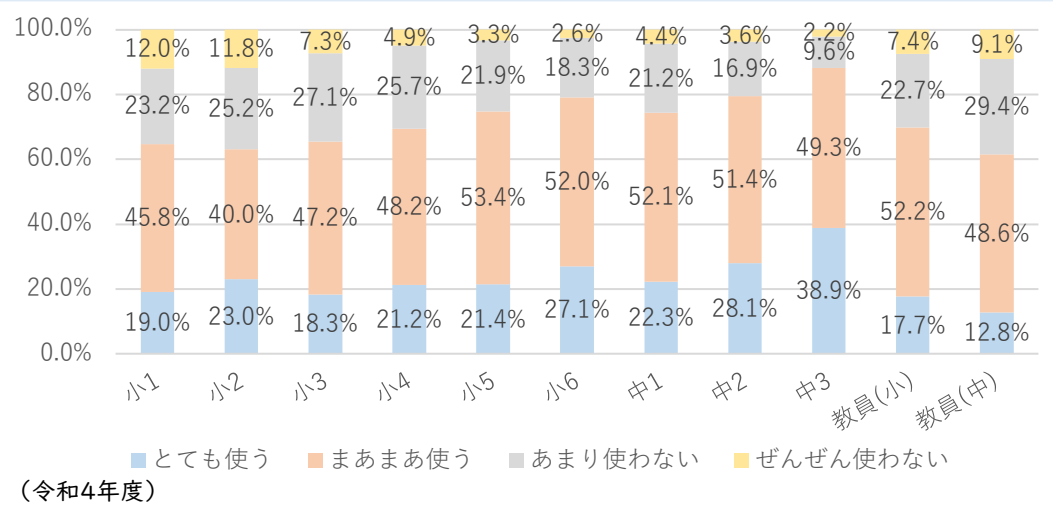
○各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか



学校での活用について



授業の「自分の考えとほかの人の考えの意見交換を行い、自分の考えを深める」場面で、どの程度タブレットを使っていますか

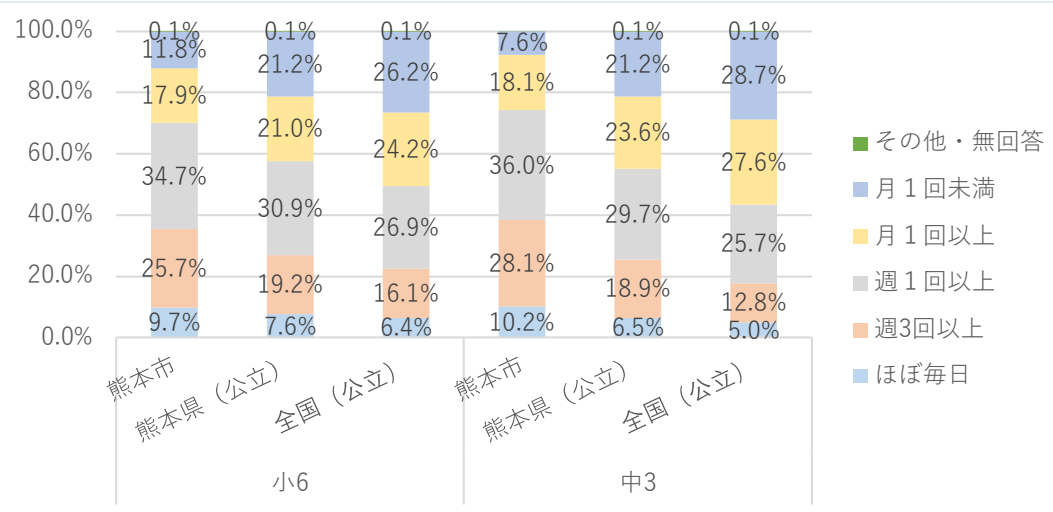


全学年とも活用率が高い傾向が出ている。参考に全国学力調査の結果と比較しても高い活用率を示している。全国学力調査の結果では、ICTと関連付けのない対話を通じて考えを深め、広げる活動についてはおおむね全国平均と同じであるが、同じ場面でのICTの活用は全国平均より高く、ICTの活用への転化が進んでいるのではないかとと思われる。

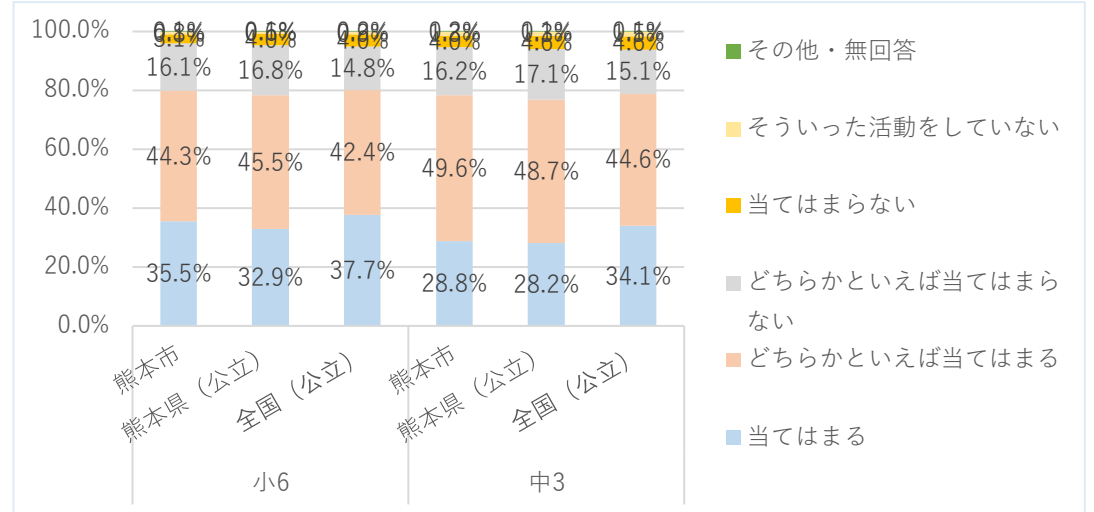
「自分の考えていることをまとめる」「自分の考えとほかの人の考えの意見交換を行い、自分の考えを深める」「自分の考えや学習内容を整理し、資料を作成して発表する」のそれぞれについて、総じて同じ傾向が出ている。

(参考) 全国学力調査より 関連する児童生徒向け質問の集計結果

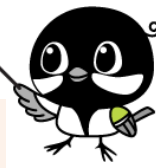
○学校で、学級の友達と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか



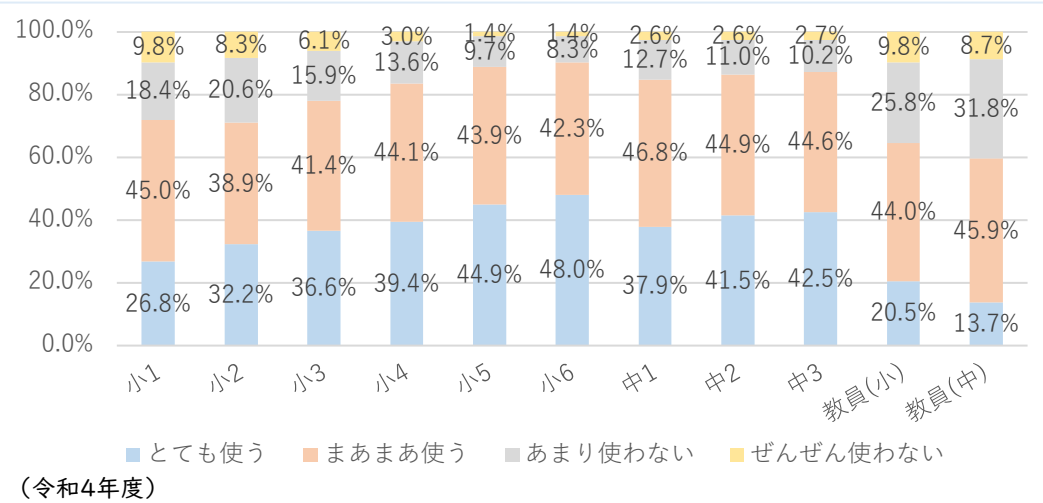
○学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか



学校での活用について



授業の「自分の考えや学習内容を整理し、資料を作成して発表する」場面で、どの程度タブレットを使っていますか

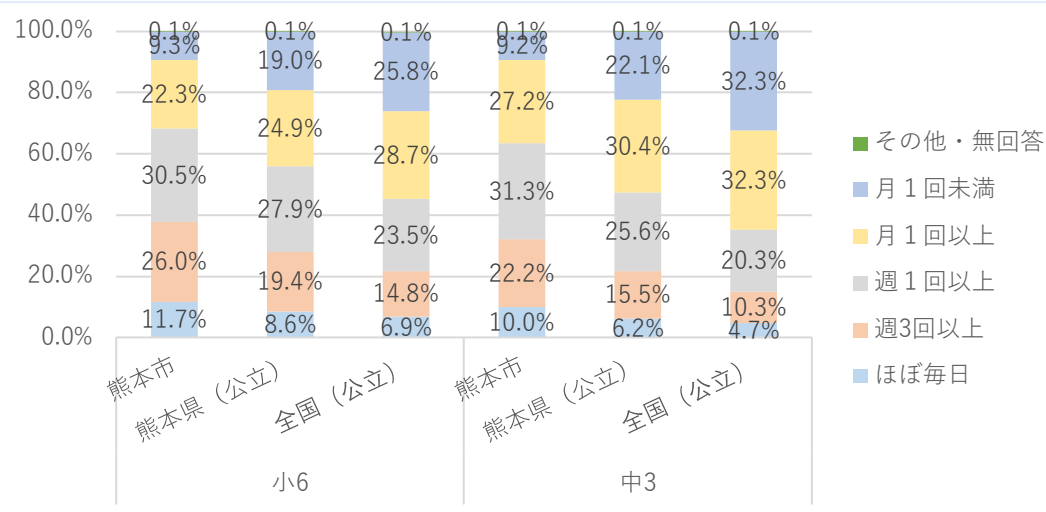


全学年とも活用率が高い傾向が出ている。参考に関学調査の結果と比較しても高い活用率を示している。全国学力調査の結果では、ICTと関連付けのない自分の考えをまとめて発表することについては、おおむね全国平均と同じであるが、同じ場面でのICTの活用は全国平均より高く、考えをまとめる場面でのICTの活用への転化が進んでいるのではないかとと思われる。

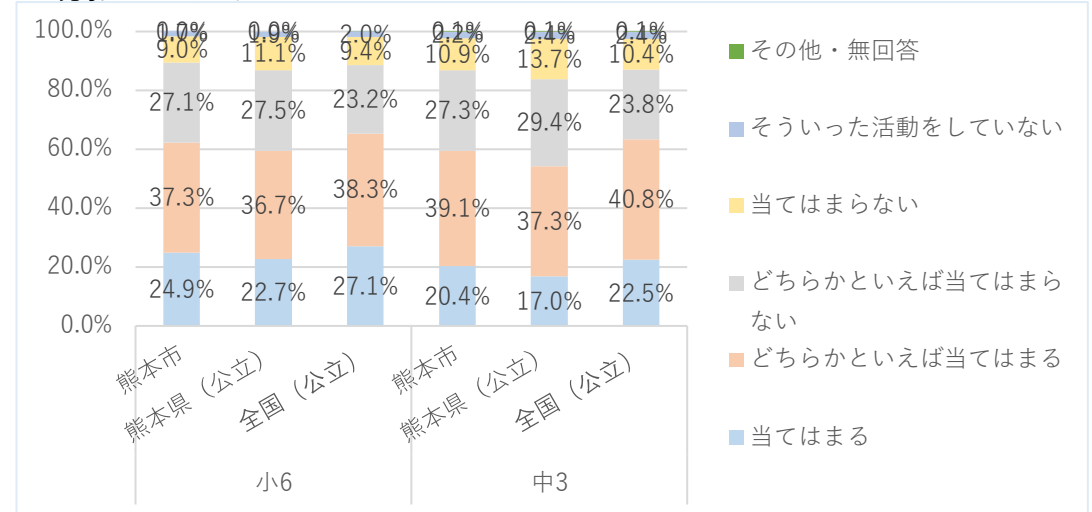
「自分の考えていることをまとめる」「自分の考えとほかの人の考えの意見交換を行い、自分の考えを深める」「自分の考えや学習内容を整理し、資料を作成して発表する」のそれぞれについて、総じて同じ傾向が出ている。

(参考) 全国学力調査より 関連する児童生徒向け質問の集計結果

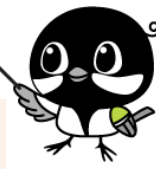
○学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか



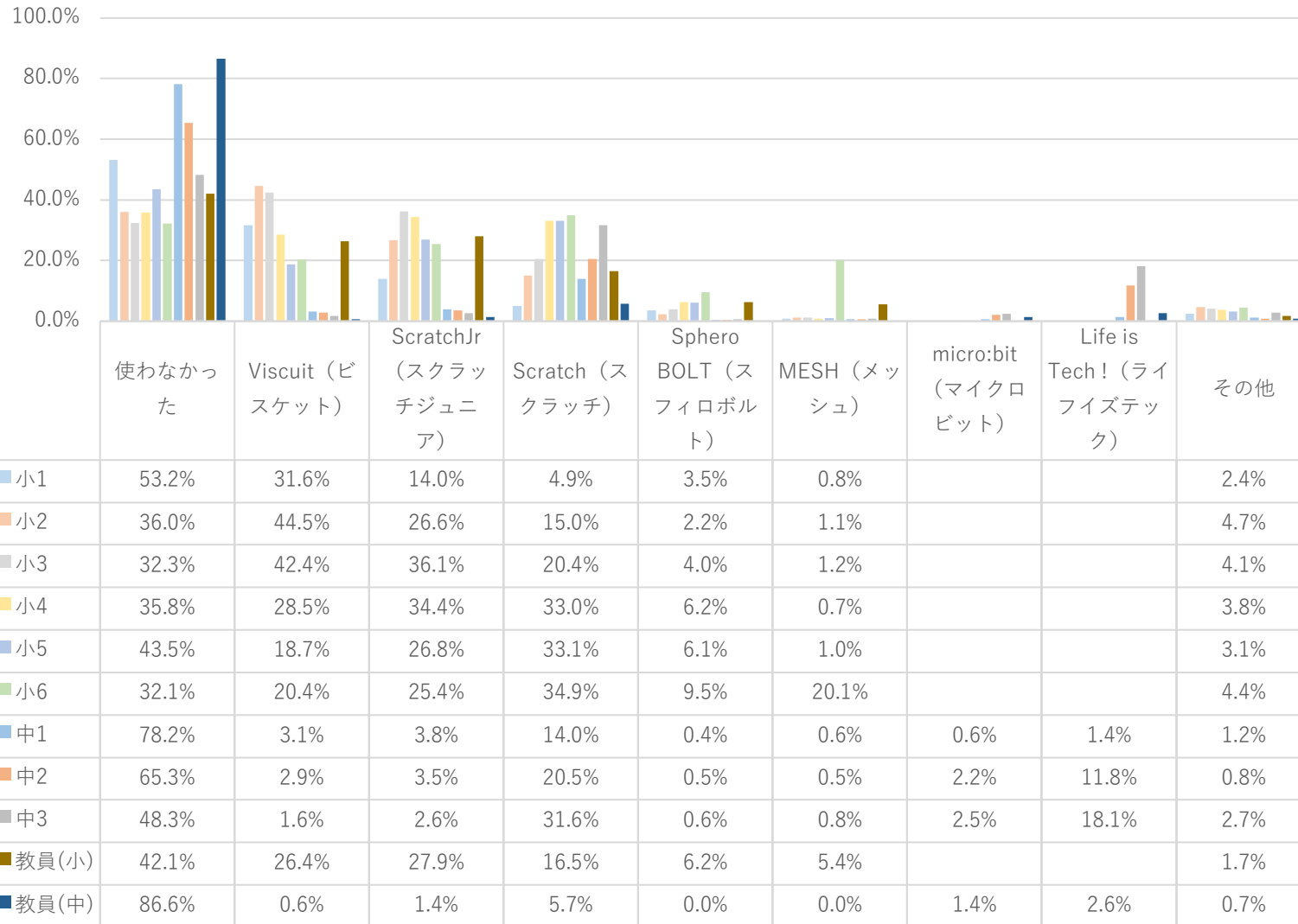
○自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか



学校での活用について



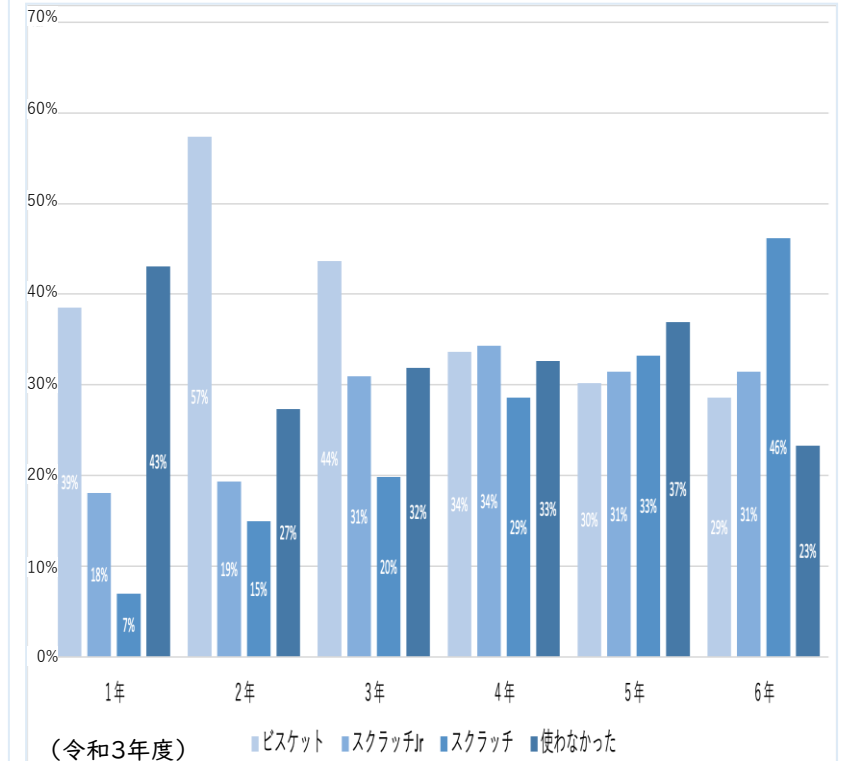
プログラミングのアプリなどを使用しましたか



(令和4年度)

■小1 ■小2 ■小3 ■小4 ■小5 ■小6 ■中1 ■中2 ■中3 ■教員(小) ■教員(中)

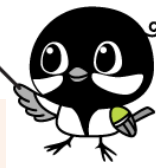
小学校低学年はViscuit、中学年はScratch Jr、高学年はScratchの活用率が高い。熊本市のモデルカリキュラムでそれぞれのアプリの利用が推奨されている効果と思われる。MESHは小学校6年理科の教材として使用することから、突出した結果となっている。Life is Tech!は指導を含めたパッケージになっており、活用率が高いと思われる。
※ micro:bit、Life is Tech!は、中学校で使用の想定のため、中学校のみ設問を設定。



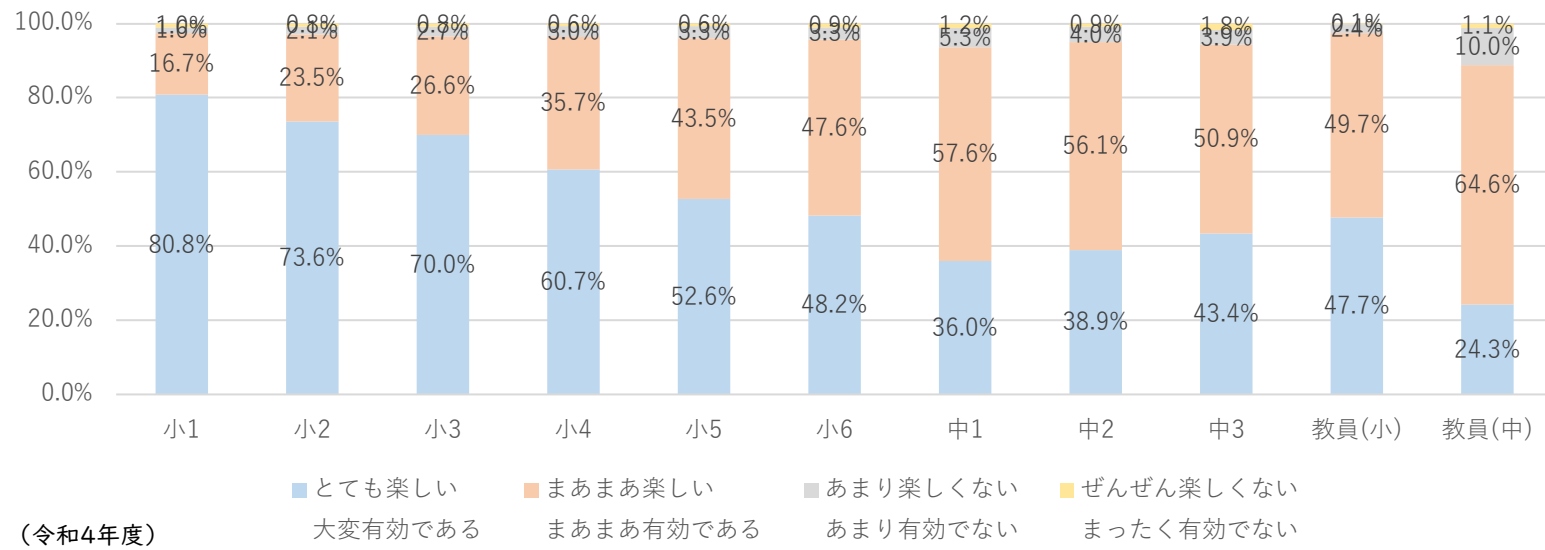
(令和3年度)

■ビスケット ■スクラッチJr ■スクラッチ ■使わなかった

学校での活用について

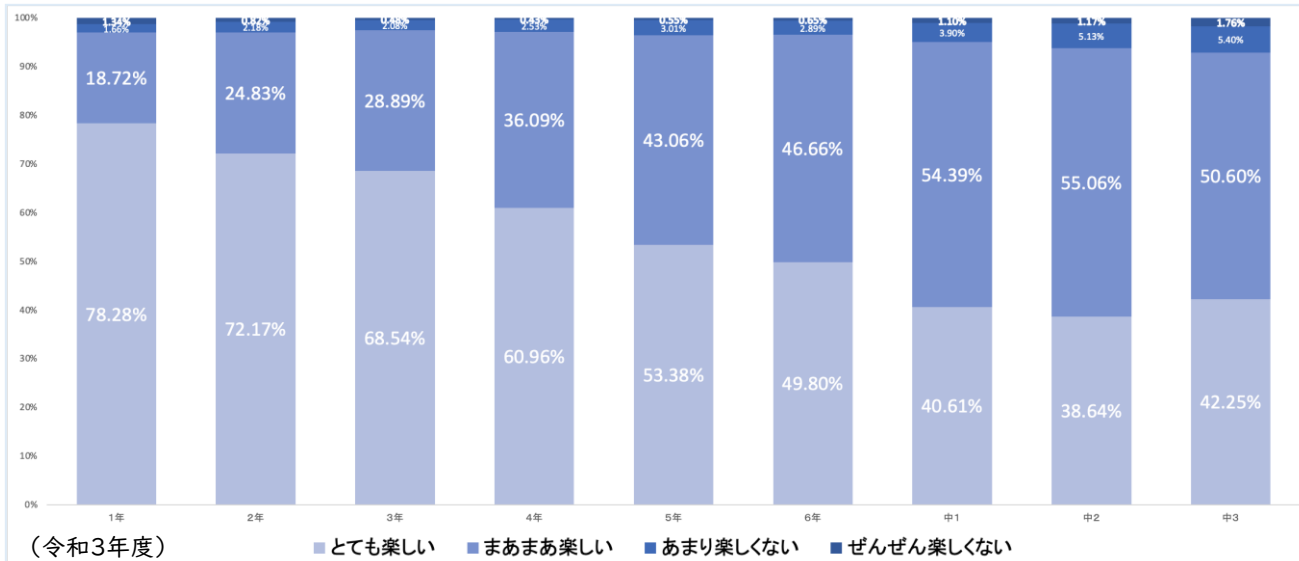


タブレットを使った学習は楽しいですか

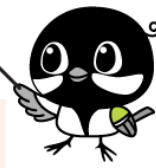


全般的に肯定的な意見が伺える。
児童生徒が学習に向かう動機としての効果も期待できると思われる。

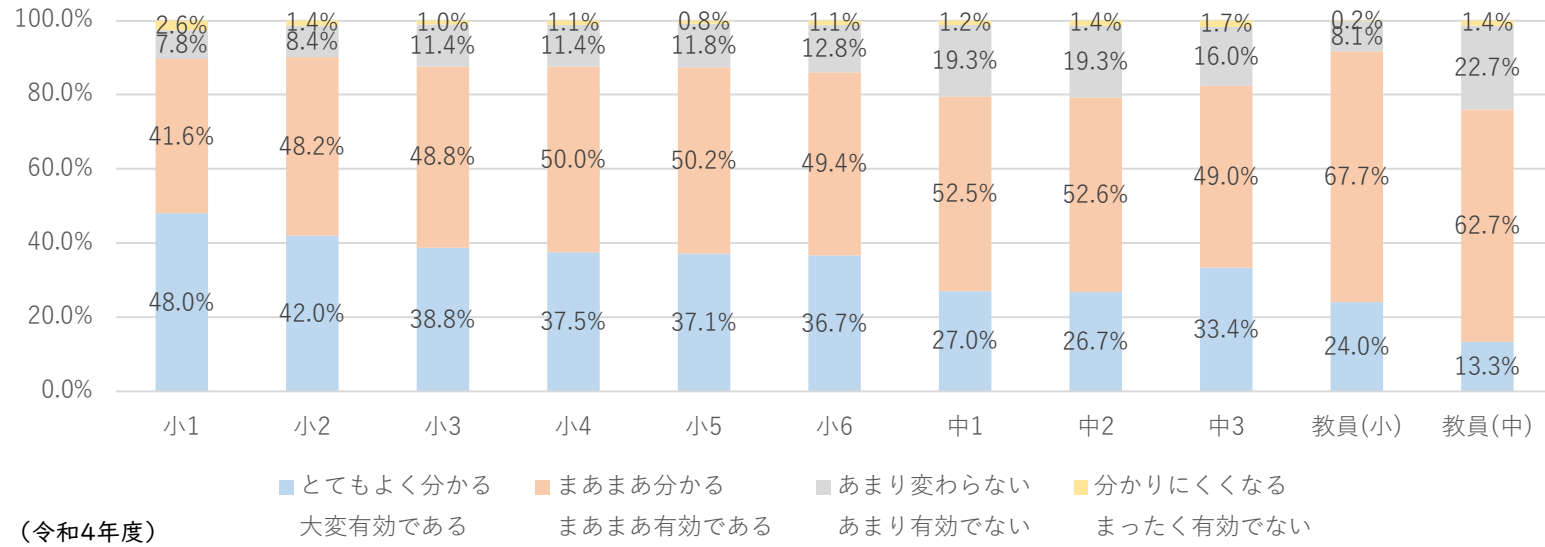
※教員には児童生徒の学習意欲が高まる効果があると思うかと質問しています。



学校での活用について

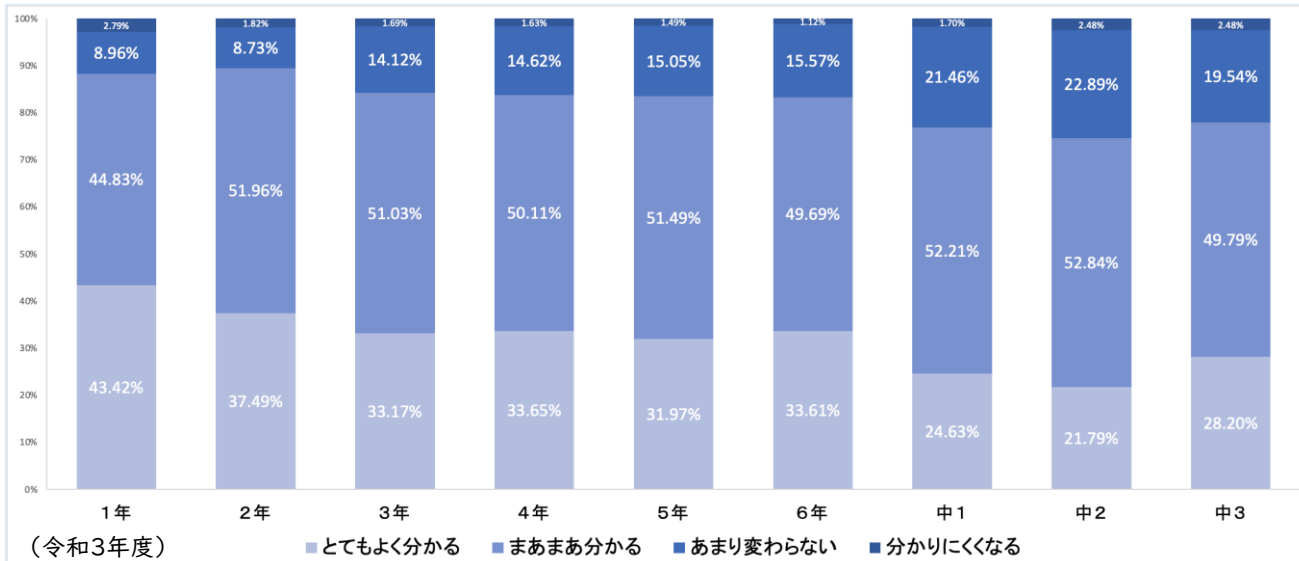


タブレットを使うと使わない時より学習内容がよく分かりますか

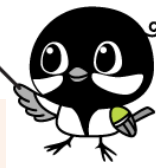


全般的に肯定的な意見が伺える。学習意欲が高まる効果が高まることへも肯定的な意見が出ているが、そのことが理解度にもつながると思われる。

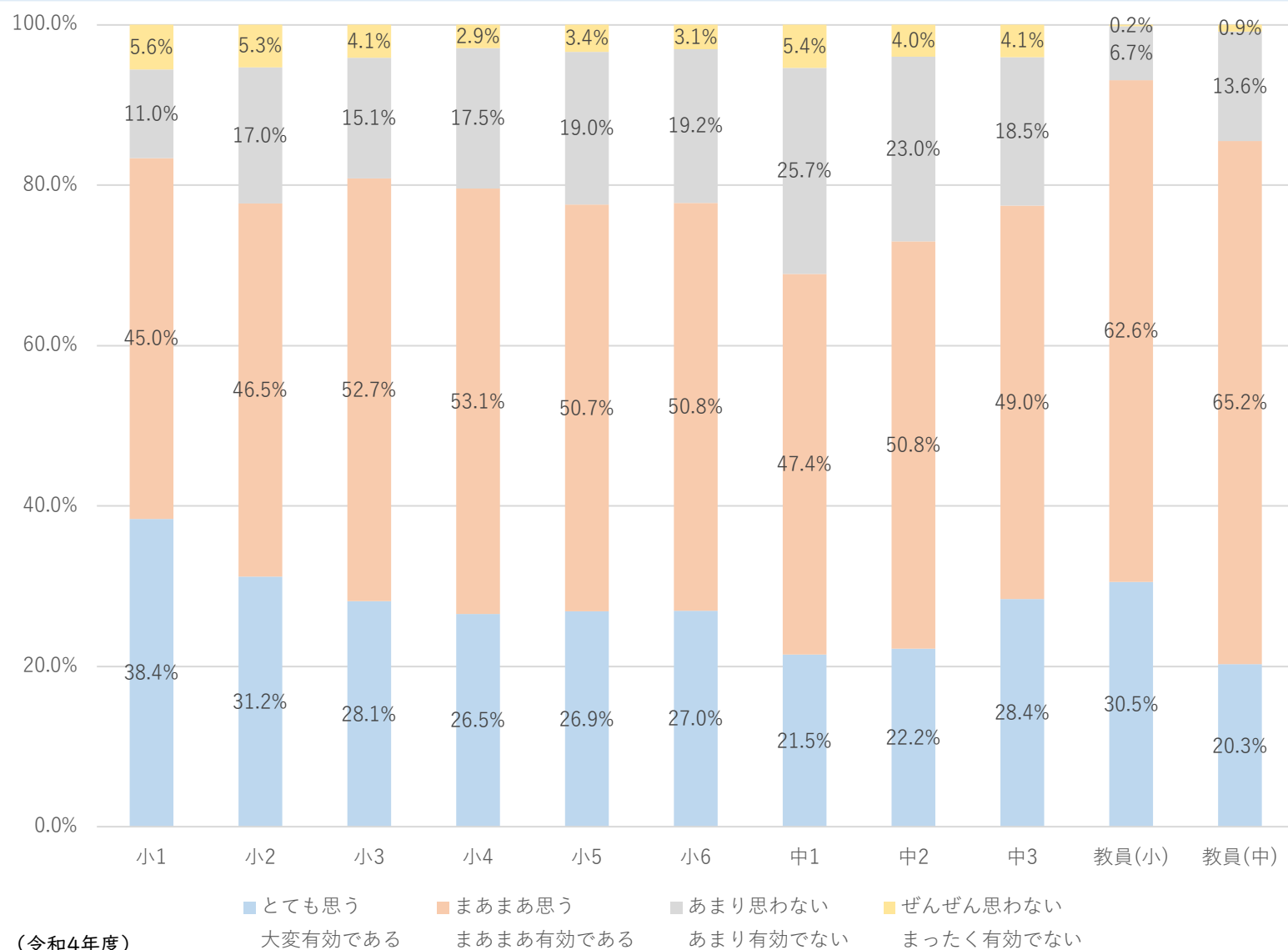
※教員には児童生徒の学習の理解度が高まる効果があると思うかと質問しています。



学校での活用について



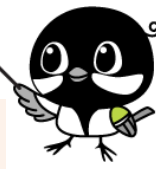
タブレットを使うと使わない時に比べて、考えをまとめて話し合ったり、発表することに自信が持てるようになりましたか



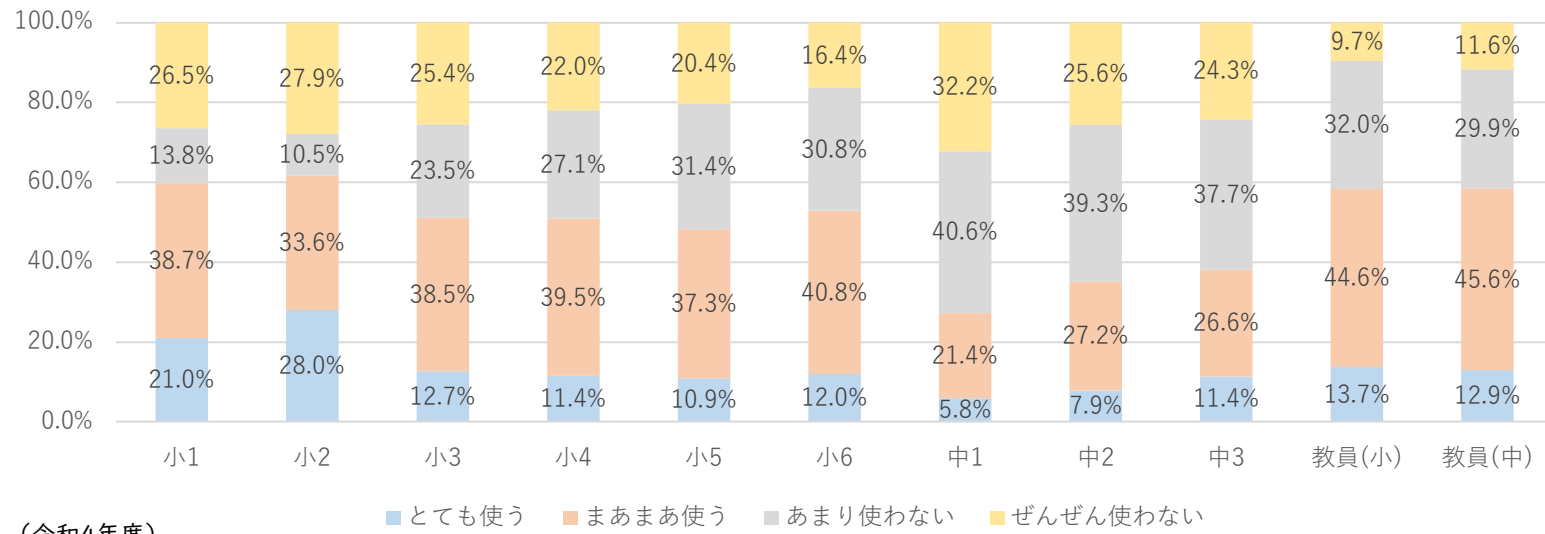
全般的に肯定的な意見が伺える。タブレットを使うことで、自信の考えの表現が容易になり、対話や発表の心理的な負担が下がり、自己肯定感があがる効果が期待できるのではないかとと思われる。

※教員には、自信が持てるようになる効果があると思うかと質問しています。

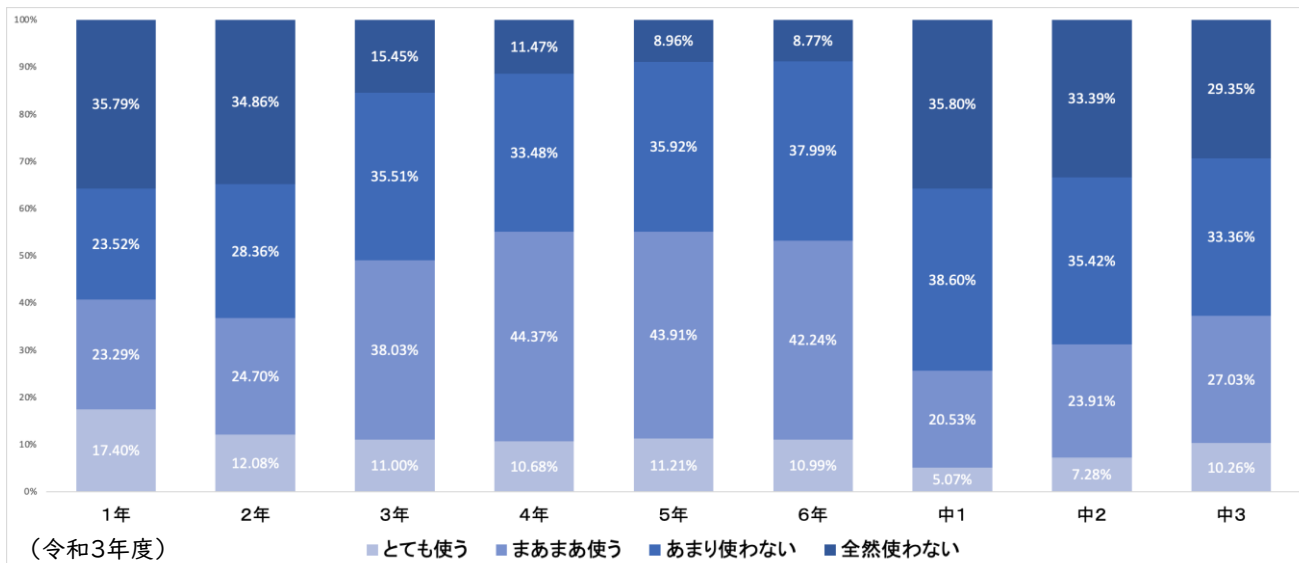
学校での活用について



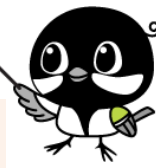
授業以外（休み時間や放課後など）も使いますか



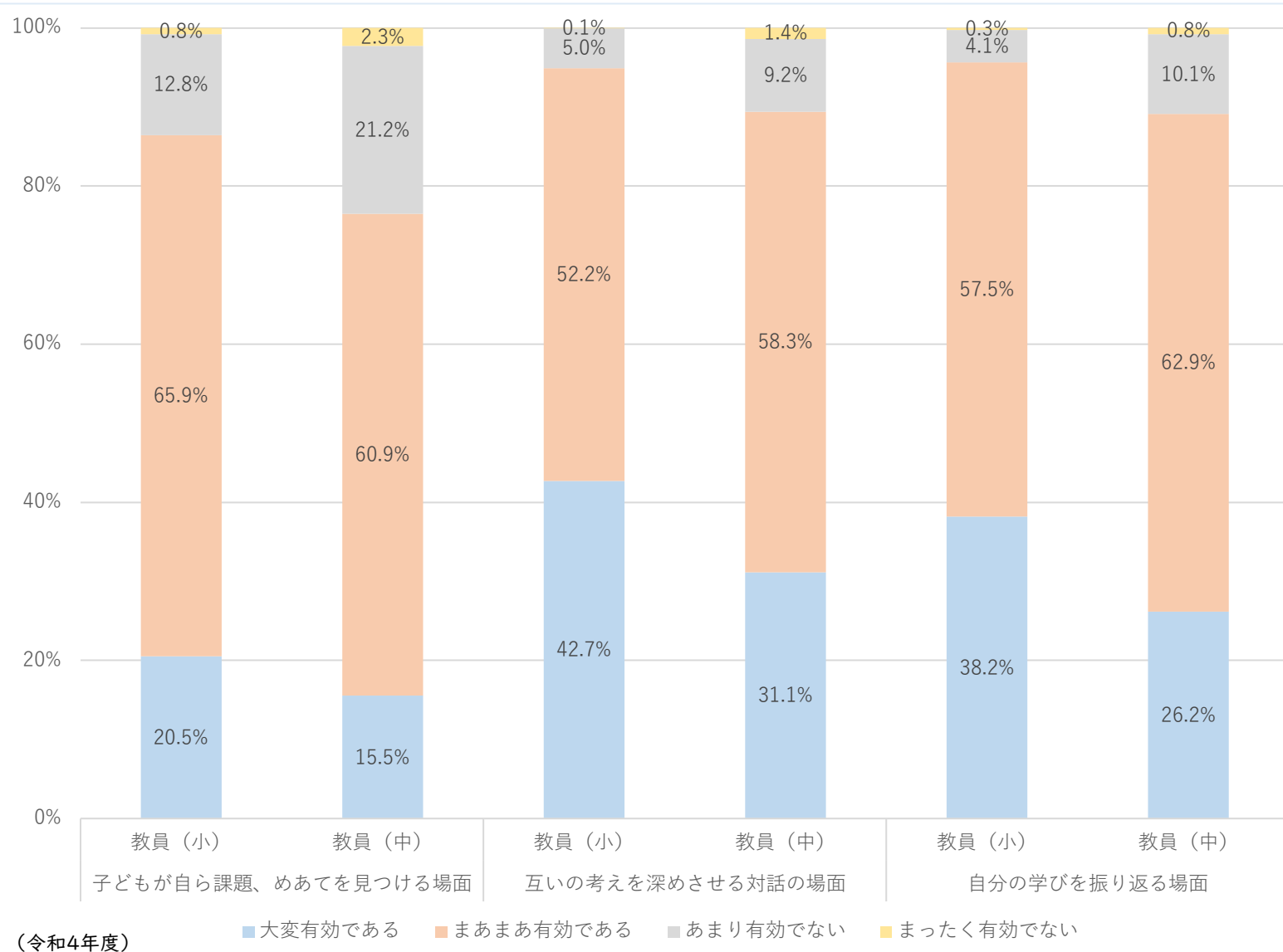
小学校低学年のほうが、中高学年、中学校より活用率が高く、昨年度の傾向と逆転している。体を動かすことや自然に触れる、紙の書籍に触れる活動など、バランスを意識する必要があるかもしれない。



学校での活用について



教師主導の「教わる」から子どもが主役の「学びとる」授業を行う際に、次の場面でタブレット端末はどのくらい有効だと感じますか



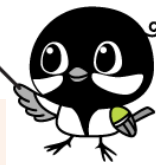
「めあて」「対話」「振り返り」のそれぞれについて、それぞれ肯定的な意見が伺える。
 「めあて」の部分がほかに比べて若干低い。「対話」、「振り返り」に比較して、大枠のテーマから疑問などを通じて課題やめあてを設定していく方法として、クラスで話し合いながら板書するなど、様々なスタイルがあることが一因かと思われる。対話や振り返りは、図示など相互理解や考えの整理に効果があるという認識によるものと思われる。

家庭での活用について

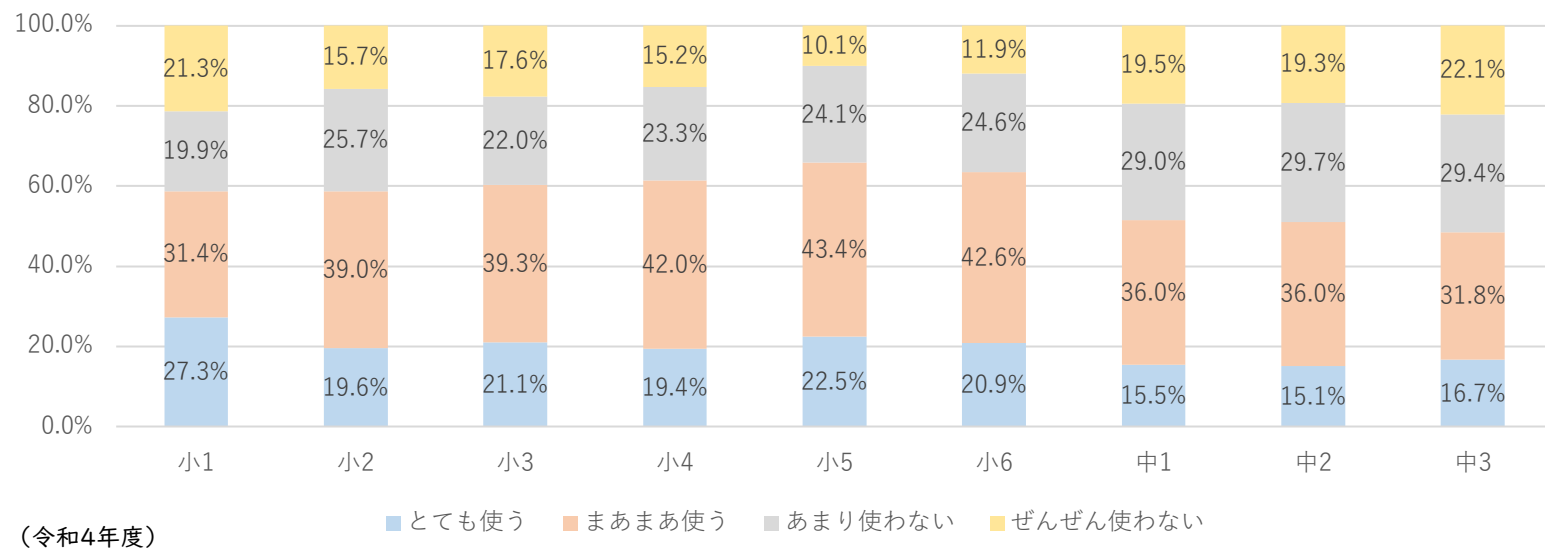
家庭でどのような活用を行っているかについて、確認しています。

- ※ 教員の回答は「児童生徒が活用していると思うか」という設問の回答になります。
- ※ 昨年度版の公開データがあるものは下段にそのグラフを表示しています。

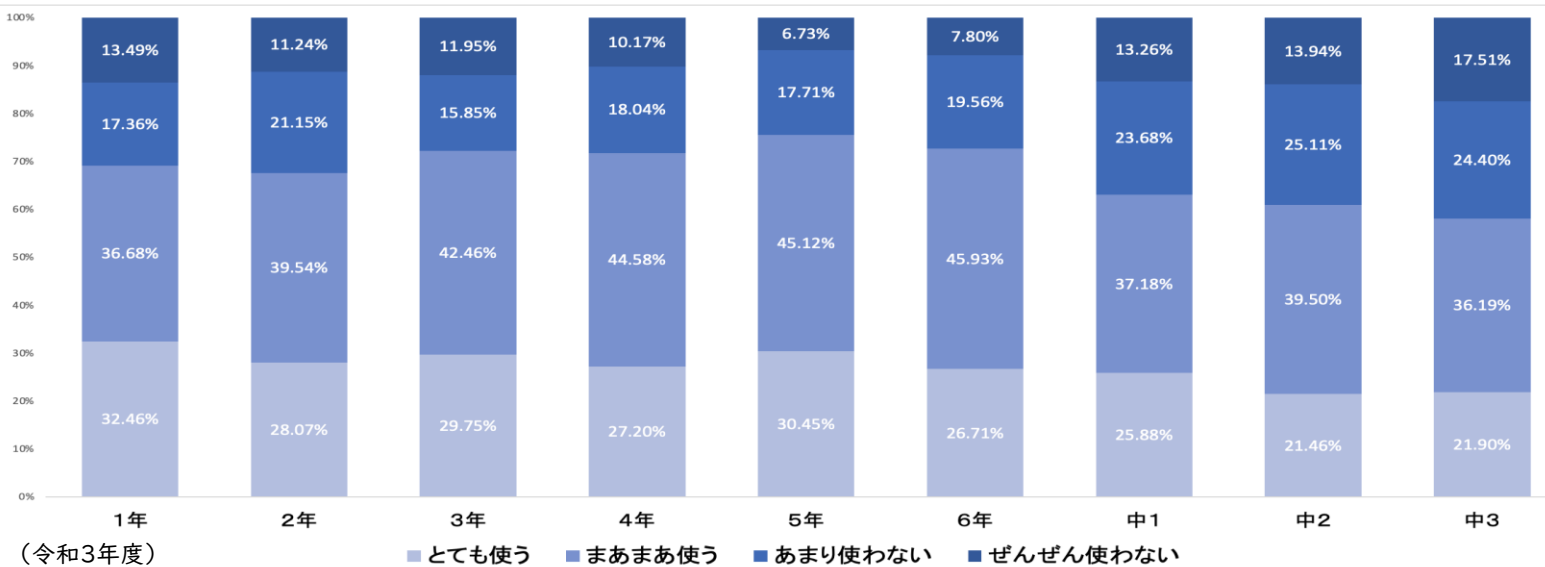
家庭での活用について



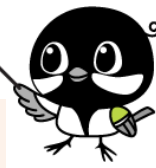
家庭でタブレットを学習用として使っていますか



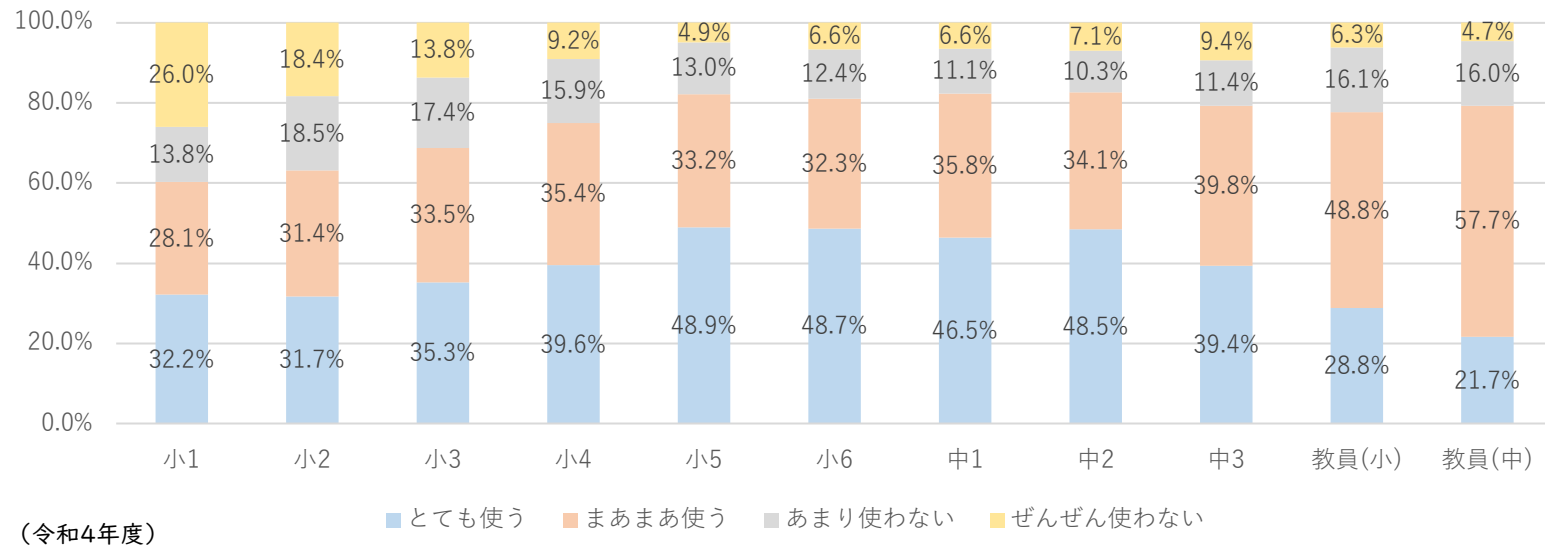
前年度と比較して、傾向に大きな変化は見られないが、全体的に「とても使う」「まあまあ使う」とした児童生徒は増えている。音読カードや宿題等での活用や、探究活動としての情報収集等で使用することが増えてきているのではないかと考えられる。



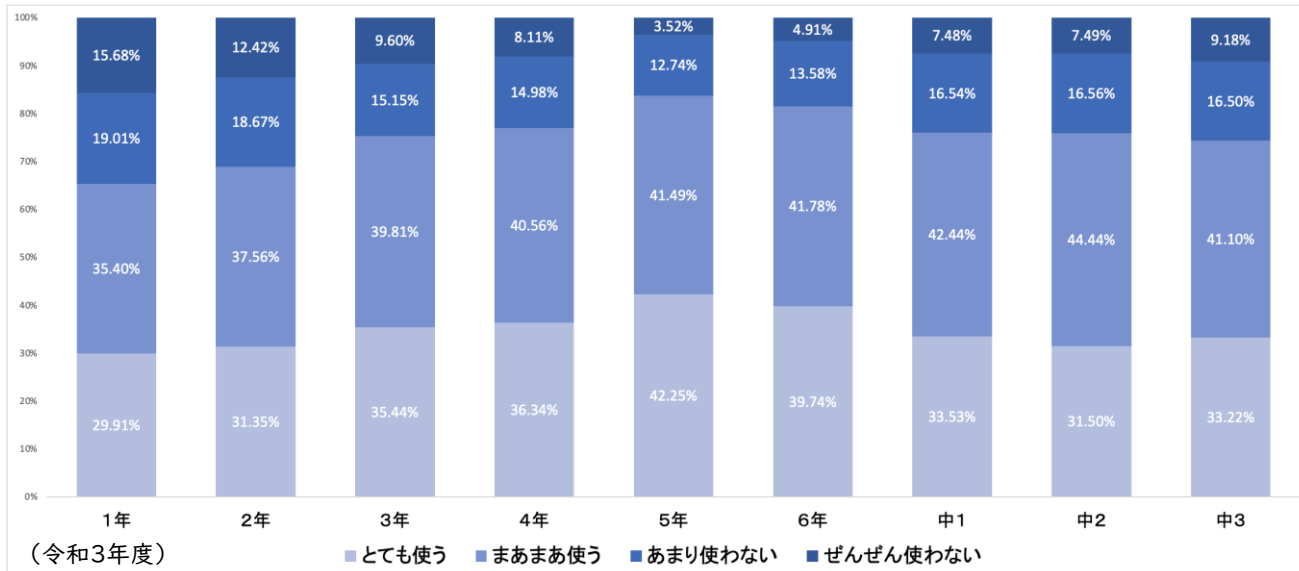
家庭での活用について



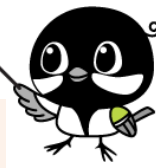
学校で出された宿題や課題に使っていますか



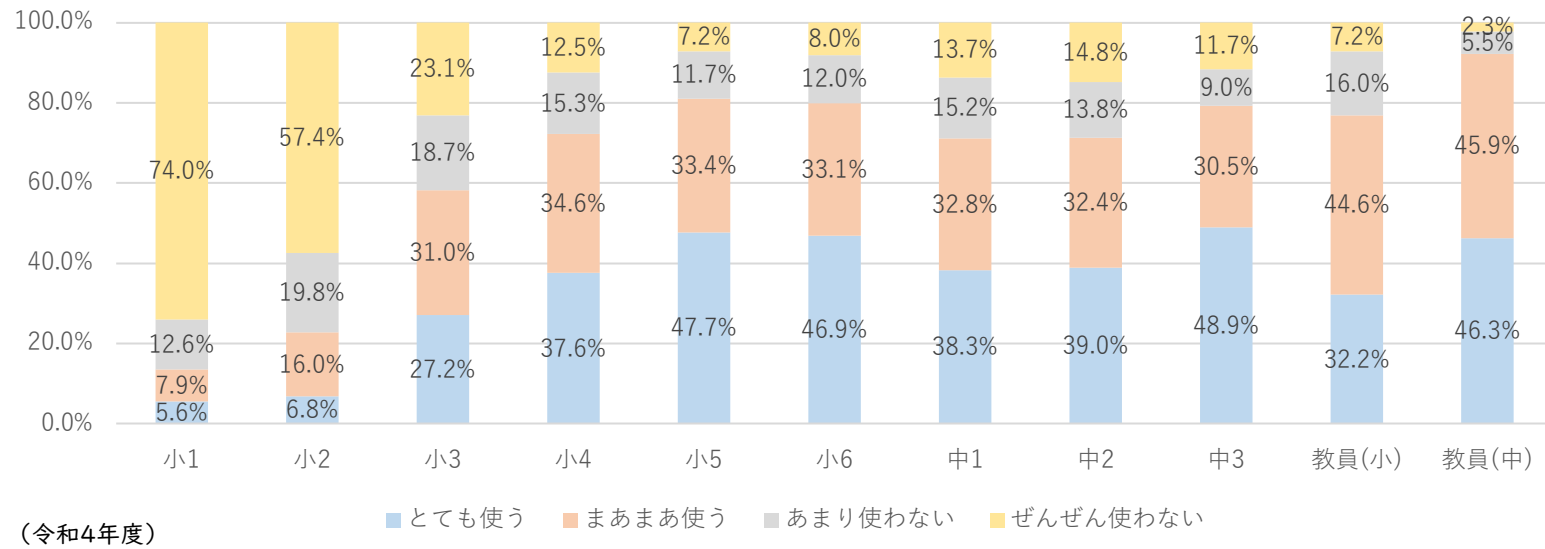
前年度と比較して、傾向に大きな変化は見られない。
宿題や課題に使用している教員の割合と比較して、児童生徒の使用率が高い。これは、課題解決のための学習として、紙媒体での宿題や課題にもタブレット端末を活用していることが考えられる。



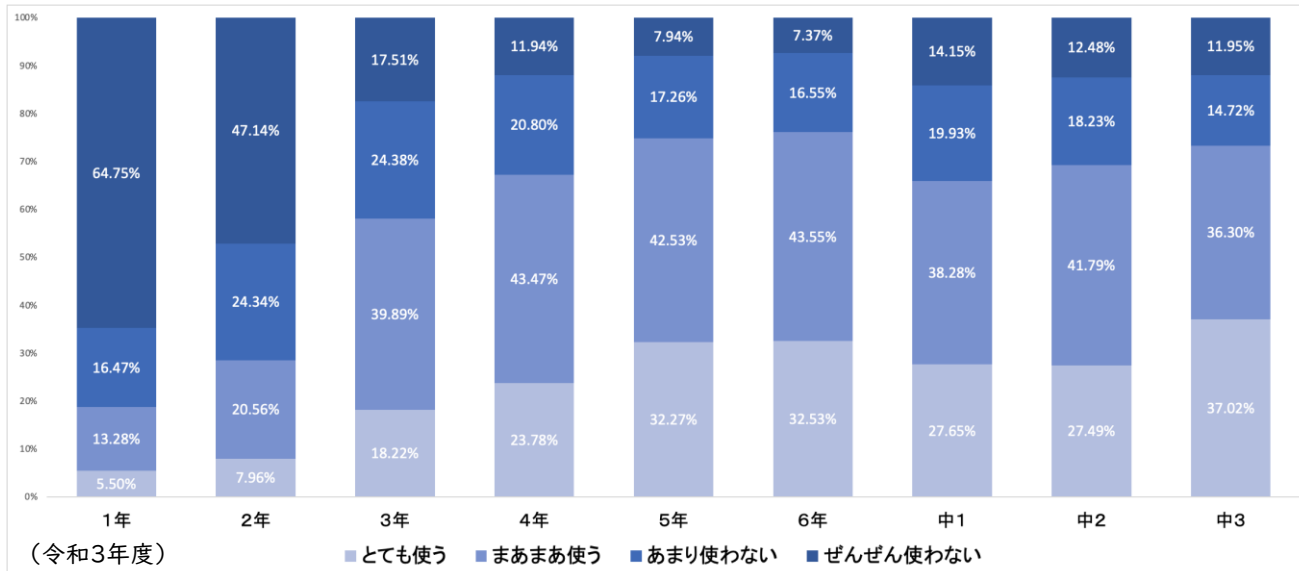
家庭での活用について



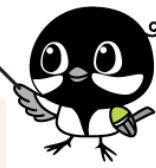
インターネットで調べることに使っていますか



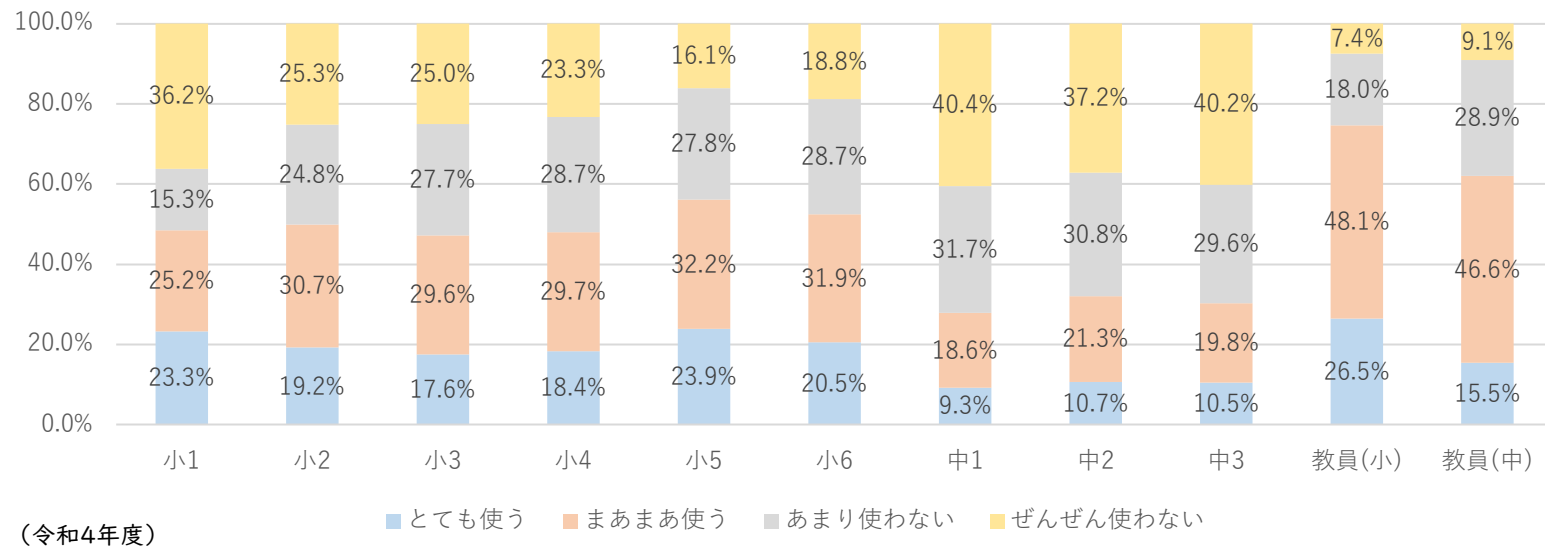
前年度と比較して、小学校3年生以上で「とても使う」と回答した児童生徒が増加している。3年生以上で活用が広がっているのは、総合的な学習の時間において、探究的な学習にインターネットで調べる活動が多くなっていることが考えられる。



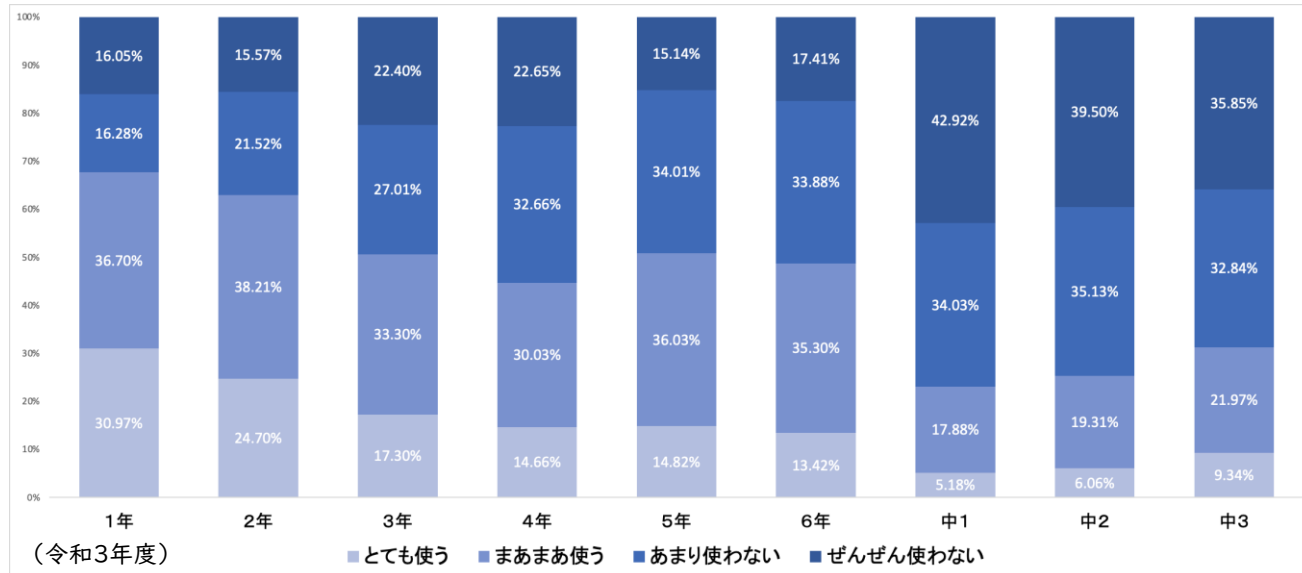
家庭での活用について



撮影・録音など記録することに使っていますか



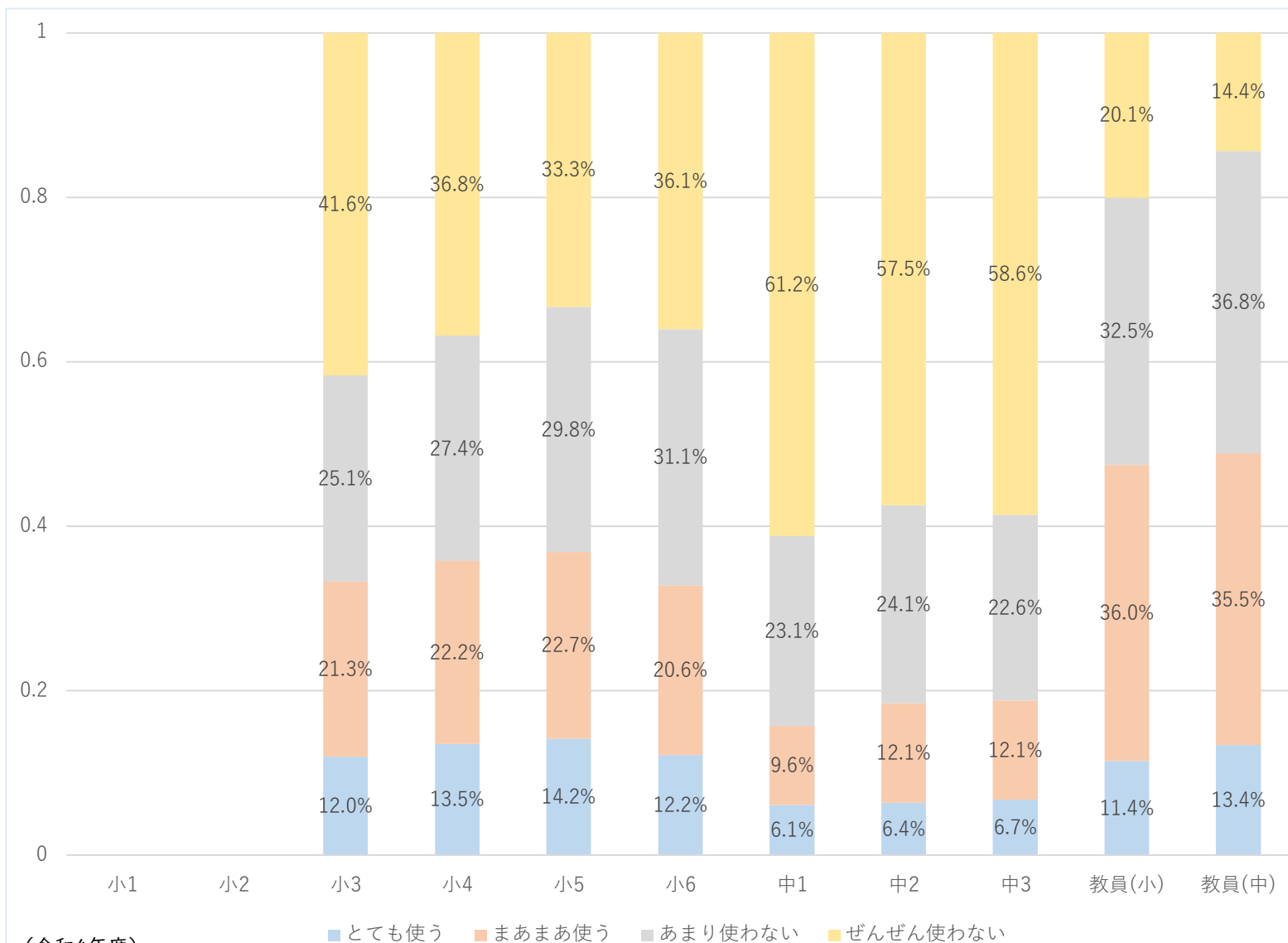
全体的に家庭で撮影・録音など記録することに使っている割合に大きな変化は見られないが、高学年での活用は増加傾向にあることから、授業の中で自分を表現する課題を出していると考えられる。
 児童生徒と教員に大きな差が出たのは、授業や課題としては出しているが、児童生徒の情報活用能力が向上して、学校にいる時間に出来上がっていることも考えられる。



家庭での活用について



絵や動画や音楽などを作ることに使っていますか



(令和4年度)

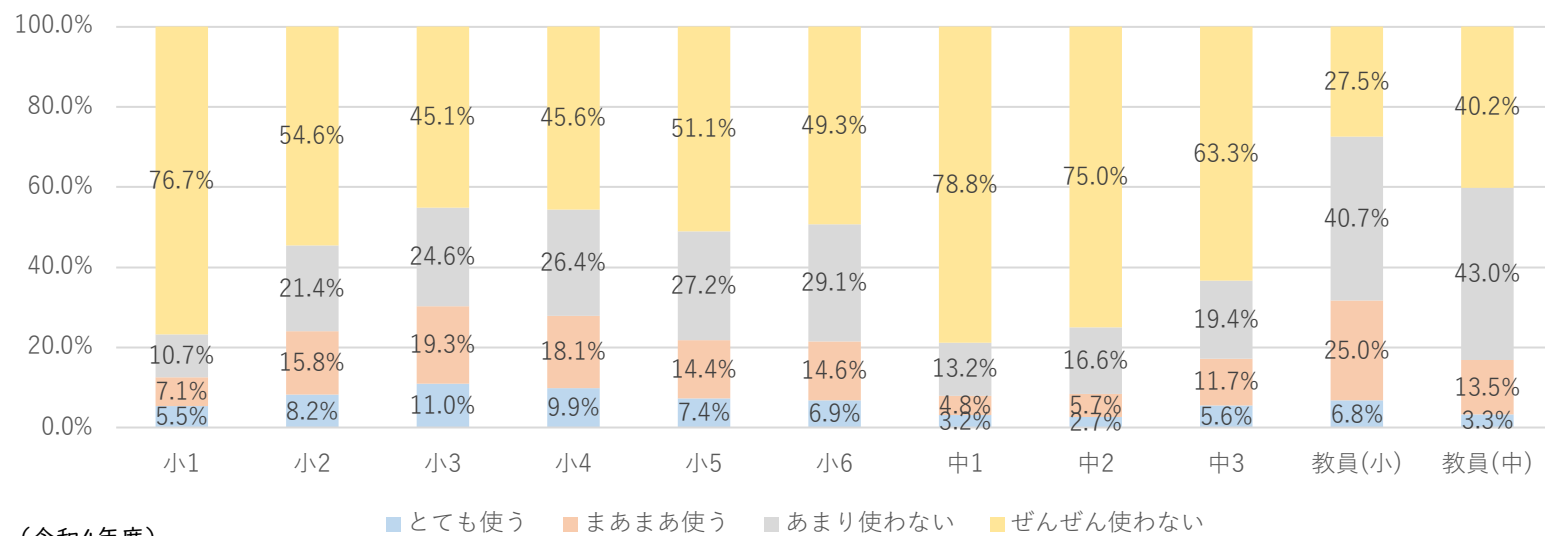
小学校の活用は、児童と教員の意識の差はあまりなく、家庭でも絵や動画や音楽などの創作活動を家庭学習の課題を出していると考えられる。
中学校の活用は、生徒と教員の意識の差が大きく、教員としては創作活動に使用していると思っても、実際は家庭で創作活動をしている生徒は少ないと考えられる。

※ 小学校低学年は設問を設定しておらず、データを取得していない。

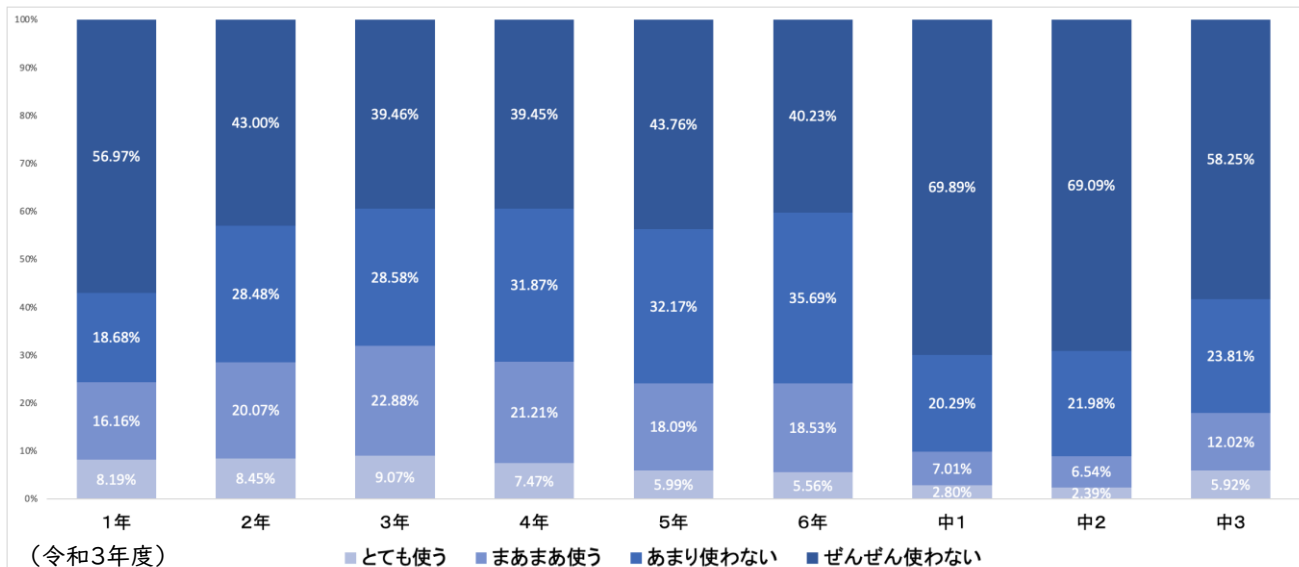
家庭での活用について



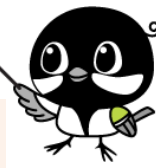
プログラミングに使っていますか



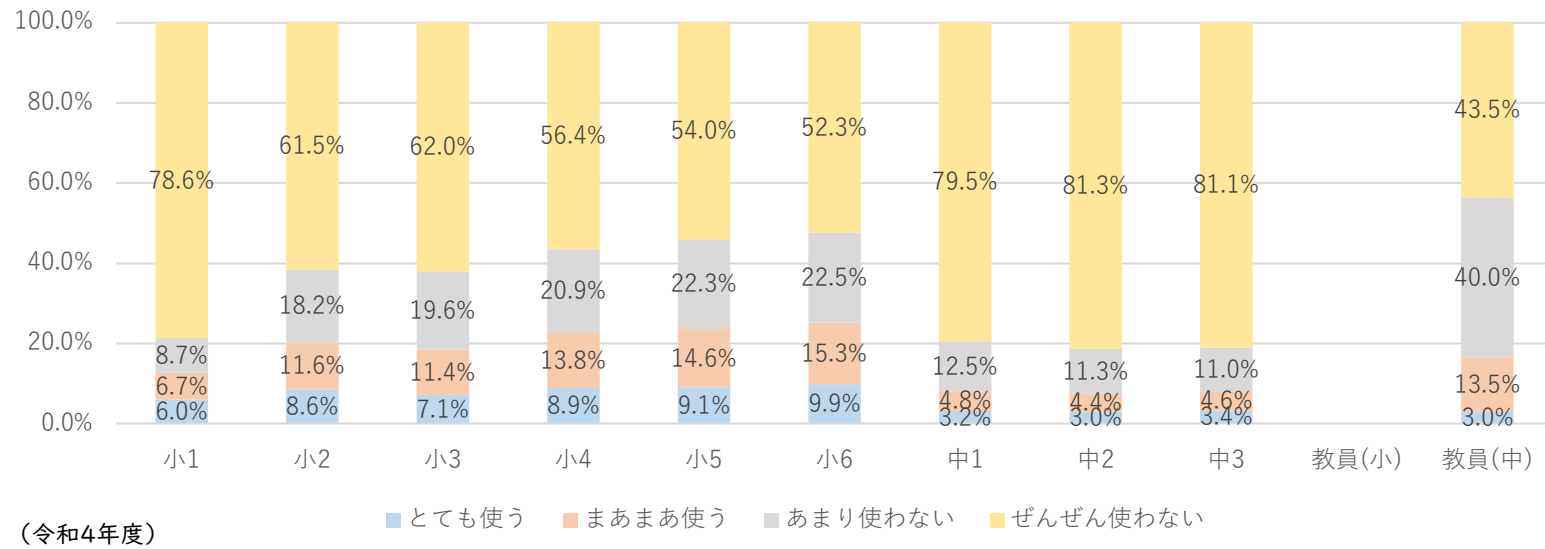
全体的に家庭でのプログラミングの活用状況に大きな変化は見られない。
 しかし、scratchやビスケットを活用していても、図工などでの活用をしていれば、それが「プログラミングである」という認識がなく、全体的に、使っている割合が低くなっているとも考えられる。



家庭での活用について

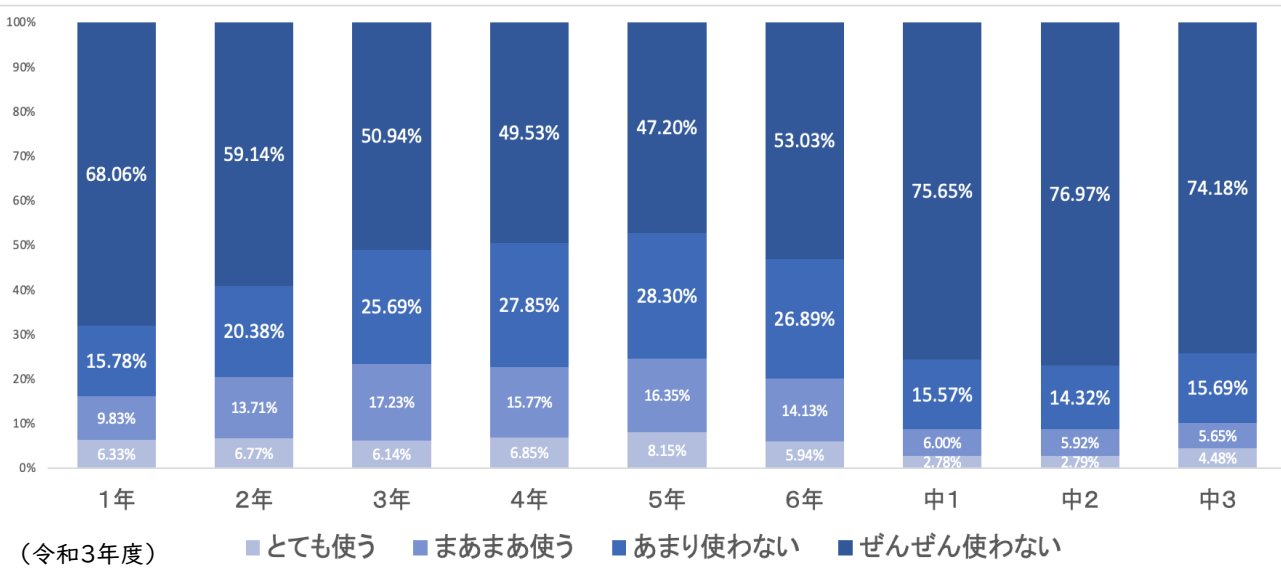


電子書籍を読むために使っていますか



昨年度と比べて、小学校も中学校も大きな変化は見られない。「まあまあ使う」は減少している学年が多いが、「とても使う」の割合が増えている。電子図書館の認知は進んでいると思うが、今年度に入り、図書室の活用が徐々に戻りつつあるため、紙での本を読む機会も増えているため、電子書籍活用の大きな増加は見られなかったのではないかと考えられる。

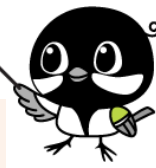
※ 小学校教員に関しては設問の設定もれがありデータが取得できていなかった。



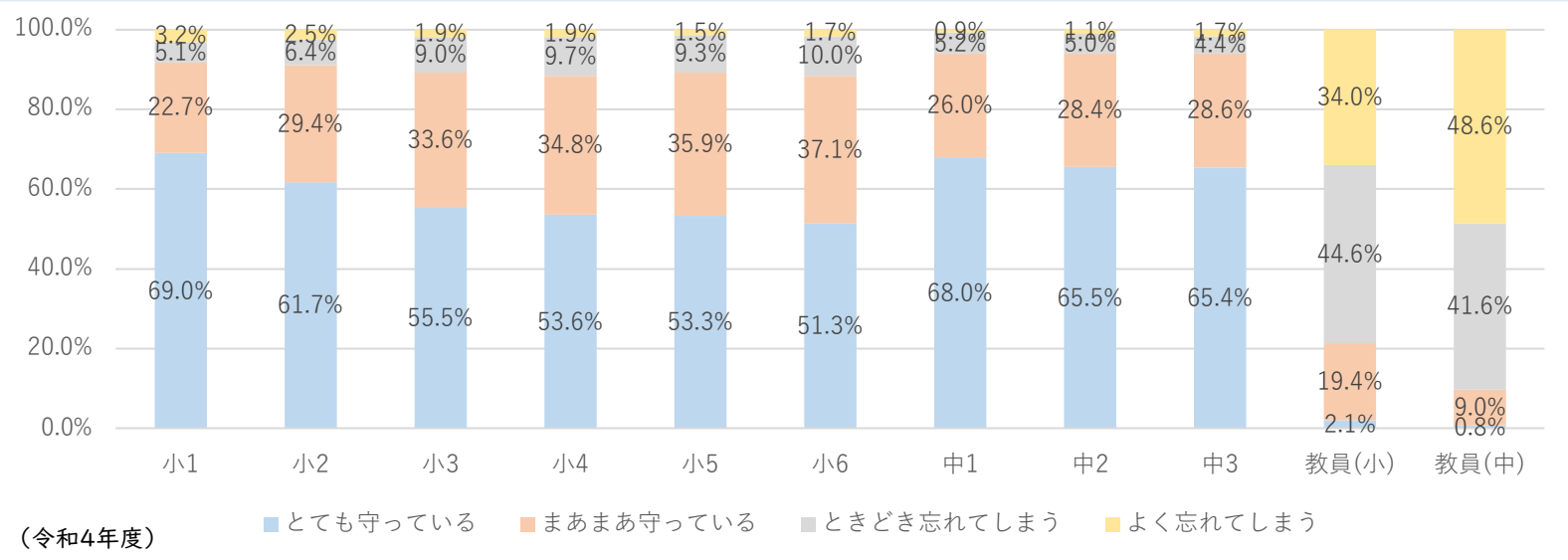
ルールやマナーについて

活用において、様々な場面でルールやマナーが守れているかについて確認しています。

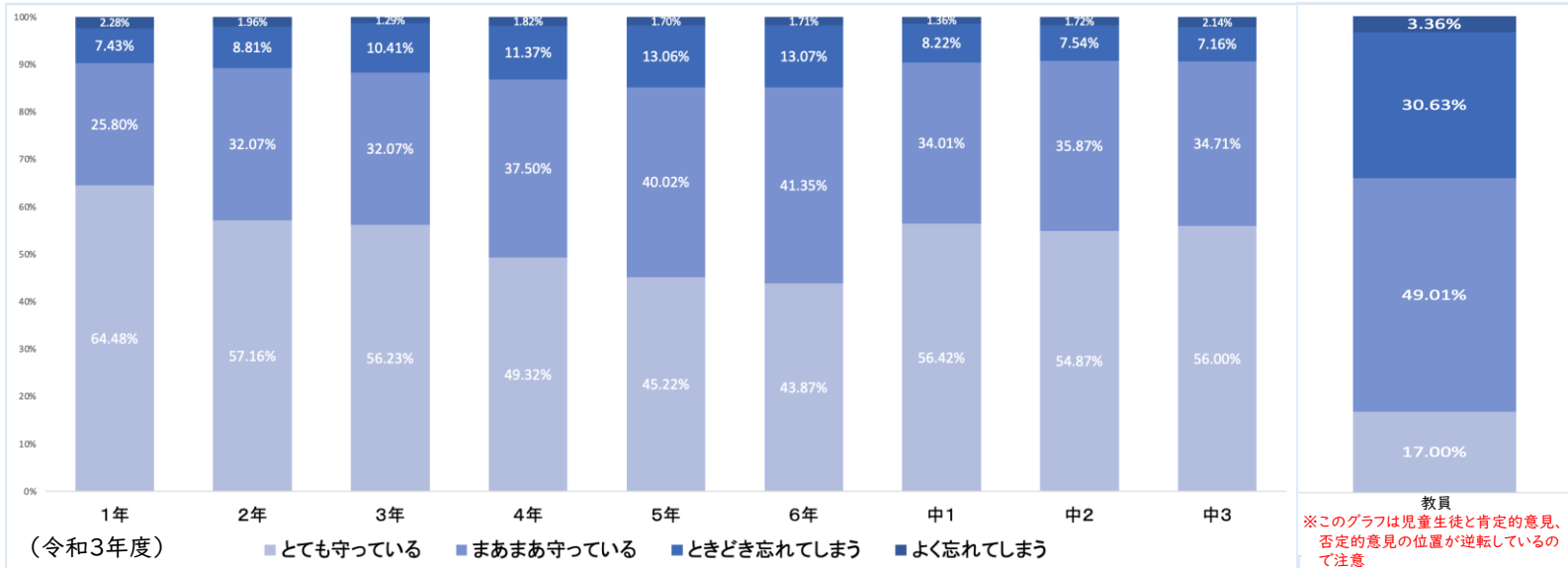
- ※ 教員の回答は「児童生徒が守れていると思うか」という設問の回答になります。
- ※ 昨年度版の公開データがあるものは下段にそのグラフを表示しています。

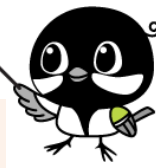


学習と関係があるように考えて使うことを守っていますか

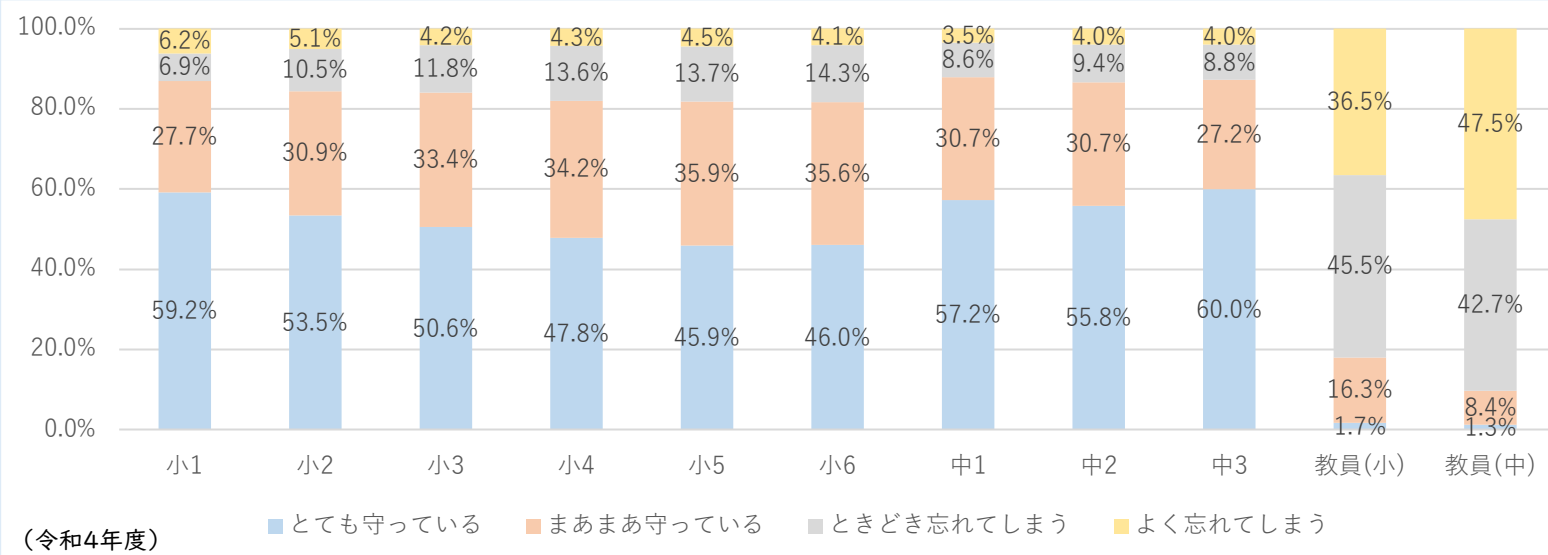


小学校・中学校ともに児童生徒は「学習と関係があるように考えて使うことを守っている」という意識が高い。しかし、小学校・中学校の教員の回答は、逆となっている。これは、守れていない状況を指導する機会が発生しているものと思われる。

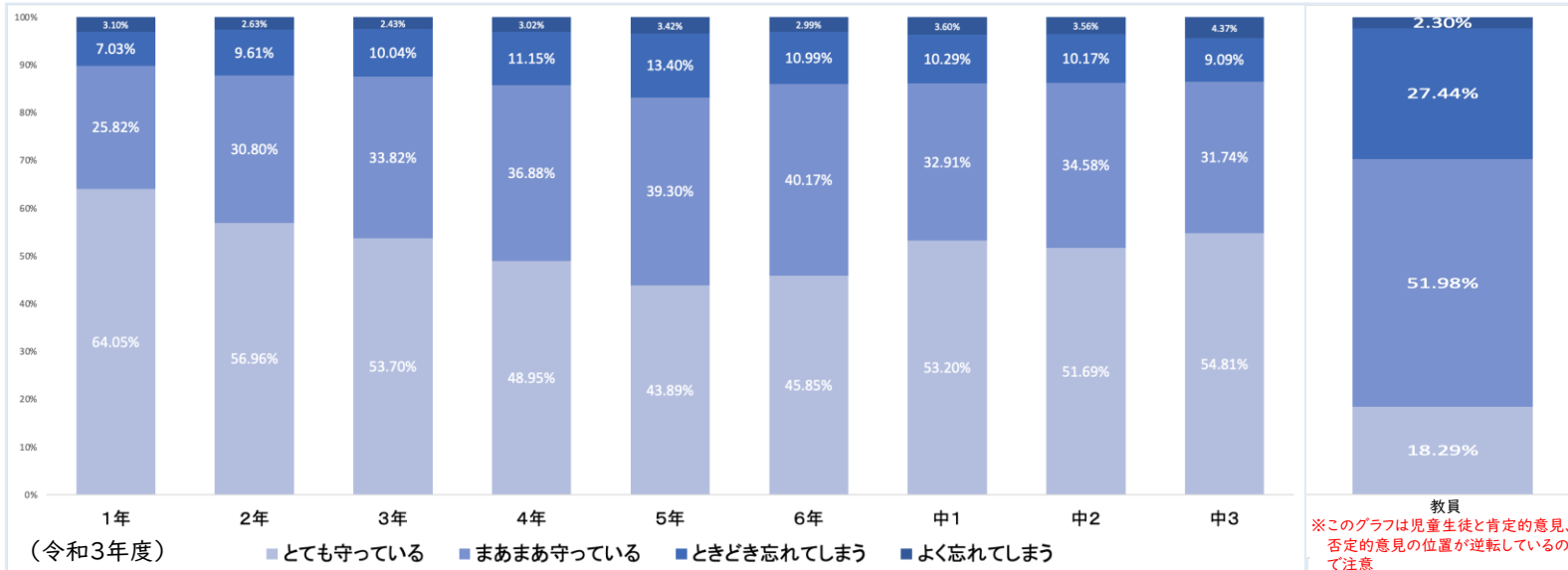


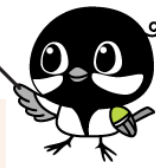


健康のために時間を考えて使うことを守っていますか

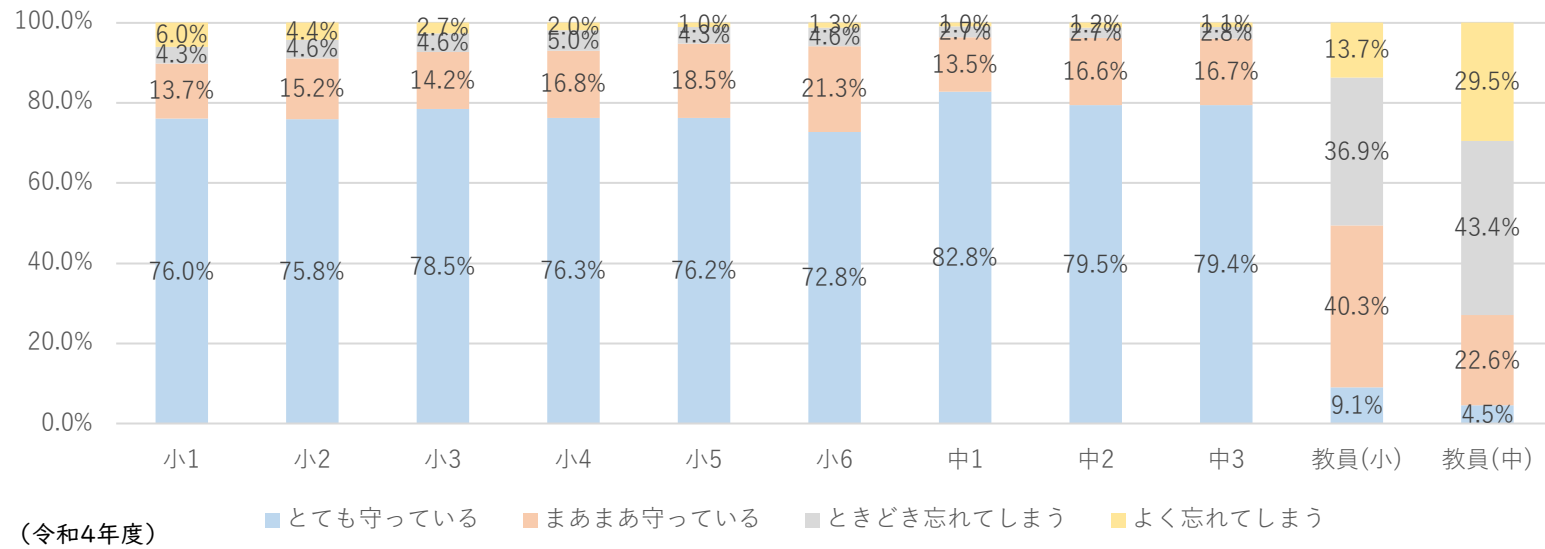


小学校・中学校ともに児童生徒は「健康のために時間を考えて使う」という意識が高い。しかし、小学校・中学校の教員の回答は、逆となっている。これは、守れていない状況を指導する機会が発生しているものと思われる。

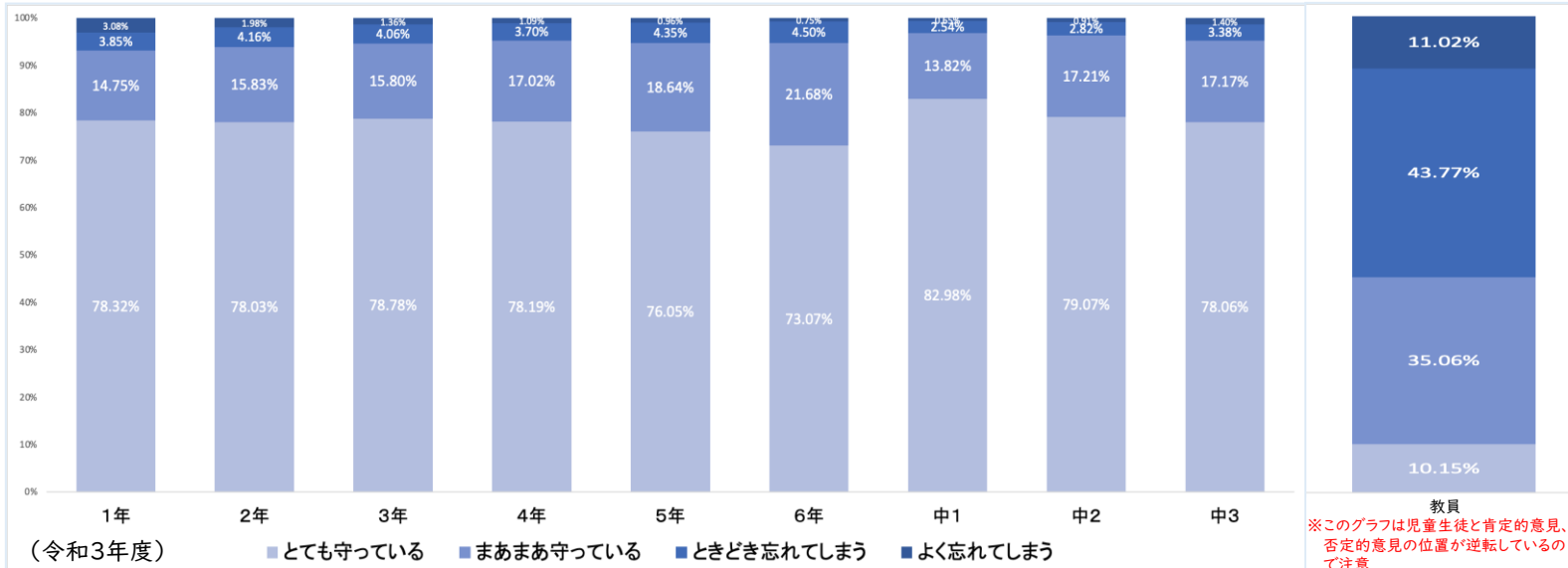


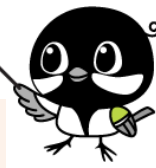


人の写真や動画は許可を得て撮影することを守っていますか

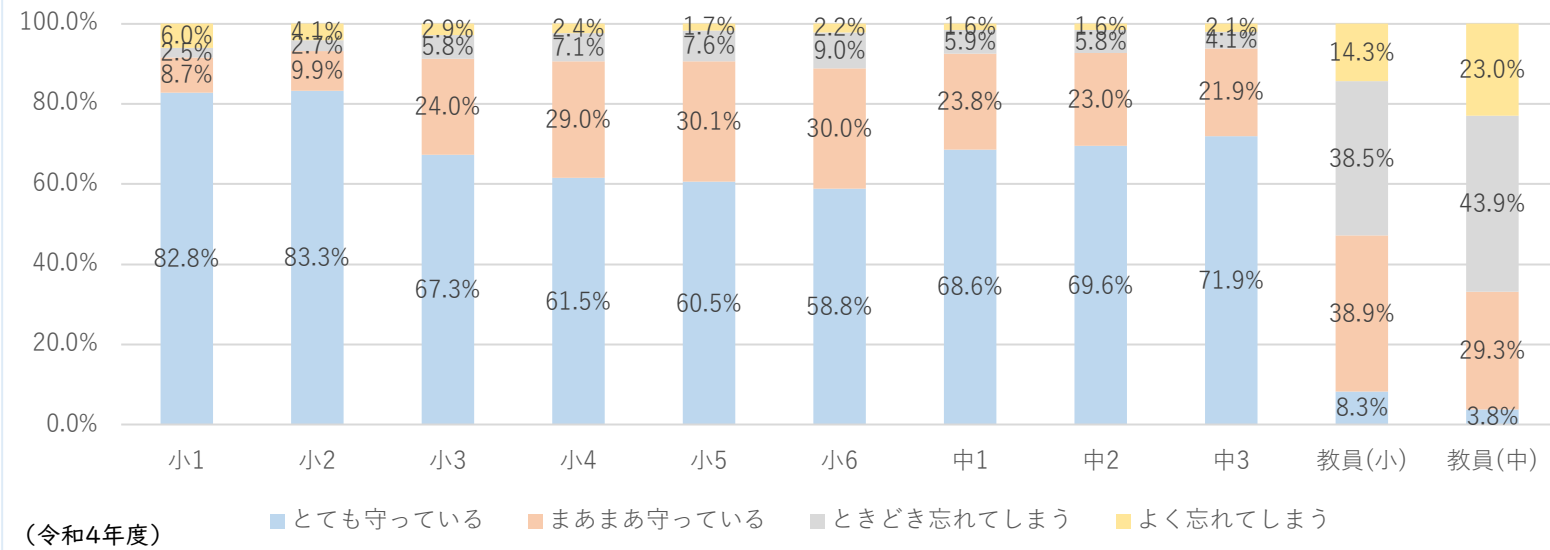


小学校・中学校ともに児童生徒は「人の写真や動画は許可を得て撮影する」という意識が高い。教員の回答を見ると、小学校よりも中学校の方が撮影に関して守れていないという回答が多いため、中学校での写真や動画でのルールについて、小学校よりも守れていない状況が発生しているのではないと思われる。

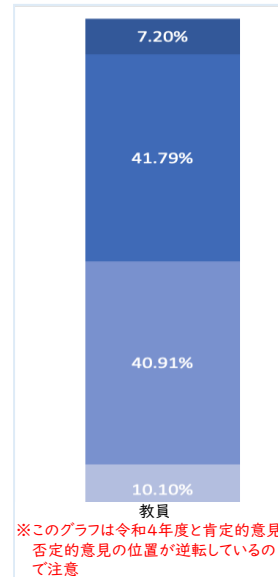


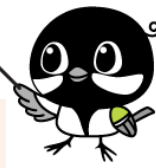


人の作品を使う場合は著作権を考えて使うことを守っていますか

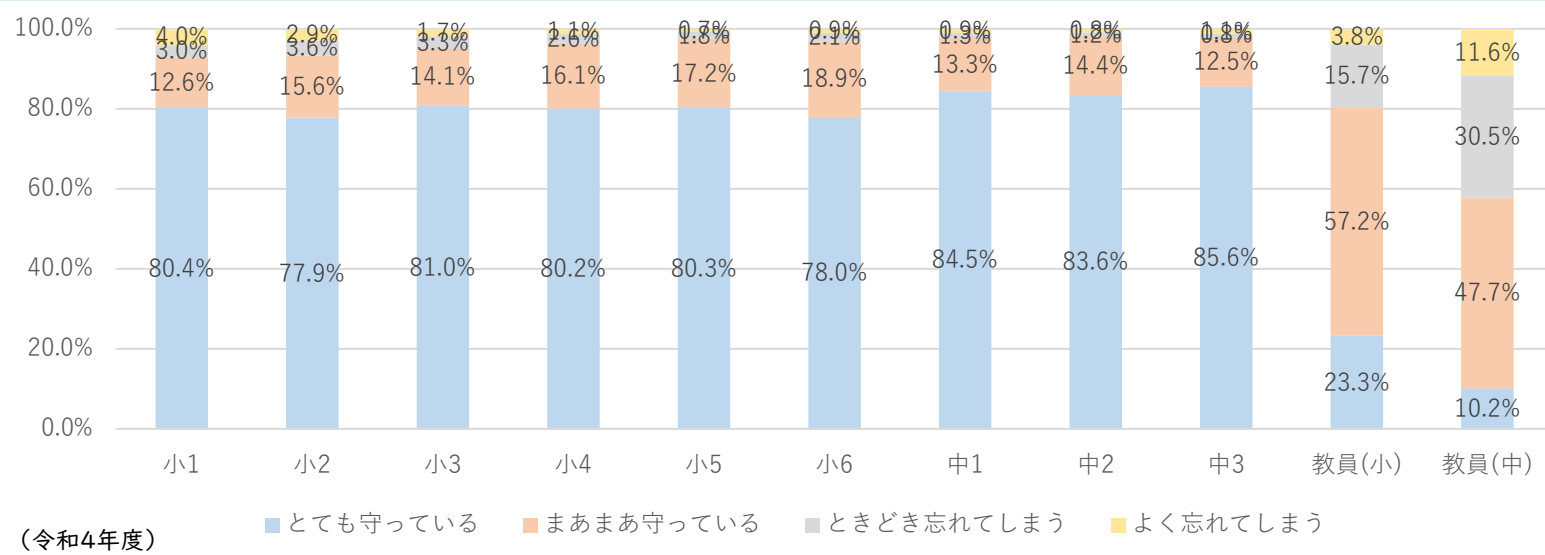


小学校・中学校ともに児童生徒は「人の作品を使う場合は著作権を考えて使う」という意識が高い。しかし教員の回答から、著作権があるものを簡単にコピー&ペースト等している状況を指導する機会が発生しているものと思われる。

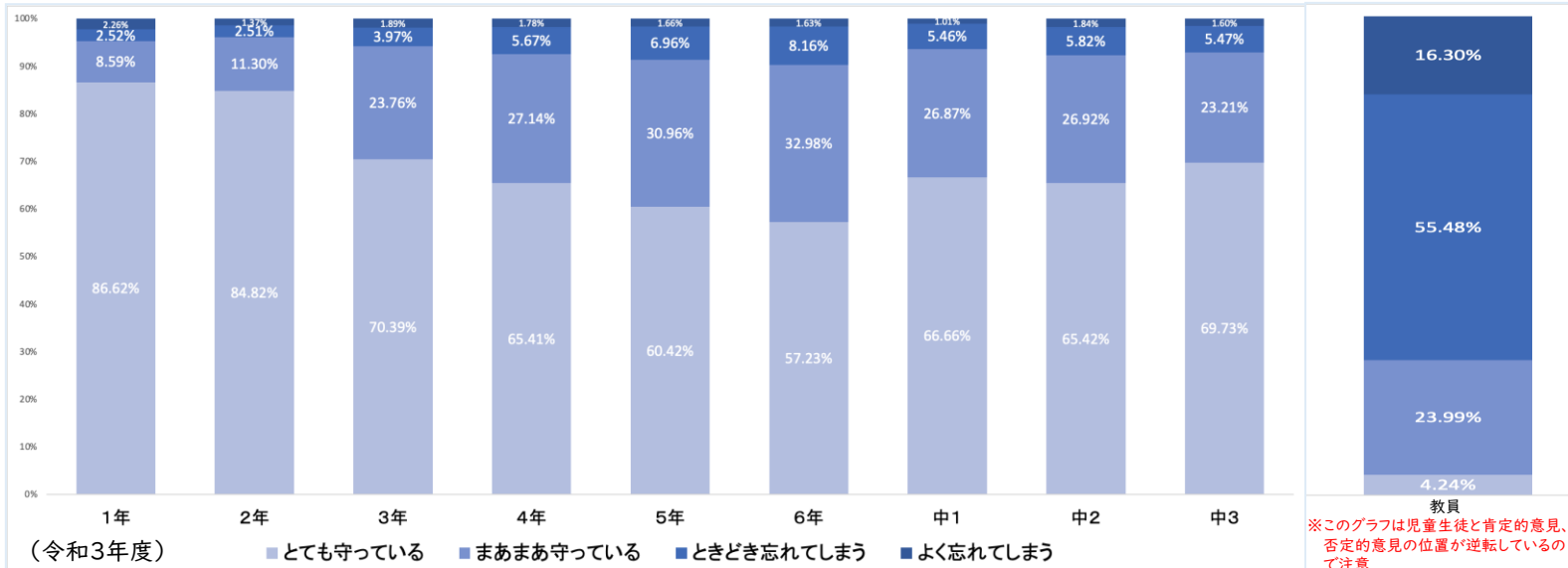


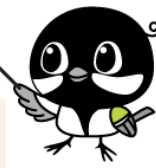


人がいやな気持ちにならないように考えて書くことを守っていますか

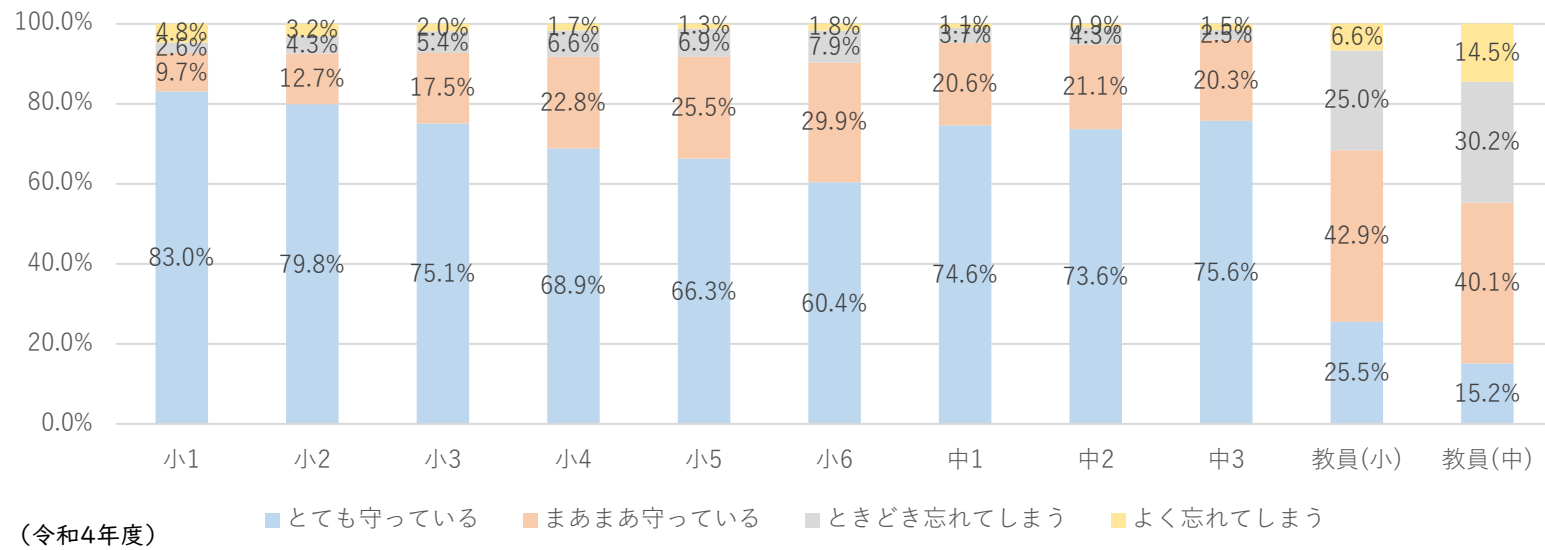


小学校・中学校ともに児童生徒は「人がいやな気持ちにならないように考えて書く」という意識が高い。教員については、減少するものの過半数は肯定的な意見となっている。学習との関連や健康面に比べて指導頻度は少ないものと思われる。

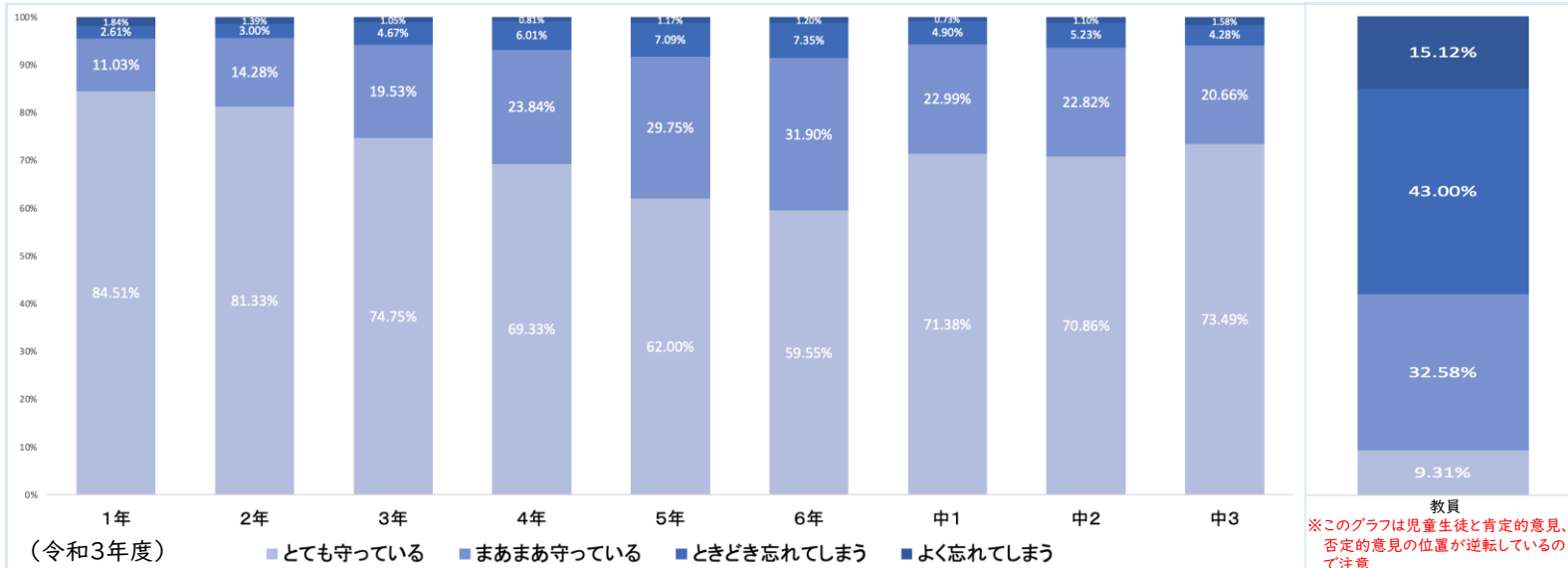


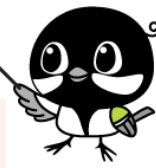


人のタブレットを勝手にさわらないようにすることを守っていますか

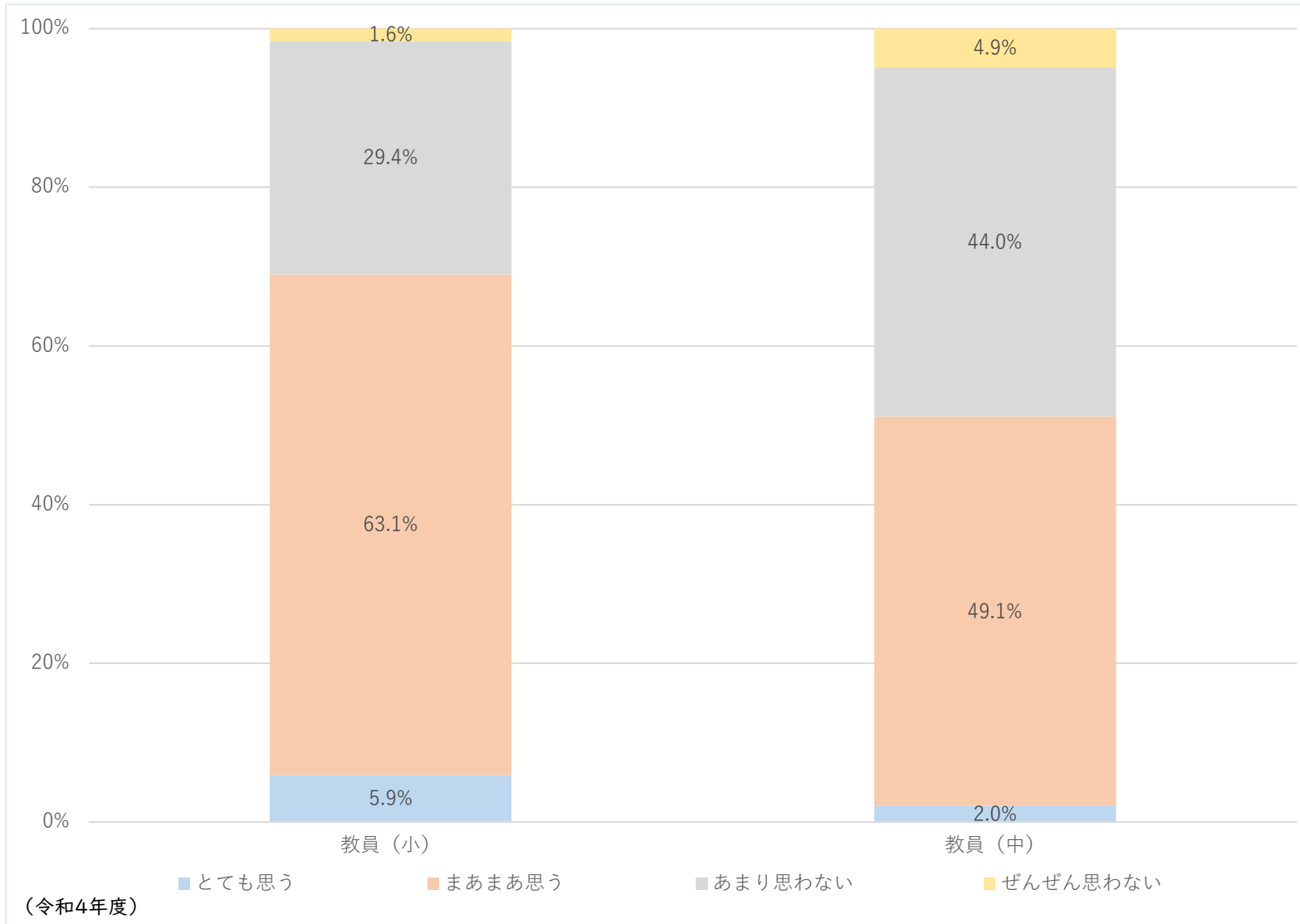


小学校・中学校ともに児童生徒は「人のタブレットを勝手にさわらないようにする」という意識が高い。ただし小学校では学年が上がるにつれ、その意識が低くなっている傾向がある。教員については、減少するものの過半数は肯定的な意見となっている。学習との関連や健康面に比べて指導頻度は少ないものと思われる。





昨年と比べ、児童生徒の情報モラル（情報社会や情報手段の特性を理解し、安全かつ適切に情報手段を使う）の意識は向上していると思いますか。



小学校教員の約7割、中学校教員の約5割が、「情報モラルに関して昨年よりも意識が向上している」と感じている。本市の児童生徒は、授業や家庭学習等でタブレット端末を日常的に活用しており、その中で情報の収集や発信、共有などの情報活用能力を高めている。この情報活用能力の1つである情報モラルについても、今後、学習活動の中で系統的に身につけさせていく必要があると思われる。